

現 行	改 定	摘 要
<h1 data-bbox="341 205 1163 283">1. 土木工事共通仕様書</h1> <p data-bbox="890 319 1202 1696">           昭和52年4月1日            昭和55年4月1日一部改定            昭和62年4月1日一部改定            平成 6年4月1日一部改定            平成 8年7月1日一部改定            平成11年4月1日一部改定            平成13年4月1日一部改定            平成14年9月1日一部改定            平成15年4月1日一部改定            平成15年9月1日一部改定            平成17年10月1日一部改正            平成18年10月1日一部改正            平成19年10月1日一部改正            平成20年1月1日一部改正            平成20年4月1日一部改正            平成21年2月1日一部改正            平成21年10月1日一部改正            平成22年10月1日一部改正            平成24年4月1日一部改正            平成24年10月1日一部改正            平成26年4月1日一部改正            平成27年4月1日一部改正            平成27年10月1日一部改正            平成28年10月1日一部改定            平成29年10月1日一部改定            平成30年10月1日一部改定            令和元年10月1日一部改定            令和 2年10月1日一部改定            令和 3年10月1日一部改定            令和 4年10月1日一部改定            令和 5年 1月1日一部改定         </p>	<h1 data-bbox="1513 205 2335 283">1. 土木工事共通仕様書</h1> <p data-bbox="2062 319 2374 1743">           昭和52年4月1日            昭和55年4月1日一部改定            昭和62年4月1日一部改定            平成 6年4月1日一部改定            平成 8年7月1日一部改定            平成11年4月1日一部改定            平成13年4月1日一部改定            平成14年9月1日一部改定            平成15年4月1日一部改定            平成15年9月1日一部改定            平成17年10月1日一部改正            平成18年10月1日一部改正            平成19年10月1日一部改正            平成20年1月1日一部改正            平成20年4月1日一部改正            平成21年2月1日一部改正            平成21年10月1日一部改正            平成22年10月1日一部改正            平成24年4月1日一部改正            平成24年10月1日一部改正            平成26年4月1日一部改正            平成27年4月1日一部改正            平成27年10月1日一部改正            平成28年10月1日一部改定            平成29年10月1日一部改定            平成30年10月1日一部改定            令和元年10月1日一部改定            令和 2年10月1日一部改定            令和 3年10月1日一部改定            令和 4年10月1日一部改定            令和 5年 1月1日一部改定  <b>令和 5年10月1日一部改定</b> </p>	

現 行	改 定	摘 要
<b>目 次</b>	<b>目 次</b>	
<b>第1編 共 通 編</b> ..... 1-1	<b>第1編 共 通 編</b> ..... 1-1	
<b>第1章 総 則</b> ..... 1-1	<b>第1章 総 則</b> ..... 1-1	
第1節 総 則..... 1-1	第1節 総 則..... 1-1	
1-1-1-1 適 用..... 1-1	1-1-1-1 適 用..... 1-1	
1-1-1-2 用語の定義..... 1-1	1-1-1-2 用語の定義..... 1-1	
1-1-1-3 設計図書の照査等..... 1-5	1-1-1-3 設計図書の照査等..... 1-5	
1-1-1-4 施工計画書..... 1-5	1-1-1-4 施工計画書..... 1-5	
1-1-1-5 コリンズ(CORINS)への登録..... 1-6	1-1-1-5 コリンズ(CORINS)への登録..... 1-6	
1-1-1-6 監督員..... 1-7	1-1-1-6 監督員..... 1-7	
1-1-1-7 工事用地等の使用..... 1-7	1-1-1-7 工事用地等の使用..... 1-7	
1-1-1-8 工事着手..... 1-7	1-1-1-8 工事着手..... 1-7	
1-1-1-9 工事の下請負..... 1-7	1-1-1-9 工事の下請負..... 1-7	
1-1-1-10 施工体制台帳..... 1-8	1-1-1-10 施工体制台帳..... 1-8	
1-1-1-11 受注者相互の協力..... 1-9	1-1-1-11 受注者相互の協力..... 1-9	
1-1-1-12 調査・試験に対する協力..... 1-9	1-1-1-12 調査・試験に対する協力..... 1-9	
1-1-1-13 工事の一時中止..... 1-10	1-1-1-13 工事の一時中止..... 1-10	
1-1-1-14 設計図書の変更..... 1-11	1-1-1-14 設計図書の変更..... 1-11	
1-1-1-15 工期変更..... 1-11	1-1-1-15 工期変更..... 1-11	
1-1-1-16 支給材料及び貸与物件..... 1-11	1-1-1-16 支給材料及び貸与物件..... 1-11	
1-1-1-17 工事現場発生品..... 1-12	1-1-1-17 工事現場発生品..... 1-12	
1-1-1-18 建設副産物..... 1-12	1-1-1-18 建設副産物..... 1-12	
1-1-1-19 工事完成図..... 1-13	1-1-1-19 工事完成図..... 1-13	
1-1-1-20 工事完成検査..... 1-13	1-1-1-20 工事完成検査..... 1-13	
1-1-1-21 出来型検査・部分検査..... 1-14	1-1-1-21 出来型検査・部分検査..... 1-14	
1-1-1-22 部分使用..... 1-15	1-1-1-22 部分使用..... 1-15	
1-1-1-23 施工管理..... 1-15	1-1-1-23 施工管理..... 1-15	
1-1-1-24 履行報告..... 1-17	1-1-1-24 履行報告..... 1-17	
1-1-1-25 工事関係者に対する措置請求..... 1-17	1-1-1-25 週休二日の対応..... 1-17	
1-1-1-26 工事中の安全確保..... 1-17	1-1-1-26 工事関係者に対する措置請求..... 1-17	
1-1-1-27 爆発及び火災の防止..... 1-19	1-1-1-27 工事中の安全確保..... 1-17	
1-1-1-28 後片付け..... 1-20	1-1-1-28 爆発及び火災の防止..... 1-19	
1-1-1-29 事故報告書..... 1-20	1-1-1-29 後片付け..... 1-20	
1-1-1-30 環境対策..... 1-20	1-1-1-30 事故報告書..... 1-20	
1-1-1-31 文化財の保護..... 1-23	1-1-1-31 環境対策..... 1-20	
	1-1-1-32 文化財の保護..... 1-23	

現 行	改 定	摘 要
1-1-1-32 交通安全管理..... 1-23	1-1-1-33 交通安全管理..... 1-23	
1-1-1-33 施設管理..... 1-25	1-1-1-34 施設管理..... 1-25	
1-1-1-34 諸法令の遵守..... 1-25	1-1-1-35 諸法令の遵守..... 1-25	
1-1-1-35 官公庁等への手続等..... 1-28	1-1-1-36 官公庁等への手続等..... 1-28	
1-1-1-36 施工時期及び施工時間の変更..... 1-28	1-1-1-37 施工時期及び施工時間の変更..... 1-28	
1-1-1-37 工事測量..... 1-29	1-1-1-38 工事測量..... 1-29	
1-1-1-38 不可抗力による損害..... 1-29	1-1-1-39 不可抗力による損害..... 1-29	
1-1-1-39 特許権等..... 1-30	1-1-1-40 特許権等..... 1-30	
1-1-1-40 保険の付保及び事故の補償..... 1-30	1-1-1-41 保険の付保及び事故の補償..... 1-30	
1-1-1-41 臨機の措置..... 1-31	1-1-1-42 臨機の措置..... 1-31	
1-1-1-42 不正軽油の使用の禁止..... 1-31	1-1-1-43 不正軽油の使用の禁止..... 1-31	
	1-1-1-44 石綿使用の有無..... 1-31	
<b>第2章 土 工..... 1-32</b>	<b>第2章 土 工..... 1-32</b>	
第1節 適 用..... 1-32	第1節 適 用..... 1-32	
第2節 適用すべき諸基準..... 1-32	第2節 適用すべき諸基準..... 1-32	
第3節 河川土工・砂防土工..... 1-32	第3節 河川土工・砂防土工..... 1-32	
1-2-3-1 一般事項..... 1-32	1-2-3-1 一般事項..... 1-32	
1-2-3-2 掘削工..... 1-35	1-2-3-2 掘削工..... 1-35	
1-2-3-3 盛土工..... 1-35	1-2-3-3 盛土工..... 1-35	
1-2-3-4 盛土補強工..... 1-37	1-2-3-4 盛土補強工..... 1-37	
1-2-3-5 法面整形工..... 1-38	1-2-3-5 法面整形工..... 1-39	
1-2-3-6 堤防天端工..... 1-39	1-2-3-6 堤防天端工..... 1-39	
1-2-3-7 残土処理工..... 1-39	1-2-3-7 残土処理工..... 1-39	
第4節 道路土工..... 1-39	第4節 道路土工..... 1-39	
1-2-4-1 一般事項..... 1-39	1-2-4-1 一般事項..... 1-39	
1-2-4-2 掘削工..... 1-42	1-2-4-2 掘削工..... 1-42	
1-2-4-3 路体盛土工..... 1-42	1-2-4-3 路体盛土工..... 1-42	
1-2-4-4 路床盛土工..... 1-44	1-2-4-4 路床盛土工..... 1-44	
1-2-4-5 法面整形工..... 1-46	1-2-4-5 法面整形工..... 1-46	
1-2-4-6 残土処理工..... 1-46	1-2-4-6 残土処理工..... 1-46	
<b>第3章 無筋・鉄筋コンクリート..... 1-47</b>	<b>第3章 無筋・鉄筋コンクリート..... 1-47</b>	
第1節 適 用..... 1-47	第1節 適 用..... 1-47	
第2節 適用すべき諸基準..... 1-47	第2節 適用すべき諸基準..... 1-47	
第3節 レディーミクストコンクリート..... 1-48	第3節 レディーミクストコンクリート..... 1-48	
1-3-3-1 一般事項..... 1-48	1-3-3-1 一般事項..... 1-48	
1-3-3-2 工場の選定..... 1-48	1-3-3-2 工場の選定..... 1-48	
1-3-3-3 配合..... 1-50	1-3-3-3 配合..... 1-49	
第4節 現場練りコンクリート..... 1-50	第4節 現場練りコンクリート..... 1-50	

現 行	改 定	摘 要
1-3-4-1 一般事項..... 1-50	1-3-4-1 一般事項..... 1-50	
1-3-4-2 材料の貯蔵..... 1-51	1-3-4-2 材料の貯蔵..... 1-50	
1-3-4-3 配 合..... 1-51	1-3-4-3 配 合..... 1-51	
1-3-4-4 材料の計量及び練混ぜ..... 1-51	1-3-4-4 材料の計量及び練混ぜ..... 1-51	
<b>第5節 運搬・打設..... 1-53</b>	<b>第5節 運搬・打設..... 1-53</b>	
1-3-5-1 一般事項..... 1-53	1-3-5-1 一般事項..... 1-53	
1-3-5-2 準備..... 1-53	1-3-5-2 準備..... 1-53	
1-3-5-3 運搬..... 1-53	1-3-5-3 運搬..... 1-53	
1-3-5-4 打設..... 1-53	1-3-5-4 打設..... 1-53	
1-3-5-5 締固め..... 1-55	1-3-5-5 締固め..... 1-55	
1-3-5-6 沈下ひびわれに対する処置..... 1-56	1-3-5-6 沈下ひびわれに対する処置..... 1-56	
1-3-5-7 打継目..... 1-56	1-3-5-7 打継目..... 1-56	
1-3-5-8 表面仕上げ..... 1-57	1-3-5-8 表面仕上げ..... 1-57	
1-3-5-9 養生..... 1-57	1-3-5-9 養生..... 1-57	
<b>第6節 鉄筋工..... 1-58</b>	<b>第6節 鉄筋工..... 1-58</b>	
1-3-6-1 一般事項..... 1-58	1-3-6-1 一般事項..... 1-58	
1-3-6-2 貯蔵..... 1-59	1-3-6-2 貯蔵..... 1-59	
1-3-6-3 加工..... 1-59	1-3-6-3 加工..... 1-59	
1-3-6-4 組立て..... 1-60	1-3-6-4 組立て..... 1-60	
1-3-6-5 継手..... 1-62	1-3-6-5 継手..... 1-61	
1-3-6-6 ガス圧接..... 1-62	1-3-6-6 ガス圧接..... 1-62	
<b>第7節 型枠・支保..... 1-62</b>	<b>第7節 型枠・支保..... 1-63</b>	
1-3-7-1 一般事項..... 1-62	1-3-7-1 一般事項..... 1-63	
1-3-7-2 構造..... 1-62	1-3-7-2 構造..... 1-63	
1-3-7-3 組立て..... 1-63	1-3-7-3 組立て..... 1-63	
1-3-7-4 取外し..... 1-63	1-3-7-4 取外し..... 1-63	
<b>第8節 暑中コンクリート..... 1-64</b>	<b>第8節 暑中コンクリート..... 1-64</b>	
1-3-8-1 一般事項..... 1-64	1-3-8-1 一般事項..... 1-64	
1-3-8-2 施工..... 1-64	1-3-8-2 施工..... 1-64	
1-3-8-3 養生..... 1-65	1-3-8-3 養生..... 1-65	
<b>第9節 寒中コンクリート..... 1-65</b>	<b>第9節 寒中コンクリート..... 1-65</b>	
1-3-9-1 一般事項..... 1-65	1-3-9-1 一般事項..... 1-65	
1-3-9-2 施工..... 1-65	1-3-9-2 施工..... 1-65	
1-3-9-3 養生..... 1-66	1-3-9-3 養生..... 1-66	
<b>第10節 マスコンクリート..... 1-67</b>	<b>第10節 マスコンクリート..... 1-67</b>	
1-3-10-1 一般事項..... 1-67	1-3-10-1 一般事項..... 1-67	
1-3-10-2 施工..... 1-67	1-3-10-2 施工..... 1-67	
<b>第11節 水中コンクリート..... 1-67</b>	<b>第11節 水中コンクリート..... 1-67</b>	
1-3-11-1 一般事項..... 1-67	1-3-11-1 一般事項..... 1-67	

現 行	改 定	摘 要
1-3-11-2 施工..... 1-67	1-3-11-2 施工..... 1-68	
<b>第12節 水中不分離性コンクリート..... 1-69</b>	<b>第12節 水中不分離性コンクリート..... 1-69</b>	
1-3-12-1 一般事項..... 1-69	1-3-12-1 一般事項..... 1-69	
1-3-12-2 材料の貯蔵..... 1-69	1-3-12-2 材料の貯蔵..... 1-69	
1-3-12-3 コンクリートの製造..... 1-69	1-3-12-3 コンクリートの製造..... 1-69	
1-3-12-4 運搬打設..... 1-70	1-3-12-4 運搬打設..... 1-70	
<b>第13節 プレパックドコンクリート..... 1-71</b>	<b>第13節 プレパックドコンクリート..... 1-71</b>	
1-3-13-1 一般事項..... 1-71	1-3-13-1 一般事項..... 1-71	
1-3-13-2 施工機器..... 1-71	1-3-13-2 施工機器..... 1-71	
1-3-13-3 施工..... 1-72	1-3-13-3 施工..... 1-72	
<b>第14節 袋詰コンクリート..... 1-73</b>	<b>第14節 袋詰コンクリート..... 1-73</b>	
1-3-14-1 一般事項..... 1-73	1-3-14-1 一般事項..... 1-73	
1-3-14-2 施工..... 1-73	1-3-14-2 施工..... 1-73	
<b>第2編 材 料 編..... 1-73</b>	<b>第2編 材 料 編..... 1-73</b>	
<b>第1章 一般事項..... 1-73</b>	<b>第1章 一般事項..... 1-73</b>	
第1節 適 用..... 1-73	第1節 適 用..... 1-73	
第2節 工事材料の品質..... 1-73	第2節 工事材料の品質..... 1-74	
<b>第2章 土木工事材料..... 1-76</b>	<b>第2章 土木工事材料..... 1-76</b>	
第1節 土..... 1-76	第1節 土..... 1-76	
2-2-1-1 一般事項..... 1-76	2-2-1-1 一般事項..... 1-76	
第2節 石..... 1-76	第2節 石..... 1-76	
2-2-2-1 石材..... 1-76	2-2-2-1 石材..... 1-76	
2-2-2-2 割ぐり石..... 1-76	2-2-2-2 割ぐり石..... 1-76	
2-2-2-3 雑割石..... 1-76	2-2-2-3 雑割石..... 1-76	
2-2-2-4 雑石（粗石）..... 1-76	2-2-2-4 雑石（粗石）..... 1-76	
2-2-2-5 玉 石..... 1-76	2-2-2-5 玉 石..... 1-76	
2-2-2-6 ぐり石..... 1-76	2-2-2-6 ぐり石..... 1-76	
2-2-2-7 その他の砂利、碎石、砂..... 1-76	2-2-2-7 その他の砂利、碎石、砂..... 1-76	
第3節 骨 材..... 1-76	第3節 骨 材..... 1-76	
2-2-3-1 一般事項..... 1-76	2-2-3-1 一般事項..... 1-76	
2-2-3-2 セメントコンクリート用骨材..... 1-78	2-2-3-2 セメントコンクリート用骨材..... 1-78	
2-2-3-3 アスファルト舗装用骨材..... 1-80	2-2-3-3 アスファルト舗装用骨材..... 1-80	
2-2-3-4 アスファルト用再生骨材..... 1-84	2-2-3-4 アスファルト用再生骨材..... 1-84	
2-2-3-5 フィラー..... 1-84	2-2-3-5 フィラー..... 1-84	
2-2-3-6 安定材..... 1-86	2-2-3-6 安定材..... 1-86	
第4節 木 材..... 1-88	第4節 木 材..... 1-88	
2-2-4-1 一般事項..... 1-88	2-2-4-1 一般事項..... 1-88	
第5節 鋼 材..... 1-88	第5節 鋼 材..... 1-88	

現 行	改 定	摘 要
3-2-3-16 PC箱桁製作工..... 1-128	3-2-3-16 PC箱桁製作工..... 1-128	
3-2-3-17 根固めブロック工..... 1-128	3-2-3-17 根固めブロック工..... 1-128	
3-2-3-18 沈床工..... 1-129	3-2-3-18 沈床工..... 1-129	
3-2-3-19 捨石工..... 1-130	3-2-3-19 捨石工..... 1-130	
3-2-3-20 笠コンクリート工..... 1-131	3-2-3-20 笠コンクリート工..... 1-131	
3-2-3-21 ハンドホール工..... 1-131	3-2-3-21 ハンドホール工..... 1-131	
3-2-3-22 階段工..... 1-131	3-2-3-22 階段工..... 1-131	
3-2-3-23 現場継手工..... 1-132	3-2-3-23 現場継手工..... 1-132	
3-2-3-24 伸縮装置工..... 1-136	3-2-3-24 伸縮装置工..... 1-136	
3-2-3-25 銘板工..... 1-136	3-2-3-25 銘板工..... 1-136	
3-2-3-26 多自然型護岸工..... 1-137	3-2-3-26 多自然型護岸工..... 1-136	
3-2-3-27 羽口工..... 1-138	3-2-3-27 羽口工..... 1-137	
3-2-3-28 プレキャストカルバート工..... 1-138	3-2-3-28 プレキャストカルバート工..... 1-138	
3-2-3-29 側溝工..... 1-139	3-2-3-29 側溝工..... 1-138	
3-2-3-30 集水桝工..... 1-140	3-2-3-30 集水桝工..... 1-139	
3-2-3-31 現場塗装工..... 1-140	3-2-3-31 現場塗装工..... 1-140	
3-2-3-32 かごマット工..... 1-144	3-2-3-32 かごマット工..... 1-144	
3-2-3-33 袋詰玉石工..... 1-148	3-2-3-33 袋詰玉石工..... 1-148	
<b>第4節 基礎工..... 1-150</b>	<b>第4節 基礎工..... 1-150</b>	
3-2-4-1 一般事項..... 1-150	3-2-4-1 一般事項..... 1-150	
3-2-4-2 土台基礎工..... 1-150	3-2-4-2 土台基礎工..... 1-150	
3-2-4-3 基礎工（護岸）..... 1-151	3-2-4-3 基礎工（護岸）..... 1-151	
3-2-4-4 既製杭工..... 1-151	3-2-4-4 既製杭工..... 1-151	
3-2-4-5 場所打杭工..... 1-156	3-2-4-5 場所打杭工..... 1-156	
3-2-4-6 深礎工..... 1-158	3-2-4-6 深礎工..... 1-158	
3-2-4-7 オープンケーソン基礎工..... 1-160	3-2-4-7 オープンケーソン基礎工..... 1-160	
3-2-4-8 ニューマチックケーソン基礎工..... 1-161	3-2-4-8 ニューマチックケーソン基礎工..... 1-161	
3-2-4-9 鋼管矢板基礎工..... 1-163	3-2-4-9 鋼管矢板基礎工..... 1-163	
<b>第5節 石・ブロック積（張）工..... 1-166</b>	<b>第5節 石・ブロック積（張）工..... 1-166</b>	
3-2-5-1 一般事項..... 1-166	3-2-5-1 一般事項..... 1-166	
3-2-5-2 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-167	3-2-5-2 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-167	
3-2-5-3 コンクリートブロック工..... 1-167	3-2-5-3 コンクリートブロック工..... 1-167	
3-2-5-4 緑化ブロック工..... 1-169	3-2-5-4 緑化ブロック工..... 1-169	
3-2-5-5 石積（張）工..... 1-169	3-2-5-5 石積（張）工..... 1-169	
<b>第6節 一般舗装工..... 1-169</b>	<b>第6節 一般舗装工..... 1-169</b>	
3-2-6-1 一般事項..... 1-169	3-2-6-1 一般事項..... 1-169	
3-2-6-2 材料..... 1-170	3-2-6-2 材料..... 1-170	
3-2-6-3 アスファルト舗装の材料..... 1-171	3-2-6-3 アスファルト舗装の材料..... 1-171	
3-2-6-4 コンクリート舗装の材料..... 1-178	3-2-6-4 コンクリート舗装の材料..... 1-178	

現 行	改 定	摘 要
3-2-6-5 舗装準備工 ..... 1-178	3-2-6-5 舗装準備工 ..... 1-178	
3-2-6-6 橋面防水工 ..... 1-178	3-2-6-6 橋面防水工 ..... 1-178	
3-2-6-7 アスファルト舗装工 ..... 1-179	3-2-6-7 アスファルト舗装工 ..... 1-179	
3-2-6-8 半たわみ舗装工 ..... 1-185	3-2-6-8 半たわみ舗装工 ..... 1-185	
3-2-6-9 排水性舗装工 ..... 1-185	3-2-6-9 排水性舗装工 ..... 1-185	
3-2-6-10 透水性舗装工 ..... 1-189	3-2-6-10 透水性舗装工 ..... 1-189	
3-2-6-11 グースアスファルト舗装工 ..... 1-189	3-2-6-11 グースアスファルト舗装工 ..... 1-189	
3-2-6-12 コンクリート舗装工 ..... 1-194	3-2-6-12 コンクリート舗装工 ..... 1-194	
3-2-6-13 薄層カラー舗装工 ..... 1-205	3-2-6-13 薄層カラー舗装工 ..... 1-205	
3-2-6-14 ブロック舗装工 ..... 1-205	3-2-6-14 ブロック舗装工 ..... 1-205	
3-2-6-15 路面切削工 ..... 1-205	3-2-6-15 路面切削工 ..... 1-205	
3-2-6-16 舗装打換え工 ..... 1-206	3-2-6-16 舗装打換え工 ..... 1-206	
3-2-6-17 オーバーレイ工 ..... 1-206	3-2-6-17 オーバーレイ工 ..... 1-206	
3-2-6-18 アスファルト舗装補修工 ..... 1-206	3-2-6-18 アスファルト舗装補修工 ..... 1-206	
3-2-6-19 コンクリート舗装補修工 ..... 1-208	3-2-6-19 コンクリート舗装補修工 ..... 1-208	
<b>第7節 地盤改良工 ..... 1-209</b>	<b>第7節 地盤改良工 ..... 1-209</b>	
3-2-7-1 一般事項 ..... 1-209	3-2-7-1 一般事項 ..... 1-209	
3-2-7-2 路床安定処理工 ..... 1-209	3-2-7-2 路床安定処理工 ..... 1-209	
3-2-7-3 置換工 ..... 1-210	3-2-7-3 置換工 ..... 1-210	
3-2-7-4 表層安定処理工 ..... 1-210	3-2-7-4 表層安定処理工 ..... 1-210	
3-2-7-5 パイルネット工 ..... 1-211	3-2-7-5 パイルネット工 ..... 1-211	
3-2-7-6 サンドマット工 ..... 1-212	3-2-7-6 サンドマット工 ..... 1-212	
3-2-7-7 バーチカルドレーン工 ..... 1-212	3-2-7-7 バーチカルドレーン工 ..... 1-212	
3-2-7-8 締固め改良工 ..... 1-212	3-2-7-8 締固め改良工 ..... 1-212	
3-2-7-9 固結工 ..... 1-213	3-2-7-9 固結工 ..... 1-213	
<b>第8節 工場製品輸送工 ..... 1-214</b>	<b>第8節 工場製品輸送工 ..... 1-214</b>	
3-2-8-1 一般事項 ..... 1-214	3-2-8-1 一般事項 ..... 1-214	
3-2-8-2 輸送工 ..... 1-214	3-2-8-2 輸送工 ..... 1-214	
<b>第9節 構造物撤去工 ..... 1-214</b>	<b>第9節 構造物撤去工 ..... 1-214</b>	
3-2-9-1 一般事項 ..... 1-214	3-2-9-1 一般事項 ..... 1-214	
3-2-9-2 作業土工（床掘り・埋戻し） ..... 1-214	3-2-9-2 作業土工（床掘り・埋戻し） ..... 1-214	
3-2-9-3 構造物取壊し工 ..... 1-215	3-2-9-3 構造物取壊し工 ..... 1-214	
3-2-9-4 防護柵撤去工 ..... 1-215	3-2-9-4 防護柵撤去工 ..... 1-215	
3-2-9-5 標識撤去工 ..... 1-216	3-2-9-5 標識撤去工 ..... 1-216	
3-2-9-6 道路付属物撤去工 ..... 1-216	3-2-9-6 道路付属物撤去工 ..... 1-216	
3-2-9-7 プレキャスト擁壁撤去工 ..... 1-216	3-2-9-7 プレキャスト擁壁撤去工 ..... 1-216	
3-2-9-8 排水構造物撤去工 ..... 1-217	3-2-9-8 排水構造物撤去工 ..... 1-217	
3-2-9-9 かが撤去工 ..... 1-217	3-2-9-9 かが撤去工 ..... 1-217	
3-2-9-10 落石雪害防止撤去工 ..... 1-217	3-2-9-10 落石雪害防止撤去工 ..... 1-217	

現 行	改 定	摘 要
3-2-9-11 ブロック舗装撤去工 ..... 1-217	3-2-9-11 ブロック舗装撤去工 ..... 1-217	
3-2-9-12 縁石撤去工 ..... 1-218	3-2-9-12 縁石撤去工 ..... 1-218	
3-2-9-13 冬季安全施設撤去工 ..... 1-218	3-2-9-13 冬季安全施設撤去工 ..... 1-218	
3-2-9-14 骨材再生工 ..... 1-218	3-2-9-14 骨材再生工 ..... 1-218	
3-2-9-15 運搬処理工 ..... 1-219	3-2-9-15 運搬処理工 ..... 1-219	
<b>第10節 仮設工 ..... 1-219</b>	<b>第10節 仮設工 ..... 1-219</b>	
3-2-10-1 一般事項 ..... 1-219	3-2-10-1 一般事項 ..... 1-219	
3-2-10-2 工専用道路工 ..... 1-220	3-2-10-2 工専用道路工 ..... 1-220	
3-2-10-3 仮橋・仮栈橋工 ..... 1-221	3-2-10-3 仮橋・仮栈橋工 ..... 1-220	
3-2-10-4 路面覆工 ..... 1-221	3-2-10-4 路面覆工 ..... 1-221	
3-2-10-5 土留・仮締切工 ..... 1-221	3-2-10-5 土留・仮締切工 ..... 1-221	
3-2-10-6 砂防仮締切工 ..... 1-223	3-2-10-6 砂防仮締切工 ..... 1-223	
3-2-10-7 水替工 ..... 1-223	3-2-10-7 水替工 ..... 1-223	
3-2-10-8 地下水位低下工 ..... 1-224	3-2-10-8 地下水位低下工 ..... 1-224	
3-2-10-9 地中連続壁工（壁式） ..... 1-224	3-2-10-9 地中連続壁工（壁式） ..... 1-224	
3-2-10-10 地中連続壁工（柱列式） ..... 1-225	3-2-10-10 地中連続壁工（柱列式） ..... 1-225	
3-2-10-11 仮水路工 ..... 1-226	3-2-10-11 仮水路工 ..... 1-225	
3-2-10-12 残土受入れ施設工 ..... 1-226	3-2-10-12 残土受入れ施設工 ..... 1-226	
3-2-10-13 作業ヤード整備工 ..... 1-226	3-2-10-13 作業ヤード整備工 ..... 1-226	
3-2-10-14 電力設備工 ..... 1-226	3-2-10-14 電力設備工 ..... 1-226	
3-2-10-15 コンクリート製造設備工 ..... 1-227	3-2-10-15 コンクリート製造設備工 ..... 1-227	
3-2-10-16 トンネル仮設備工 ..... 1-227	3-2-10-16 トンネル仮設備工 ..... 1-227	
3-2-10-17 防塵対策工 ..... 1-229	3-2-10-17 防塵対策工 ..... 1-229	
3-2-10-18 汚濁防止工 ..... 1-229	3-2-10-18 汚濁防止工 ..... 1-229	
3-2-10-19 防護施設工 ..... 1-229	3-2-10-19 防護施設工 ..... 1-229	
3-2-10-20 除雪工 ..... 1-229	3-2-10-20 除雪工 ..... 1-229	
3-2-10-21 雪寒施設工 ..... 1-230	3-2-10-21 雪寒施設工 ..... 1-229	
3-2-10-22 法面吹付工 ..... 1-230	3-2-10-22 法面吹付工 ..... 1-230	
3-2-10-23 足場工 ..... 1-230	3-2-10-23 足場工 ..... 1-230	
<b>第11節 軽量盛土工 ..... 1-230</b>	<b>第11節 軽量盛土工 ..... 1-230</b>	
3-2-11-1 一般事項 ..... 1-230	3-2-11-1 一般事項 ..... 1-230	
3-2-11-2 軽量盛土工 ..... 1-230	3-2-11-2 軽量盛土工 ..... 1-230	
<b>第12節 工場製作工（共通） ..... 1-231</b>	<b>第12節 工場製作工（共通） ..... 1-231</b>	
3-2-12-1 一般事項 ..... 1-231	3-2-12-1 一般事項 ..... 1-231	
3-2-12-2 材料 ..... 1-231	3-2-12-2 材料 ..... 1-231	
3-2-12-3 桁製作工 ..... 1-234	3-2-12-3 桁製作工 ..... 1-234	
3-2-12-4 検査路製作工 ..... 1-245	3-2-12-4 検査路製作工 ..... 1-245	
3-2-12-5 鋼製伸縮継手桁製作工 ..... 1-246	3-2-12-5 鋼製伸縮継手桁製作工 ..... 1-246	
3-2-12-6 落橋防止装置製作工 ..... 1-246	3-2-12-6 落橋防止装置製作工 ..... 1-246	



現 行	改 定	摘 要
3-2-12-7 橋梁用防護柵製作工 ..... 1-246	3-2-12-7 橋梁用防護柵製作工 ..... 1-246	
3-2-12-8 アンカーフレーム製作工 ..... 1-247	3-2-12-8 アンカーフレーム製作工 ..... 1-247	
3-2-12-9 プレビーム用桁製作工 ..... 1-247	3-2-12-9 プレビーム用桁製作工 ..... 1-247	
3-2-12-10 鋼製排水管路製作工 ..... 1-248	3-2-12-10 鋼製排水管路製作工 ..... 1-248	
3-2-12-11 工場塗装工 ..... 1-248	3-2-12-11 工場塗装工 ..... 1-248	
<b>第13節 橋梁架設工 ..... 1-251</b>	<b>第13節 橋梁架設工 ..... 1-251</b>	
3-2-13-1 一般事項 ..... 1-251	3-2-13-1 一般事項 ..... 1-251	
3-2-13-2 地組工 ..... 1-251	3-2-13-2 地組工 ..... 1-251	
3-2-13-3 架設工（クレーン架設） ..... 1-251	3-2-13-3 架設工（クレーン架設） ..... 1-251	
3-2-13-4 架設工（ケーブルクレーン架設） ..... 1-252	3-2-13-4 架設工（ケーブルクレーン架設） ..... 1-252	
3-2-13-5 架設工（ケーブルエレクション架設） ..... 1-252	3-2-13-5 架設工（ケーブルエレクション架設） ..... 1-252	
3-2-13-6 架設工（架設桁架設） ..... 1-252	3-2-13-6 架設工（架設桁架設） ..... 1-252	
3-2-13-7 架設工（送出し架設） ..... 1-253	3-2-13-7 架設工（送出し架設） ..... 1-253	
3-2-13-8 架設工（トラベラークレーン架設） ..... 1-253	3-2-13-8 架設工（トラベラークレーン架設） ..... 1-253	
<b>第14節 法面工（共通） ..... 1-254</b>	<b>第14節 法面工（共通） ..... 1-254</b>	
3-2-14-1 一般事項 ..... 1-254	3-2-14-1 一般事項 ..... 1-254	
3-2-14-2 植生工 ..... 1-254	3-2-14-2 植生工 ..... 1-254	
3-2-14-3 吹付工 ..... 1-256	3-2-14-3 吹付工 ..... 1-256	
3-2-14-4 法枠工 ..... 1-257	3-2-14-4 法枠工 ..... 1-257	
3-2-14-5 法面施肥工 ..... 1-259	3-2-14-5 法面施肥工 ..... 1-259	
3-2-14-6 アンカー工 ..... 1-259	3-2-14-6 アンカー工 ..... 1-259	
3-2-14-7 かご工 ..... 1-260	3-2-14-7 かご工 ..... 1-260	
<b>第15節 擁壁工（共通） ..... 1-261</b>	<b>第15節 擁壁工（共通） ..... 1-261</b>	
3-2-15-1 一般事項 ..... 1-261	3-2-15-1 一般事項 ..... 1-261	
3-2-15-2 プレキャスト擁壁工 ..... 1-261	3-2-15-2 プレキャスト擁壁工 ..... 1-261	
3-2-15-3 補強土壁工 ..... 1-261	3-2-15-3 補強土壁工 ..... 1-261	
3-2-15-4 井桁ブロック工 ..... 1-263	3-2-15-4 井桁ブロック工 ..... 1-263	
<b>第16節 浚渫工（共通） ..... 1-263</b>	<b>第16節 浚渫工（共通） ..... 1-263</b>	
3-2-16-1 一般事項 ..... 1-263	3-2-16-1 一般事項 ..... 1-263	
3-2-16-2 配土工 ..... 1-263	3-2-16-2 配土工 ..... 1-263	
3-2-16-3 浚渫船運転工 ..... 1-263	3-2-16-3 浚渫船運転工 ..... 1-263	
<b>第17節 植栽維持工 ..... 1-265</b>	<b>第17節 植栽維持工 ..... 1-265</b>	
3-2-17-1 一般事項 ..... 1-265	3-2-17-1 一般事項 ..... 1-265	
3-2-17-2 材料 ..... 1-265	3-2-17-2 材料 ..... 1-265	
3-2-17-3 樹木・芝生管理工 ..... 1-265	3-2-17-3 樹木・芝生管理工 ..... 1-266	
<b>第18節 床版工 ..... 1-268</b>	<b>第18節 床版工 ..... 1-268</b>	
3-2-18-1 一般事項 ..... 1-268	3-2-18-1 一般事項 ..... 1-268	
3-2-18-2 床版工 ..... 1-268	3-2-18-2 床版工 ..... 1-268	
4-1-12-3 道路付属物工 ..... 1-280	4-1-12-3 道路付属物工 ..... 1-280	

現 行	改 定	摘 要
4-1-12-4 標識工..... 1-280	4-1-12-4 標識工..... 1-280	
<b>第13節 光ケーブル配管工..... 1-280</b>	<b>第13節 光ケーブル配管工..... 1-280</b>	
4-1-13-1 一般事項..... 1-280	4-1-13-1 一般事項..... 1-280	
4-1-13-2 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-280	4-1-13-2 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-280	
4-1-13-3 配管工..... 1-280	4-1-13-3 配管工..... 1-280	
4-1-13-4 ハンドホール工..... 1-281	4-1-13-4 ハンドホール工..... 1-281	
<b>第2章 浚渫（河川）..... 1-282</b>	<b>第2章 浚渫（河川）..... 1-282</b>	
第1節 適 用..... 1-282	第1節 適 用..... 1-282	
第2節 適用すべき諸基準..... 1-282	第2節 適用すべき諸基準..... 1-282	
第3節 浚渫工（ポンプ浚渫船）..... 1-282	第3節 浚渫工（ポンプ浚渫船）..... 1-282	
4-2-3-1 一般事項..... 1-282	4-2-3-1 一般事項..... 1-282	
4-2-3-2 浚渫船運転工（民船・官船）..... 1-283	4-2-3-2 浚渫船運転工（民船・官船）..... 1-283	
4-2-3-3 作業船及び機械運転工..... 1-283	4-2-3-3 作業船及び機械運転工..... 1-283	
4-2-3-4 配土工..... 1-283	4-2-3-4 配土工..... 1-283	
第4節 浚渫工（グラブ船）..... 1-283	第4節 浚渫工（グラブ船）..... 1-283	
4-2-4-1 一般事項..... 1-283	4-2-4-1 一般事項..... 1-283	
4-2-4-2 浚渫船運転工..... 1-284	4-2-4-2 浚渫船運転工..... 1-284	
4-2-4-3 作業船運転工..... 1-284	4-2-4-3 作業船運転工..... 1-284	
4-2-4-4 配土工..... 1-284	4-2-4-4 配土工..... 1-284	
第5節 浚渫工（バックホウ浚渫船）..... 1-284	第5節 浚渫工（バックホウ浚渫船）..... 1-284	
4-2-5-1 一般事項..... 1-285	4-2-5-1 一般事項..... 1-284	
4-2-5-2 浚渫船運転工..... 1-285	4-2-5-2 浚渫船運転工..... 1-285	
4-2-5-3 作業船運転工..... 1-285	4-2-5-3 作業船運転工..... 1-285	
4-2-5-4 揚土工..... 1-285	4-2-5-4 揚土工..... 1-285	
第6節 浚渫土処理工..... 1-285	第6節 浚渫土処理工..... 1-285	
4-2-6-1 一般事項..... 1-285	4-2-6-1 一般事項..... 1-285	
4-2-6-2 浚渫土処理工..... 1-285	4-2-6-2 浚渫土処理工..... 1-285	
<b>第3章 樋門・樋管..... 1-286</b>	<b>第3章 樋門・樋管..... 1-286</b>	
第1節 適 用..... 1-286	第1節 適 用..... 1-286	
第2節 適用すべき諸基準..... 1-286	第2節 適用すべき諸基準..... 1-286	
第3節 軽量盛土工..... 1-286	第3節 軽量盛土工..... 1-286	
4-3-3-1 一般事項..... 1-286	4-3-3-1 一般事項..... 1-286	
4-3-3-2 軽量盛土工..... 1-286	4-3-3-2 軽量盛土工..... 1-286	
第4節 地盤改良工..... 1-286	第4節 地盤改良工..... 1-286	
4-3-4-1 一般事項..... 1-286	4-3-4-1 一般事項..... 1-286	
4-3-4-2 固結工..... 1-287	4-3-4-2 固結工..... 1-287	
第5節 樋門・樋管本体工..... 1-287	第5節 樋門・樋管本体工..... 1-287	
4-3-5-1 一般事項..... 1-287	4-3-5-1 一般事項..... 1-287	
4-3-5-2 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-287	4-3-5-2 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-287	

現 行	改 定	摘 要
<b>第6節 水門本体工</b> ..... 1-296	<b>第6節 水門本体工</b> ..... 1-296	
4-4-6-1 一般事項 ..... 1-296	4-4-6-1 一般事項 ..... 1-296	
4-4-6-2 材 料 ..... 1-296	4-4-6-2 材 料 ..... 1-296	
4-4-6-3 作業土工（床掘り・埋戻し） ..... 1-296	4-4-6-3 作業土工（床掘り・埋戻し） ..... 1-296	
4-4-6-4 既製杭工 ..... 1-296	4-4-6-4 既製杭工 ..... 1-296	
4-4-6-5 場所打杭工 ..... 1-296	4-4-6-5 場所打杭工 ..... 1-296	
4-4-6-6 矢板工（遮水矢板） ..... 1-296	4-4-6-6 矢板工（遮水矢板） ..... 1-296	
4-4-6-7 床版工 ..... 1-296	4-4-6-7 床版工 ..... 1-296	
4-4-6-8 堰柱工 ..... 1-297	4-4-6-8 堰柱工 ..... 1-297	
4-4-6-9 門柱工 ..... 1-297	4-4-6-9 門柱工 ..... 1-297	
4-4-6-10 ゲート操作台工 ..... 1-297	4-4-6-10 ゲート操作台工 ..... 1-297	
4-4-6-11 胸壁工 ..... 1-297	4-4-6-11 胸壁工 ..... 1-297	
4-4-6-12 翼壁工 ..... 1-298	4-4-6-12 翼壁工 ..... 1-297	
4-4-6-13 水叩工 ..... 1-298	4-4-6-13 水叩工 ..... 1-298	
<b>第7節 護床工</b> ..... 1-298	<b>第7節 護床工</b> ..... 1-298	
4-4-7-1 一般事項 ..... 1-298	4-4-7-1 一般事項 ..... 1-298	
4-4-7-2 作業土工（床掘り・埋戻し） ..... 1-298	4-4-7-2 作業土工（床掘り・埋戻し） ..... 1-298	
4-4-7-3 根固めブロック工 ..... 1-298	4-4-7-3 根固めブロック工 ..... 1-298	
4-4-7-4 間詰工 ..... 1-298	4-4-7-4 間詰工 ..... 1-298	
4-4-7-5 沈床工 ..... 1-298	4-4-7-5 沈床工 ..... 1-298	
4-4-7-6 捨石工 ..... 1-298	4-4-7-6 捨石工 ..... 1-298	
4-4-7-7 かご工 ..... 1-298	4-4-7-7 かご工 ..... 1-298	
<b>第8節 付属物設置工</b> ..... 1-298	<b>第8節 付属物設置工</b> ..... 1-298	
4-4-8-1 一般事項 ..... 1-298	4-4-8-1 一般事項 ..... 1-298	
4-4-8-2 作業土工（床掘り・埋戻し） ..... 1-299	4-4-8-2 作業土工（床掘り・埋戻し） ..... 1-298	
4-4-8-3 防止柵工 ..... 1-299	4-4-8-3 防止柵工 ..... 1-298	
4-4-8-4 境界工 ..... 1-299	4-4-8-4 境界工 ..... 1-298	
4-4-8-5 管理橋受台工 ..... 1-299	4-4-8-5 管理橋受台工 ..... 1-298	
4-4-8-6 銘板工 ..... 1-299	4-4-8-6 銘板工 ..... 1-299	
4-4-8-7 点検施設工 ..... 1-299	4-4-8-7 点検施設工 ..... 1-299	
4-4-8-8 階段工 ..... 1-299	4-4-8-8 階段工 ..... 1-299	
4-4-8-9 観測施設工 ..... 1-299	4-4-8-9 観測施設工 ..... 1-299	
<b>第9節 鋼管理橋上部工</b> ..... 1-299	<b>第9節 鋼管理橋上部工</b> ..... 1-299	
4-4-9-1 一般事項 ..... 1-299	4-4-9-1 一般事項 ..... 1-299	
4-4-9-2 材料 ..... 1-300	4-4-9-2 材料 ..... 1-299	
4-4-9-3 地組工 ..... 1-300	4-4-9-3 地組工 ..... 1-300	
4-4-9-4 架設工（クレーン架設） ..... 1-300	4-4-9-4 架設工（クレーン架設） ..... 1-300	
4-4-9-5 架設工（ケーブルクレーン架設） ..... 1-300	4-4-9-5 架設工（ケーブルクレーン架設） ..... 1-300	
4-4-9-6 架設工（ケーブルエレクション架設） ..... 1-300	4-4-9-6 架設工（ケーブルエレクション架設） ..... 1-300	

現 行	改 定	摘 要
5-1-12-9 集水柵工..... 1-353	5-1-12-9 集水柵工..... 1-353	
5-1-12-10 縁石工..... 1-353	5-1-12-10 縁石工..... 1-354	
5-1-12-11 区画線工..... 1-353	5-1-12-11 区画線工..... 1-354	
<b>第13節 付帯道路施設工..... 1-353</b>	<b>第13節 付帯道路施設工..... 1-354</b>	
5-1-13-1 一般事項..... 1-353	5-1-13-1 一般事項..... 1-354	
5-1-13-2 境界工..... 1-354	5-1-13-2 境界工..... 1-354	
5-1-13-3 道路付属物工..... 1-354	5-1-13-3 道路付属物工..... 1-354	
5-1-13-4 小型標識工..... 1-354	5-1-13-4 小型標識工..... 1-354	
<b>第2章 流路..... 1-355</b>	<b>第2章 流路..... 1-355</b>	
第1節 適 用..... 1-355	第1節 適 用..... 1-355	
第2節 適用すべき諸基準..... 1-355	第2節 適用すべき諸基準..... 1-355	
第3節 軽量盛土工..... 1-355	第3節 軽量盛土工..... 1-355	
5-2-3-1 一般事項..... 1-355	5-2-3-1 一般事項..... 1-355	
5-2-3-2 軽量盛土工..... 1-355	5-2-3-2 軽量盛土工..... 1-355	
第4節 流路護岸工..... 1-355	第4節 流路護岸工..... 1-355	
5-2-4-1 一般事項..... 1-355	5-2-4-1 一般事項..... 1-355	
5-2-4-2 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-355	5-2-4-2 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-355	
5-2-4-3 埋戻し工..... 1-356	5-2-4-3 埋戻し工..... 1-356	
5-2-4-4 基礎工（護岸）..... 1-356	5-2-4-4 基礎工（護岸）..... 1-356	
5-2-4-5 コンクリート擁壁工..... 1-356	5-2-4-5 コンクリート擁壁工..... 1-356	
5-2-4-6 ブロック積擁壁工..... 1-356	5-2-4-6 ブロック積擁壁工..... 1-356	
5-2-4-7 石積擁壁工..... 1-356	5-2-4-7 石積擁壁工..... 1-356	
5-2-4-8 護岸付属物工..... 1-356	5-2-4-8 護岸付属物工..... 1-356	
5-2-4-9 植生工..... 1-356	5-2-4-9 植生工..... 1-356	
第5節 床固め工..... 1-356	第5節 床固め工..... 1-356	
5-2-5-1 一般事項..... 1-356	5-2-5-1 一般事項..... 1-356	
5-2-5-2 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-356	5-2-5-2 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-356	
5-2-5-3 埋戻し工..... 1-356	5-2-5-3 埋戻し工..... 1-356	
5-2-5-4 床固め本体工..... 1-356	5-2-5-4 床固め本体工..... 1-356	
5-2-5-5 垂直壁工..... 1-356	5-2-5-5 垂直壁工..... 1-356	
5-2-5-6 側壁工..... 1-356	5-2-5-6 側壁工..... 1-356	
5-2-5-7 水叩工..... 1-356	5-2-5-7 水叩工..... 1-356	
5-2-5-8 魚道工..... 1-356	5-2-5-8 魚道工..... 1-356	
第6節 根固め・水制工..... 1-357	第6節 根固め・水制工..... 1-357	
5-2-6-1 一般事項..... 1-357	5-2-6-1 一般事項..... 1-357	
5-2-6-2 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-357	5-2-6-2 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-357	
5-2-6-3 埋戻し工..... 1-357	5-2-6-3 埋戻し工..... 1-357	
5-2-6-4 根固めブロック工..... 1-357	5-2-6-4 根固めブロック工..... 1-357	
5-2-6-5 間詰工..... 1-357	5-2-6-5 間詰工..... 1-357	

現 行	改 定	摘 要
6-1-3-4 発破制限 ..... 1-368	6-1-3-4 発破制限 ..... 1-368	
6-1-3-5 岩盤面処理 ..... 1-369	6-1-3-5 岩盤面処理 ..... 1-369	
6-1-3-6 不良岩等の処理 ..... 1-369	6-1-3-6 不良岩等の処理 ..... 1-369	
6-1-3-7 建設発生土の処理 ..... 1-369	6-1-3-7 建設発生土の処理 ..... 1-369	
6-1-3-8 基礎岩盤の確認 ..... 1-370	6-1-3-8 基礎岩盤の確認 ..... 1-370	
6-1-3-9 岩盤確認後の再処理 ..... 1-370	6-1-3-9 岩盤確認後の再処理 ..... 1-370	
<b>第4節 ダムコンクリート工 ..... 1-370</b>	<b>第4節 ダムコンクリート工 ..... 1-370</b>	
6-1-4-1 一般事項 ..... 1-370	6-1-4-1 一般事項 ..... 1-370	
6-1-4-2 原石骨材 ..... 1-370	6-1-4-2 原石骨材 ..... 1-370	
6-1-4-3 天然骨材 ..... 1-371	6-1-4-3 天然骨材 ..... 1-371	
6-1-4-4 配合 ..... 1-371	6-1-4-4 配合 ..... 1-371	
6-1-4-5 材料の計量 ..... 1-371	6-1-4-5 材料の計量 ..... 1-371	
6-1-4-6 練りませ ..... 1-371	6-1-4-6 練りませ ..... 1-371	
6-1-4-7 コンクリートの運搬 ..... 1-372	6-1-4-7 コンクリートの運搬 ..... 1-372	
6-1-4-8 打込み開始 ..... 1-373	6-1-4-8 打込み開始 ..... 1-373	
6-1-4-9 コンクリートの打込み ..... 1-373	6-1-4-9 コンクリートの打込み ..... 1-373	
6-1-4-10 締固め ..... 1-375	6-1-4-10 締固め ..... 1-375	
6-1-4-11 継目 ..... 1-375	6-1-4-11 継目 ..... 1-375	
6-1-4-12 養生 ..... 1-376	6-1-4-12 養生 ..... 1-376	
<b>第5節 型枠工 ..... 1-376</b>	<b>第5節 型枠工 ..... 1-376</b>	
6-1-5-1 一般事項 ..... 1-375	6-1-5-1 一般事項 ..... 1-376	
6-1-5-2 せき板 ..... 1-377	6-1-5-2 せき板 ..... 1-377	
6-1-5-3 型枠の組立て取りはずし移動 ..... 1-377	6-1-5-3 型枠の組立て取りはずし移動 ..... 1-377	
6-1-5-4 型枠の取りはずし後の処理 ..... 1-377	6-1-5-4 型枠の取りはずし後の処理 ..... 1-377	
<b>第6節 表面仕上げ工 ..... 1-377</b>	<b>第6節 表面仕上げ工 ..... 1-377</b>	
6-1-6-1 一般事項 ..... 1-377	6-1-6-1 一般事項 ..... 1-377	
6-1-6-2 表面仕上げ ..... 1-378	6-1-6-2 表面仕上げ ..... 1-378	
<b>第7節 埋設物設置工 ..... 1-378</b>	<b>第7節 埋設物設置工 ..... 1-378</b>	
6-1-7-1 一般事項 ..... 1-378	6-1-7-1 一般事項 ..... 1-378	
6-1-7-2 冷却管設置 ..... 1-378	6-1-7-2 冷却管設置 ..... 1-378	
6-1-7-3 継目グラウチング設備設置 ..... 1-378	6-1-7-3 継目グラウチング設備設置 ..... 1-379	
6-1-7-4 止水板 ..... 1-379	6-1-7-4 止水板 ..... 1-379	
6-1-7-5 観測計器埋設 ..... 1-379	6-1-7-5 観測計器埋設 ..... 1-379	
<b>第8節 パイプクーリング工 ..... 1-379</b>	<b>第8節 パイプクーリング工 ..... 1-379</b>	
6-1-8-1 一般事項 ..... 1-379	6-1-8-1 一般事項 ..... 1-379	
6-1-8-2 クーリングの種類 ..... 1-379	6-1-8-2 クーリングの種類 ..... 1-379	
6-1-8-3 冷却用設備 ..... 1-379	6-1-8-3 冷却用設備 ..... 1-379	
6-1-8-4 冷却工 ..... 1-380	6-1-8-4 冷却工 ..... 1-380	
<b>第9節 プレクーリング工 ..... 1-380</b>	<b>第9節 プレクーリング工 ..... 1-380</b>	

現 行	改 定	摘 要
<b>第3章 橋梁下部 ..... 1-420</b> 第1節 適 用 ..... 1-420 第2節 適用すべき諸基準 ..... 1-420 第3節 工場製作工 ..... 1-421 7-3-3-1 一般事項 ..... 1-421 7-3-3-2 刃口金物製作工 ..... 1-421 7-3-3-3 鋼製橋脚製作工 ..... 1-422 7-3-3-4 アンカーフレーム製作工 ..... 1-422 7-3-3-5 工場塗装工 ..... 1-422 第4節 工場製品輸送工 ..... 1-422 7-3-4-1 一般事項 ..... 1-422 7-3-4-2 輸送工 ..... 1-422 第5節 軽量盛土工 ..... 1-422 7-3-5-1 一般事項 ..... 1-422 7-3-5-2 軽量盛土 ..... 1-422 第6節 橋台工 ..... 1-422 7-3-6-1 一般事項 ..... 1-422 7-3-6-2 作業土工（床掘り・埋戻し） ..... 1-422 7-3-6-3 既製杭工 ..... 1-422 7-3-6-4 場所打杭工 ..... 1-422 7-3-6-5 深礎工 ..... 1-423 7-3-6-6 オープンケーソン基礎工 ..... 1-423 7-3-6-7 ニューマチックケーソン基礎工 ..... 1-423 7-3-6-8 橋台躯体工 ..... 1-423 7-3-6-9 地下水位低下工 ..... 1-424 第7節 RC橋脚工 ..... 1-424 7-3-7-1 一般事項 ..... 1-424 7-3-7-2 作業土工（床掘り・埋戻し） ..... 1-424 7-3-7-3 既製杭工 ..... 1-424 7-3-7-4 場所打杭工 ..... 1-424 7-3-7-5 深礎工 ..... 1-424 7-3-7-6 オープンケーソン基礎工 ..... 1-424 7-3-7-7 ニューマチックケーソン基礎工 ..... 1-424 7-3-7-8 鋼管矢板基礎工 ..... 1-424 7-3-7-9 橋脚躯体工 ..... 1-424 7-3-7-10 地下水位低下工 ..... 1-424 第8節 鋼製橋脚工 ..... 1-424 7-3-8-1 一般事項 ..... 1-424 7-3-8-2 作業土工（床掘り・埋戻し） ..... 1-425	<b>第3章 橋梁下部 ..... 1-420</b> 第1節 適 用 ..... 1-420 第2節 適用すべき諸基準 ..... 1-420 第3節 工場製作工 ..... 1-421 7-3-3-1 一般事項 ..... 1-421 7-3-3-2 刃口金物製作工 ..... 1-422 7-3-3-3 鋼製橋脚製作工 ..... 1-422 7-3-3-4 アンカーフレーム製作工 ..... 1-422 7-3-3-5 工場塗装工 ..... 1-422 第4節 工場製品輸送工 ..... 1-422 7-3-4-1 一般事項 ..... 1-422 7-3-4-2 輸送工 ..... 1-422 第5節 軽量盛土工 ..... 1-422 7-3-5-1 一般事項 ..... 1-422 7-3-5-2 軽量盛土 ..... 1-422 第6節 橋台工 ..... 1-422 7-3-6-1 一般事項 ..... 1-422 7-3-6-2 作業土工（床掘り・埋戻し） ..... 1-422 7-3-6-3 既製杭工 ..... 1-422 7-3-6-4 場所打杭工 ..... 1-423 7-3-6-5 深礎工 ..... 1-423 7-3-6-6 オープンケーソン基礎工 ..... 1-423 7-3-6-7 ニューマチックケーソン基礎工 ..... 1-423 7-3-6-8 橋台躯体工 ..... 1-423 7-3-6-9 地下水位低下工 ..... 1-424 第7節 RC橋脚工 ..... 1-424 7-3-7-1 一般事項 ..... 1-424 7-3-7-2 作業土工（床掘り・埋戻し） ..... 1-424 7-3-7-3 既製杭工 ..... 1-424 7-3-7-4 場所打杭工 ..... 1-424 7-3-7-5 深礎工 ..... 1-424 7-3-7-6 オープンケーソン基礎工 ..... 1-424 7-3-7-7 ニューマチックケーソン基礎工 ..... 1-424 7-3-7-8 鋼管矢板基礎工 ..... 1-424 7-3-7-9 橋脚躯体工 ..... 1-424 7-3-7-10 地下水位低下工 ..... 1-424 第8節 鋼製橋脚工 ..... 1-424 7-3-8-1 一般事項 ..... 1-424 7-3-8-2 作業土工（床掘り・埋戻し） ..... 1-425	

現 行	改 定	摘 要
7-3-12-4 プレキャスト擁壁工 ..... 1-429	7-3-12-4 プレキャスト擁壁工 ..... 1-429	
<b>第4章 鋼橋上部 ..... 1-430</b>	<b>第4章 鋼橋上部 ..... 1-430</b>	
第1節 適 用 ..... 1-430	第1節 適 用 ..... 1-430	
第2節 適用すべき諸基準 ..... 1-430	第2節 適用すべき諸基準 ..... 1-430	
第3節 工場製作工 ..... 1-430	第3節 工場製作工 ..... 1-431	
7-4-3-1 一般事項 ..... 1-430	7-4-3-1 一般事項 ..... 1-431	
7-4-3-2 材 料 ..... 1-431	7-4-3-2 材 料 ..... 1-431	
7-4-3-3 桁製作工 ..... 1-431	7-4-3-3 桁製作工 ..... 1-431	
7-4-3-4 検査路製作工 ..... 1-431	7-4-3-4 検査路製作工 ..... 1-431	
7-4-3-5 鋼製伸縮継手製作工 ..... 1-431	7-4-3-5 鋼製伸縮継手製作工 ..... 1-431	
7-4-3-6 落橋防止装置製作工 ..... 1-431	7-4-3-6 落橋防止装置製作工 ..... 1-431	
7-4-3-7 鋼製排水管製作工 ..... 1-431	7-4-3-7 鋼製排水管製作工 ..... 1-431	
7-4-3-8 橋梁用防護柵製作工 ..... 1-431	7-4-3-8 橋梁用防護柵製作工 ..... 1-431	
7-4-3-9 橋梁用高欄製作工 ..... 1-431	7-4-3-9 橋梁用高欄製作工 ..... 1-432	
7-4-3-10 横断歩道橋製作工 ..... 1-432	7-4-3-10 横断歩道橋製作工 ..... 1-432	
7-4-3-11 鋳造費 ..... 1-432	7-4-3-11 鋳造費 ..... 1-432	
7-4-3-12 アンカーフレーム製作工 ..... 1-432	7-4-3-12 アンカーフレーム製作工 ..... 1-432	
7-4-3-13 工場塗装工 ..... 1-432	7-4-3-13 工場塗装工 ..... 1-432	
第4節 工場製品輸送工 ..... 1-432	第4節 工場製品輸送工 ..... 1-432	
7-4-4-1 一般事項 ..... 1-432	7-4-4-1 一般事項 ..... 1-432	
7-4-4-2 輸送工 ..... 1-432	7-4-4-2 輸送工 ..... 1-432	
第5節 鋼橋架設工 ..... 1-432	第5節 鋼橋架設工 ..... 1-432	
7-4-5-1 一般事項 ..... 1-432	7-4-5-1 一般事項 ..... 1-432	
7-4-5-2 材 料 ..... 1-432	7-4-5-2 材 料 ..... 1-432	
7-4-5-3 地組工 ..... 1-433	7-4-5-3 地組工 ..... 1-433	
7-4-5-4 架設工（クレーン架設） ..... 1-433	7-4-5-4 架設工（クレーン架設） ..... 1-433	
7-4-5-5 架設工（ケーブルクレーン架設） ..... 1-433	7-4-5-5 架設工（ケーブルクレーン架設） ..... 1-433	
7-4-5-6 架設工（ケーブルエレクション架設） ..... 1-433	7-4-5-6 架設工（ケーブルエレクション架設） ..... 1-433	
7-4-5-7 架設工（架設桁架設） ..... 1-433	7-4-5-7 架設工（架設桁架設） ..... 1-433	
7-4-5-8 架設工（送出し架設） ..... 1-433	7-4-5-8 架設工（送出し架設） ..... 1-433	
7-4-5-9 架設工（トラベラークレーン架設） ..... 1-433	7-4-5-9 架設工（トラベラークレーン架設） ..... 1-433	
7-4-5-10 支承工 ..... 1-433	7-4-5-10 支承工 ..... 1-433	
7-4-5-11 現場継手工 ..... 1-433	7-4-5-11 現場継手工 ..... 1-433	
第6節 橋梁現場塗装工 ..... 1-433	第6節 橋梁現場塗装工 ..... 1-433	
7-4-6-1 一般事項 ..... 1-433	7-4-6-1 一般事項 ..... 1-433	
7-4-6-2 材 料 ..... 1-433	7-4-6-2 材 料 ..... 1-434	
7-4-6-3 現場塗装工 ..... 1-434	7-4-6-3 現場塗装工 ..... 1-434	
第7節 床版工 ..... 1-434	第7節 床版工 ..... 1-434	
7-4-7-1 一般事項 ..... 1-434	7-4-7-1 一般事項 ..... 1-434	

現 行	改 定	摘 要
7-4-7-2 床版工 ..... 1-434	7-4-7-2 床版工 ..... 1-434	
<b>第8節 橋梁付属物工 ..... 1-434</b>	<b>第8節 橋梁付属物工 ..... 1-434</b>	
7-4-8-1 一般事項 ..... 1-434	7-4-8-1 一般事項 ..... 1-434	
7-4-8-2 伸縮装置工 ..... 1-434	7-4-8-2 伸縮装置工 ..... 1-434	
7-4-8-3 落橋防止装置工 ..... 1-434	7-4-8-3 落橋防止装置工 ..... 1-434	
7-4-8-4 排水装置工 ..... 1-434	7-4-8-4 排水装置工 ..... 1-434	
7-4-8-5 地覆工 ..... 1-434	7-4-8-5 地覆工 ..... 1-434	
7-4-8-6 橋梁用防護柵工 ..... 1-434	7-4-8-6 橋梁用防護柵工 ..... 1-434	
7-4-8-7 橋梁用高欄工 ..... 1-434	7-4-8-7 橋梁用高欄工 ..... 1-434	
7-4-8-8 検査路工 ..... 1-434	7-4-8-8 検査路工 ..... 1-435	
7-4-8-9 銘板工 ..... 1-435	7-4-8-9 銘板工 ..... 1-435	
<b>第9節 歩道橋本体工 ..... 1-435</b>	<b>第9節 歩道橋本体工 ..... 1-435</b>	
7-4-9-1 一般事項 ..... 1-435	7-4-9-1 一般事項 ..... 1-435	
7-4-9-2 作業土工（床掘り・埋戻し） ..... 1-435	7-4-9-2 作業土工（床掘り・埋戻し） ..... 1-435	
7-4-9-3 既製杭工 ..... 1-435	7-4-9-3 既製杭工 ..... 1-435	
7-4-9-4 場所打杭工 ..... 1-435	7-4-9-4 場所打杭工 ..... 1-435	
7-4-9-5 橋脚フーチング工 ..... 1-435	7-4-9-5 橋脚フーチング工 ..... 1-435	
7-4-9-6 歩道橋（側道橋）架設工 ..... 1-435	7-4-9-6 歩道橋（側道橋）架設工 ..... 1-435	
7-4-9-7 現場塗装工 ..... 1-435	7-4-9-7 現場塗装工 ..... 1-436	
<b>第10節 鋼橋足場等設置工 ..... 1-436</b>	<b>第10節 鋼橋足場等設置工 ..... 1-436</b>	
7-4-10-1 一般事項 ..... 1-436	7-4-10-1 一般事項 ..... 1-436	
7-4-10-2 橋梁足場工 ..... 1-436	7-4-10-2 橋梁足場工 ..... 1-436	
7-4-10-3 橋梁防護工 ..... 1-436	7-4-10-3 橋梁防護工 ..... 1-436	
7-4-10-4 昇降用設備工 ..... 1-436	7-4-10-4 昇降用設備工 ..... 1-436	
<b>第5章 コンクリート橋上部 ..... 1-437</b>	<b>第5章 コンクリート橋上部 ..... 1-437</b>	
<b>第1節 適 用 ..... 1-437</b>	<b>第1節 適 用 ..... 1-437</b>	
<b>第2節 適用すべき諸基準 ..... 1-437</b>	<b>第2節 適用すべき諸基準 ..... 1-437</b>	
<b>第3節 工場製作工 ..... 1-438</b>	<b>第3節 工場製作工 ..... 1-438</b>	
7-5-3-1 一般事項 ..... 1-438	7-5-3-1 一般事項 ..... 1-438	
7-5-3-2 プレベーム用桁製作工 ..... 1-438	7-5-3-2 プレベーム用桁製作工 ..... 1-439	
7-5-3-3 橋梁用防護柵製作工 ..... 1-439	7-5-3-3 橋梁用防護柵製作工 ..... 1-439	
7-5-3-4 鋼製伸縮継手製作工 ..... 1-439	7-5-3-4 鋼製伸縮継手製作工 ..... 1-439	
7-5-3-5 検査路製作工 ..... 1-439	7-5-3-5 検査路製作工 ..... 1-439	
7-5-3-6 工場塗装工 ..... 1-439	7-5-3-6 工場塗装工 ..... 1-439	
7-5-3-7 鋳造費 ..... 1-439	7-5-3-7 鋳造費 ..... 1-439	
<b>第4節 工場製品輸送工 ..... 1-439</b>	<b>第4節 工場製品輸送工 ..... 1-439</b>	
7-5-4-1 一般事項 ..... 1-439	7-5-4-1 一般事項 ..... 1-439	
7-5-4-2 輸送工 ..... 1-439	7-5-4-2 輸送工 ..... 1-439	
<b>第5節 PC橋工 ..... 1-439</b>	<b>第5節 PC橋工 ..... 1-439</b>	



現 行	改 定	摘 要
7-5-10-4 PC箱桁製作工..... 1-447	7-5-10-4 PC箱桁製作工..... 1-447	
7-5-10-5 落橋防止装置工..... 1-447	7-5-10-5 落橋防止装置工..... 1-447	
<b>第11節 PC片持箱桁橋工..... 1-447</b>	<b>第11節 PC片持箱桁橋工..... 1-447</b>	
7-5-11-1 一般事項..... 1-447	7-5-11-1 一般事項..... 1-447	
7-5-11-2 PC片持箱桁製作工..... 1-448	7-5-11-2 PC片持箱桁製作工..... 1-448	
7-5-11-3 支承工..... 1-448	7-5-11-3 支承工..... 1-448	
7-5-11-4 架設工（片持架設）..... 1-448	7-5-11-4 架設工（片持架設）..... 1-448	
<b>第12節 PC押し箱桁橋工..... 1-448</b>	<b>第12節 PC押し箱桁橋工..... 1-448</b>	
7-5-12-1 一般事項..... 1-448	7-5-12-1 一般事項..... 1-448	
7-5-12-2 PC押し箱桁製作工..... 1-449	7-5-12-2 PC押し箱桁製作工..... 1-449	
7-5-12-3 架設工（押し架設）..... 1-450	7-5-12-3 架設工（押し架設）..... 1-450	
<b>第13節 橋梁付属物工..... 1-450</b>	<b>第13節 橋梁付属物工..... 1-450</b>	
7-5-13-1 一般事項..... 1-450	7-5-13-1 一般事項..... 1-450	
7-5-13-2 伸縮装置工..... 1-450	7-5-13-2 伸縮装置工..... 1-450	
7-5-13-3 排水装置工..... 1-450	7-5-13-3 排水装置工..... 1-450	
7-5-13-4 地覆工..... 1-450	7-5-13-4 地覆工..... 1-450	
7-5-13-5 橋梁用防護柵工..... 1-450	7-5-13-5 橋梁用防護柵工..... 1-450	
7-5-13-6 橋梁用高欄工..... 1-450	7-5-13-6 橋梁用高欄工..... 1-450	
7-5-13-7 検査路工..... 1-450	7-5-13-7 検査路工..... 1-450	
7-5-13-8 銘板工..... 1-450	7-5-13-8 銘板工..... 1-450	
<b>第14節 コンクリート橋足場等設置工..... 1-450</b>	<b>第14節 コンクリート橋足場等設置工..... 1-450</b>	
7-5-14-1 一般事項..... 1-450	7-5-14-1 一般事項..... 1-450	
7-5-14-2 橋梁足場工..... 1-450	7-5-14-2 橋梁足場工..... 1-450	
7-5-14-3 橋梁防護工..... 1-450	7-5-14-3 橋梁防護工..... 1-450	
7-5-14-4 昇降用設備工..... 1-450	7-5-14-4 昇降用設備工..... 1-450	
<b>第6章 トンネル（NATM）..... 1-451</b>	<b>第6章 トンネル（NATM）..... 1-451</b>	
第1節 適用..... 1-451	第1節 適用..... 1-451	
第2節 適用すべき諸基準..... 1-452	第2節 適用すべき諸基準..... 1-452	
第3節 トンネル掘削工..... 1-452	第3節 トンネル掘削工..... 1-453	
7-6-3-1 一般事項..... 1-452	7-6-3-1 一般事項..... 1-453	
7-6-3-2 掘削工..... 1-453	7-6-3-2 掘削工..... 1-453	
第4節 支保工..... 1-453	第4節 支保工..... 1-453	
7-6-4-1 一般事項..... 1-453	7-6-4-1 一般事項..... 1-453	
7-6-4-2 材 料..... 1-454	7-6-4-2 材 料..... 1-454	
7-6-4-3 吹付工..... 1-454	7-6-4-3 吹付工..... 1-454	
7-6-4-4 ロックボルト工..... 1-454	7-6-4-4 ロックボルト工..... 1-455	
7-6-4-5 鋼製支保工..... 1-455	7-6-4-5 鋼製支保工..... 1-455	
7-6-4-6 金網工..... 1-455	7-6-4-6 金網工..... 1-456	
第5節 覆工..... 1-456	第5節 覆工..... 1-456	

現 行	改 定	摘 要
7-6-5-1 一般事項..... 1-456	7-6-5-1 一般事項..... 1-456	
7-6-5-2 材 料..... 1-456	7-6-5-2 材 料..... 1-456	
7-6-5-3 覆工コンクリート工..... 1-457	7-6-5-3 覆工コンクリート工..... 1-457	
7-6-5-4 側壁コンクリート工..... 1-458	7-6-5-4 側壁コンクリート工..... 1-458	
7-6-5-5 床版コンクリート工..... 1-458	7-6-5-5 床版コンクリート工..... 1-458	
7-6-5-6 トンネル防水工..... 1-458	7-6-5-6 トンネル防水工..... 1-458	
<b>第6節 インバート工..... 1-458</b>	<b>第6節 インバート工..... 1-458</b>	
7-6-6-1 一般事項..... 1-458	7-6-6-1 一般事項..... 1-458	
7-6-6-2 材 料..... 1-459	7-6-6-2 材 料..... 1-458	
7-6-6-3 インバート掘削工..... 1-459	7-6-6-3 インバート掘削工..... 1-458	
7-6-6-4 インバート本体工..... 1-459	7-6-6-4 インバート本体工..... 1-459	
<b>第7節 坑内付帯工..... 1-459</b>	<b>第7節 坑内付帯工..... 1-459</b>	
7-6-7-1 一般事項..... 1-459	7-6-7-1 一般事項..... 1-459	
7-6-7-2 材 料..... 1-459	7-6-7-2 材 料..... 1-459	
7-6-7-3 箱抜工..... 1-459	7-6-7-3 箱抜工..... 1-459	
7-6-7-4 裏面排水工..... 1-459	7-6-7-4 裏面排水工..... 1-459	
7-6-7-5 地下排水工..... 1-459	7-6-7-5 地下排水工..... 1-460	
<b>第8節 坑門工..... 1-459</b>	<b>第8節 坑門工..... 1-460</b>	
7-6-8-1 一般事項..... 1-459	7-6-8-1 一般事項..... 1-460	
7-6-8-2 坑口付工..... 1-460	7-6-8-2 坑口付工..... 1-460	
7-6-8-3 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-460	7-6-8-3 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-460	
7-6-8-4 坑門本体工..... 1-460	7-6-8-4 坑門本体工..... 1-460	
7-6-8-5 明り巻工..... 1-460	7-6-8-5 明り巻工..... 1-460	
7-6-8-6 銘板工..... 1-460	7-6-8-6 銘板工..... 1-460	
<b>第9節 掘削補助工..... 1-460</b>	<b>第9節 掘削補助工..... 1-461</b>	
7-6-9-1 一般事項..... 1-460	7-6-9-1 一般事項..... 1-461	
7-6-9-2 材 料..... 1-461	7-6-9-2 材 料..... 1-461	
7-6-9-3 掘削補助工A..... 1-461	7-6-9-3 掘削補助工A..... 1-461	
7-6-9-4 掘削補助工B..... 1-461	7-6-9-4 掘削補助工B..... 1-461	
<b>第7章 コンクリートシェッド..... 1-462</b>	<b>第7章 コンクリートシェッド..... 1-462</b>	
第1節 適 用..... 1-462	第1節 適 用..... 1-462	
第2節 適用すべき諸基準..... 1-462	第2節 適用すべき諸基準..... 1-462	
第3節 プレキャストシェッド下部工..... 1-463	第3節 プレキャストシェッド下部工..... 1-463	
7-7-3-1 一般事項..... 1-463	7-7-3-1 一般事項..... 1-463	
7-7-3-2 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-463	7-7-3-2 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-463	
7-7-3-3 既製杭工..... 1-463	7-7-3-3 既製杭工..... 1-463	
7-7-3-4 場所打杭工..... 1-463	7-7-3-4 場所打杭工..... 1-463	
7-7-3-5 深礎工..... 1-463	7-7-3-5 深礎工..... 1-463	
7-7-3-6 受台工..... 1-463	7-7-3-6 受台工..... 1-463	

現 行	改 定	摘 要
7-7-3-7 アンカー工..... 1-464	7-7-3-7 アンカー工..... 1-464	
<b>第4節 プレキャストシェッド上部工..... 1-464</b>	<b>第4節 プレキャストシェッド上部工..... 1-464</b>	
7-7-4-1 一般事項..... 1-464	7-7-4-1 一般事項..... 1-464	
7-7-4-2 シェッド購入工..... 1-464	7-7-4-2 シェッド購入工..... 1-464	
7-7-4-3 架設工..... 1-464	7-7-4-3 架設工..... 1-464	
7-7-4-4 土砂囲工..... 1-464	7-7-4-4 土砂囲工..... 1-464	
7-7-4-5 柱脚コンクリート工..... 1-464	7-7-4-5 柱脚コンクリート工..... 1-464	
7-7-4-6 横締め工..... 1-464	7-7-4-6 横締め工..... 1-464	
7-7-4-7 防水工..... 1-465	7-7-4-7 防水工..... 1-465	
<b>第5節 RCシェッド工..... 1-465</b>	<b>第5節 RCシェッド工..... 1-465</b>	
7-7-5-1 一般事項..... 1-465	7-7-5-1 一般事項..... 1-465	
7-7-5-2 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-465	7-7-5-2 作業土工（床掘り・埋戻し）..... 1-465	
7-7-5-3 既製杭工..... 1-465	7-7-5-3 既製杭工..... 1-465	
7-7-5-4 場所打杭工..... 1-465	7-7-5-4 場所打杭工..... 1-465	
7-7-5-5 深礎工..... 1-465	7-7-5-5 深礎工..... 1-465	
7-7-5-6 躯体工..... 1-465	7-7-5-6 躯体工..... 1-465	
7-7-5-7 アンカー工..... 1-465	7-7-5-7 アンカー工..... 1-465	
<b>第6節 シェッド付属物工..... 1-466</b>	<b>第6節 シェッド付属物工..... 1-465</b>	
7-7-6-1 一般事項..... 1-466	7-7-6-1 一般事項..... 1-465	
7-7-6-2 緩衝工..... 1-466	7-7-6-2 緩衝工..... 1-466	
7-7-6-3 落橋防止装置工..... 1-466	7-7-6-3 落橋防止装置工..... 1-466	
7-7-6-4 排水装置工..... 1-466	7-7-6-4 排水装置工..... 1-466	
7-7-6-5 銘板工..... 1-466	7-7-6-5 銘板工..... 1-466	
<b>第8章 鋼製シェッド..... 1-467</b>	<b>第8章 鋼製シェッド..... 1-467</b>	
第1節 適 用..... 1-467	第1節 適 用..... 1-467	
第2節 適用すべき諸基準..... 1-467	第2節 適用すべき諸基準..... 1-467	
第3節 工場製作工..... 1-468	第3節 工場製作工..... 1-468	
7-8-3-1 一般事項..... 1-468	7-8-3-1 一般事項..... 1-468	
7-8-3-2 材 料..... 1-468	7-8-3-2 材 料..... 1-468	
7-8-3-3 梁（柱）製作工..... 1-468	7-8-3-3 梁（柱）製作工..... 1-468	
7-8-3-4 屋根製作工..... 1-468	7-8-3-4 屋根製作工..... 1-468	
7-8-3-5 鋼製排水管製作工..... 1-468	7-8-3-5 鋼製排水管製作工..... 1-468	
7-8-3-6 鋳造費..... 1-468	7-8-3-6 鋳造費..... 1-468	
7-8-3-7 工場塗装工..... 1-468	7-8-3-7 工場塗装工..... 1-468	
<b>第4節 工場製品輸送工..... 1-468</b>	<b>第4節 工場製品輸送工..... 1-468</b>	
7-8-4-1 一般事項..... 1-468	7-8-4-1 一般事項..... 1-468	
7-8-4-2 輸送工..... 1-468	7-8-4-2 輸送工..... 1-468	
<b>第5節 鋼製シェッド下部工..... 1-468</b>	<b>第5節 鋼製シェッド下部工..... 1-468</b>	
7-8-5-1 一般事項..... 1-468	7-8-5-1 一般事項..... 1-468	

現 行	改 定	摘 要
第3節 工場製作工 ..... 1-478	第3節 工場製作工 ..... 1-478	
7-11-3-1 一般事項 ..... 1-478	7-11-3-1 一般事項 ..... 1-478	
7-11-3-2 設備・金物製作工 ..... 1-478	7-11-3-2 設備・金物製作工 ..... 1-478	
7-11-3-3 工場塗装工 ..... 1-478	7-11-3-3 工場塗装工 ..... 1-478	
第4節 工場製品輸送工 ..... 1-479	第4節 工場製品輸送工 ..... 1-479	
7-11-4-1 一般事項 ..... 1-479	7-11-4-1 一般事項 ..... 1-479	
7-11-4-2 輸送工 ..... 1-478	7-11-4-2 輸送工 ..... 1-478	
第5節 開削土工 ..... 1-479	第5節 開削土工 ..... 1-479	
7-11-5-1 一般事項 ..... 1-479	7-11-5-1 一般事項 ..... 1-479	
7-11-5-2 掘削工 ..... 1-479	7-11-5-2 掘削工 ..... 1-479	
7-11-5-3 埋戻し工 ..... 1-479	7-11-5-3 埋戻し工 ..... 1-479	
7-11-5-4 残土処理工 ..... 1-479	7-11-5-4 残土処理工 ..... 1-479	
第6節 現場打構築工 ..... 1-480	第6節 現場打構築工 ..... 1-479	
7-11-6-1 一般事項 ..... 1-480	7-11-6-1 一般事項 ..... 1-479	
7-11-6-2 現場打躯体工 ..... 1-480	7-11-6-2 現場打躯体工 ..... 1-480	
7-11-6-3 歩床工 ..... 1-480	7-11-6-3 歩床工 ..... 1-480	
7-11-6-4 カラー継手工 ..... 1-480	7-11-6-4 カラー継手工 ..... 1-480	
7-11-6-5 防水工 ..... 1-480	7-11-6-5 防水工 ..... 1-480	
第7節 プレキャスト構築工 ..... 1-480	第7節 プレキャスト構築工 ..... 1-480	
7-11-7-1 一般事項 ..... 1-480	7-11-7-1 一般事項 ..... 1-480	
7-11-7-2 プレキャスト躯体工 ..... 1-480	7-11-7-2 プレキャスト躯体工 ..... 1-480	
7-11-7-3 縦締工 ..... 1-480	7-11-7-3 縦締工 ..... 1-480	
7-11-7-4 横締工 ..... 1-481	7-11-7-4 横締工 ..... 1-480	
7-11-7-5 可とう継手工 ..... 1-481	7-11-7-5 可とう継手工 ..... 1-481	
7-11-7-6 目地工 ..... 1-481	7-11-7-6 目地工 ..... 1-481	
第8節 付属設備工 ..... 1-481	第8節 付属設備工 ..... 1-481	
7-11-8-1 一般事項 ..... 1-481	7-11-8-1 一般事項 ..... 1-481	
7-11-8-2 設備工 ..... 1-481	7-11-8-2 設備工 ..... 1-481	
7-11-8-3 付属金物工 ..... 1-481	7-11-8-3 付属金物工 ..... 1-481	
第12章 電線共同溝 ..... 1-482	第12章 電線共同溝 ..... 1-482	
第1節 適 用 ..... 1-482	第1節 適 用 ..... 1-482	
第2節 適用すべき諸基準 ..... 1-482	第2節 適用すべき諸基準 ..... 1-482	
第3節 舗装版撤去工 ..... 1-482	第3節 舗装版撤去工 ..... 1-482	
7-12-3-1 一般事項 ..... 1-482	7-12-3-1 一般事項 ..... 1-482	
7-12-3-2 舗装版破碎工 ..... 1-482	7-12-3-2 舗装版破碎工 ..... 1-482	
第4節 開削土工 ..... 1-482	第4節 開削土工 ..... 1-482	
7-12-4-1 一般事項 ..... 1-482	7-12-4-1 一般事項 ..... 1-482	
7-12-4-2 掘削工 ..... 1-482	7-12-4-2 掘削工 ..... 1-482	
7-12-4-3 埋戻し工 ..... 1-482	7-12-4-3 埋戻し工 ..... 1-482	

現 行	改 定	摘要
<p style="text-align: center;"><b>第1編 共 通 編</b></p> <p style="text-align: center;"><b>第1章 総 則</b></p> <p><b>第1節 総 則</b></p> <p><b>1-1-1-4 施工計画書</b></p> <p>1. 一般事項</p> <p>受注者は、工事請負金額が1,000万円以上の工事については、工事着手前又は施工方法が確定した時期に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督員に<b>提出</b>しなければならない。ただし、工事請負金額が1,000万円未満の工事であっても、監督員が<b>指示</b>する場合は、<b>提出</b>しなければならない。</p> <p>受注者は、施工計画書を遵守し工事の施工にあたらなければならない。</p> <p>この場合、受注者は、施工計画書に以下の事項について記載しなければならない。また、監督員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。ただし、受注者は維持工事等簡易な工事においては監督員の<b>承諾</b>を得て記載内容の一部を省略することができる。</p> <p>(1) 工事概要  (2) 計画工程表  (3) 現場組織表  (4) 指定機械  (5) 主要機械  (6) 主要資材  (7) 施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）  (8) 施工管理計画  (9) 安全管理  (10) 緊急時の体制及び対応  (11) 交通管理  (12) 環境対策  (13) 現場作業環境の整備  (14) 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法  (15) その他</p> <p><b>1-1-1-13 工事の一時中止</b></p> <p>1. 一般事項</p> <p>発注者は、契約書第20条の規定に基づき以下の各号に該当する場合には、あらかじめ受注者に対して<b>通知</b>した上で、必要とする期間、工事の全部または一部の施工について一時中止をさせることができる。</p> <p>なお、暴風、豪雨、洪水、地震、地すべり、落盤、火災、騒乱、暴動その他自然的または</p>	<p style="text-align: center;"><b>第1編 共 通 編</b></p> <p style="text-align: center;"><b>第1章 総 則</b></p> <p><b>第1節 総 則</b></p> <p><b>1-1-1-4 施工計画書</b></p> <p>1. 一般事項</p> <p>受注者は、工事請負金額が1,000万円以上の工事については、工事着手前又は施工方法が確定した時期に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督員に<b>提出</b>しなければならない。ただし、工事請負金額が1,000万円未満の工事であっても、監督員が<b>指示</b>する場合は、<b>提出</b>しなければならない。</p> <p>受注者は、施工計画書を遵守し工事の施工にあたらなければならない。</p> <p>この場合、受注者は、施工計画書に以下の事項について記載しなければならない。また、監督員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。ただし、受注者は維持工事等簡易な工事においては監督員の<b>承諾</b>を得て記載内容の一部を省略することができる。</p> <p>(1) 工事概要  (2) 計画工程表  (3) 現場組織表  (4) 指定機械  (5) 主要機械  (6) 主要資材  (7) 施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）  (8) 施工管理計画  (9) 安全管理  (10) 緊急時の体制及び対応  (11) 交通管理  (12) 環境対策  (13) 現場作業環境の整備  (14) 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法  (15) 法定休日・所定休日（週休二日の導入）  (16) その他</p> <p><b>1-1-1-13 工事の一時中止</b></p> <p>1. 一般事項</p> <p>発注者は、契約書第20条の規定に基づき以下の各号に該当する場合には、あらかじめ受注者に対して<b>通知</b>した上で、必要とする期間、工事の全部または一部の施工について一時中止をさせることができる。</p> <p>なお、暴風、豪雨、洪水、地震、地すべり、落盤、火災、騒乱、暴動その他自然的または</p>	

現 行	改 定	摘 要
<p>人為的な事象による工事の中断については、1-1-1-41臨機の措置により、受注者は、適切に対応しなければならない。</p> <p>(1) 埋蔵文化財の調査、発掘の遅延及び埋蔵文化財が新たに発見され、工事の続行が不適当または不可能となった場合</p> <p>(2) 関連する他の工事の進捗が遅れたため工事の続行を不適当と認めた場合</p> <p>(3) 工事着手後、環境問題等の発生により工事の続行が不適当または不可能となった場合</p> <p><b>1-1-1-18 建設副産物</b></p> <p><b>4. 再生資源利用計画</b></p> <p>受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督員に提出するとともにその内容を説明しなければならない。</p> <p><b>5. 再生資源利用促進計画</b></p> <p>受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督員に提出するとともにその内容を説明しなければならない。</p> <p><b>1-1-1-20 工事完成検査</b></p> <p><b>1. 工事完成通知書の提出</b></p> <p>受注者は、契約書第31条の規定に基づき、工事完成通知書を監督員に提出しなければならない。</p> <p><b>3. 検査内容</b></p> <p>検査員は、監督員及び受注者の臨場の上、工事目的物を対象として契約図書と対比し、以下の各号に掲げる検査を行うものとする。</p> <p>(1) 工事の出来形について、形状、寸法、精度、数量、品質及び出来ばえ</p> <p>(2) 工事管理状況に関する書類、記録及び写真等</p> <p><b>1-1-1-23 施工管理</b></p> <p><b>3. 標示板の設置</b></p> <p>受注者は、施工に先立ち工事現場またはその周辺の一般通行人等が見易い場所に、工事名、工期、発注者名、受注者名及び工事内容等を記載した標示板を設置し、工事完成後は速やか</p>	<p>人為的な事象による工事の中断については、第1編1-1-1-42臨機の措置により、受注者は、適切に対応しなければならない。</p> <p>(1) 埋蔵文化財の調査、発掘の遅延及び埋蔵文化財が新たに発見され、工事の続行が不適当または不可能となった場合</p> <p>(2) 関連する他の工事の進捗が遅れたため工事の続行を不適当と認めた場合</p> <p>(3) 工事着手後、環境問題等の発生により工事の続行が不適当または不可能となった場合</p> <p><b>1-1-1-18 建設副産物</b></p> <p><b>4. 再生資源利用計画</b></p> <p>受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書にその写しを添付して監督員に提出するとともにその内容を説明しなければならない。</p> <p>また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を公衆が見やすい場所に掲げなければならない。</p> <p><b>5. 再生資源利用促進計画</b></p> <p>受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書にその写しを添付して監督員に提出するとともにその内容を説明しなければならない。</p> <p>また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画（確認結果票を含む）を公衆が見やすい場所に掲げなければならない。</p> <p><b>1-1-1-20 工事完成検査</b></p> <p><b>1. 工事完成通知書の提出</b></p> <p>受注者は、契約書第31条の規定に基づき、工事完成通知書を監督員を通じて発注者に提出しなければならない。</p> <p><b>3. 検査内容</b></p> <p>検査員は、監督員及び受注者の臨場の上、工事目的物を対象として契約図書と対比し、以下の各号に掲げる検査を行うものとする。</p> <p>(1) 工事の出来形について、形状、寸法、精度、数量、品質及び出来ばえ</p> <p>(2) 工事管理状況に関する書類、記録及び写真等</p> <p>(3) 週休二日の履行状況</p> <p><b>1-1-1-23 施工管理</b></p> <p><b>3. 標示板の設置</b></p> <p>受注者は、施工に先立ち工事現場またはその周辺の一般通行人等が見易い場所に、工事目的、工期、発注者名、施工者名及び工事内容等を記載した標示板を設置し、工事完成後は速</p>	

現 行	改 定	摘 要
<p>に標示板を撤去しなければならない。ただし、標示板の設置が困難な場合は、監督員の<b>承諾</b>を得て省略することができる。</p> <p>なお、標示板の記載にあたっては、工事に関する情報をわかりやすく記載するものとし、図1-1-2を参考とする。</p> <p>また、記載内容については、工事内容に応じて、道路工事現場における標示施設等の設置基準について（昭和37年8月30日付け 道発372号 道路局長通達、最新改正平成18年3月31日付け 国道利37号・国道国防第205号）、道路工事現場における工事情報板及び工事説明看板の設置について（平成18年3月31日付け 国道利38号・国道国防第206号 道路局路政課長、国道・防災課長通達）、河川工事等の工事看板の取扱いについて（令和3年5月27日付け 国水環第26号・国水治第22号・国水保第8号・国水海第10号 水管理・国土保全局 河川環境課長、治水課長、保全課長、海岸室長通達）によるものとする。</p> <p style="text-align: center;">（新規）</p> <p><b>1-1-1-25 工事関係者に対する措置請求</b></p> <p><b>1-1-1-26 工事中の安全確保</b></p> <p>9. 安全巡視</p> <p>受注者は、工事期間中、安全巡視を行い、工事区域及びその周辺の監視<b>あるいは連絡</b>を行い安全を確保しなければならない。</p> <p><b>1-1-1-28 後片付け</b></p> <p><b>1-1-1-29 事故報告書</b></p> <p><b>1-1-1-30 環境対策</b></p> <p>7. 低騒音型・低振動型建設機械</p> <p>受注者は、建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術参事官通達、昭和62年3月30日改正）によって低騒音型・低振動型建設機械を<b>設計図書</b>で使用を義務付けている場合には、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する<b>規定</b>（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用しなければならない。ただし、施工時期・現場条件等により一部機種<sup>の</sup>調達が不可能な場合は、認定機種と同程度と認められる機種または対策をもって<b>協議</b>することができる。</p> <p><b>1-1-1-31 文化財の保護</b></p>	<p>やかに標示板を撤去しなければならない。ただし、標示板の設置が困難な場合は、監督員の<b>承諾</b>を得て省略することができる。</p> <p>なお、標示板の記載にあたっては、工事に関する情報をわかりやすく記載するものとし、図1-1-2を参考とする。</p> <p>また、記載内容については、工事内容に応じて、道路工事現場における標示施設等の設置基準について（昭和37年8月30日付け 道発372号 道路局長通達、最新改正 平成18年3月31日付け 国道利37号・国道国防第205号）、道路工事現場における工事情報板及び工事説明看板の設置について（平成18年3月31日付け 国道利38号・国道国防第206号 道路局路政課長、国道・防災課長通達）、河川工事等の工事看板の取扱いについて（令和3年5月27日付け 国水環第26号・国水治第22号・国水保第8号・国水海第10号 水管理・国土保全局 河川環境課長、治水課長、保全課長、海岸室長通達）によるものとする。</p> <p><b>1-1-1-25 週休二日の対応</b></p> <p>受注者は、設計図書の示すところにより、週休二日に組み、その実施内容を監督職員に報告しなければならない。</p> <p><b>1-1-1-26 工事関係者に対する措置請求</b></p> <p><b>1-1-1-27 工事中の安全確保</b></p> <p>9. 安全巡視</p> <p>受注者は、工事期間中、安全巡視を行い、工事区域及びその周辺の監視を行い安全を確保しなければならない。<b>必要に応じて、監督員に連絡を行うものとする。</b></p> <p><b>1-1-1-29 後片付け</b></p> <p><b>1-1-1-30 事故報告書</b></p> <p><b>1-1-1-31 環境対策</b></p> <p>7. 低騒音型・低振動型建設機械</p> <p>受注者は、建設工事に伴う騒音振動対策技術指針（建設大臣官房技術参事官通達、昭和62年3月30日改正）によって低騒音型・低振動型建設機械を<b>設計図書</b>で使用を義務付けている場合には、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する<b>規程</b>（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用しなければならない。ただし、施工時期・現場条件等により一部機種<sup>の</sup>調達が不可能な場合は、認定機種と同程度と認められる機種または対策をもって<b>協議</b>することができる。</p> <p><b>1-1-1-32 文化財の保護</b></p>	

現 行	改 定	摘 要
<p><b>1-1-1-32 交通安全管理</b></p> <p><b>5. 交通安全法令の遵守</b></p> <p>受注者は、供用中の公共道路に係る工事の施工にあたっては、交通の安全について、監督員、道路管理者及び所轄警察署と打合せを行うとともに、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令（令和3年6月改正 内閣府・国土交通省令第2号）、道路工事現場における標示施設等の設置基準（建設省道路局長通知、昭和37年8月30日）、道路工事現場における表示施設等の設置基準の一部改正について（局長通知 平成18年3月31日 国道利37号・国道国防第205号）、道路工事現場における工事情報板及び工事説明看板の設置について（国土交通省道路局路政課長、国道・防災課長通知 平成18年3月31日 国道利38号・国道国防第206号）及び道路工事交通保安施設設置基準（山梨県県土整備部、平成28年4月）に基づき、安全対策を講じなければならない。</p> <p><b>12. 通行許可</b></p> <p>受注者は、建設機械、資材等の運搬にあたり、車両制限令（平成31年3月改正 政令第41号）第3条における一般的制限値を超える車両を通行させるときは、道路法第47条の2に基づく通行許可を得ていることを<b>確認</b>しなければならない。また、道路交通法施行令（令和3年6月改正 政令第172号）第22条における制限を超えて建設機械、資材等を積載して運搬するときは、道路交通法（令和2年6月改正 法律第52号）第57条に基づく許可を得ていることを<b>確認</b>しなければならない。</p> <p><b>1-1-1-33 施設管理</b></p> <p><b>1-1-1-34 諸法令の遵守</b></p> <p>(81) <b>行政機関の保有する</b>個人情報の保護に関する法律</p> <p><b>1-1-1-35 官公庁等への手続等</b></p> <p><b>1-1-1-36 施工時期及び施工時間の変更</b></p> <p><b>1-1-1-37 工事測量</b></p> <p><b>1-1-1-38 不可抗力による損害</b></p> <p><b>1-1-1-39 特許権等</b></p> <p><b>1-1-1-40 保険の付保及び事故の補償</b></p> <p><b>1-1-1-41 臨機の措置</b></p>	<p><b>1-1-1-33 交通安全管理</b></p> <p><b>5. 交通安全法令の遵守</b></p> <p>受注者は、供用中の公共道路に係る工事の施工にあたっては、交通の安全について、監督員、道路管理者及び所轄警察署と打合せを行うとともに、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令（令和3年9月改正 内閣府・国土交通省令第4号）、道路工事現場における標示施設等の設置基準（建設省道路局長通知、昭和37年8月30日）、道路工事現場における<b>標</b>示施設等の設置基準の一部改正について（局長通知 平成18年3月31日 国道利37号・国道国防第205号）、道路工事現場における工事情報板及び工事説明看板の設置について（国土交通省道路局路政課長、国道・防災課長通知 平成18年3月31日 国道利38号・国道国防第206号）及び道路工事交通保安施設設置基準（山梨県県土整備部、平成28年4月）に基づき、安全対策を講じなければならない。</p> <p><b>12. 通行許可等</b></p> <p>受注者は、建設機械、資材等の運搬にあたり、車両制限令（令和3年7月改正 政令第198号）第3条における一般的制限値を超える車両を通行させるときは、道路法第47条の2に基づく通行許可、<b>または道路法第47条の10に基づく通行可能経路の回答</b>を得ていることを<b>確認</b>しなければならない。また、道路交通法施行令（令和4年1月改正 政令第16号）第22条における制限を超えて建設機械、資材等を積載して運搬するときは、道路交通法（令和4年4月改正 法律第32号）第57条に基づく許可を得ていることを<b>確認</b>しなければならない。</p> <p><b>1-1-1-34 施設管理</b></p> <p><b>1-1-1-35 諸法令の遵守</b></p> <p>(81) 個人情報の保護に関する法律</p> <p><b>1-1-1-36 官公庁等への手続等</b></p> <p><b>1-1-1-37 施工時期及び施工時間の変更</b></p> <p><b>1-1-1-38 工事測量</b></p> <p><b>1-1-1-39 不可抗力による損害</b></p> <p><b>1-1-1-40 特許権等</b></p> <p><b>1-1-1-41 保険の付保及び事故の補償</b></p> <p><b>1-1-1-42 臨機の措置</b></p>	



現 行	改 定	摘 要																																												
<p>1-1-1-42 不正軽油の使用の禁止</p> <p>(新規)</p> <p style="text-align: center;"><b>第2章 土 工</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。</p> <p><b>なお</b>、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <table border="0"> <tr> <td>日本道路協会 道路土工要綱</td> <td>(平成21年6月)</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路土工－軟弱地盤対策工指針</td> <td>(平成24年8月)</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路土工－盛土工指針</td> <td>(平成22年4月)</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路土工－切土工・斜面安定工指針</td> <td>(平成21年6月)</td> </tr> <tr> <td>土木研究センター 建設発生土利用技術マニュアル</td> <td>(平成25年12月)</td> </tr> <tr> <td>国土交通省 建設副産物適正処理推進要綱</td> <td>(平成14年5月)</td> </tr> <tr> <td>建設省 堤防余盛基準について</td> <td>(昭和44年1月)</td> </tr> <tr> <td>土木研究センター ジオテキスタイルを用いた補強土の設計施工マニュアル</td> <td>(平成25年12月)</td> </tr> <tr> <td>土木研究センター 多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル</td> <td>(平成26年8月)</td> </tr> <tr> <td>土木研究センター 補強土(テルアルメ)壁工法 設計・施工マニュアル</td> <td>(平成26年8月)</td> </tr> <tr> <td>国土技術研究センター 河川土工マニュアル</td> <td>(平成21年4月)</td> </tr> </table> <p><b>第3節 河川土工・砂防土工</b></p> <p>1-2-3-2 掘削工</p> <p>6. 残土運搬時の注意</p> <p>受注者は、掘削工により発生する残土を受入れ地へ運搬する場合には、沿道住民に迷惑がかからないように<b>つと</b>めなければならない。</p> <p>1-2-3-3 盛土工</p> <p>11. 採取土及び購入土運搬時の注意</p>	日本道路協会 道路土工要綱	(平成21年6月)	日本道路協会 道路土工－軟弱地盤対策工指針	(平成24年8月)	日本道路協会 道路土工－盛土工指針	(平成22年4月)	日本道路協会 道路土工－切土工・斜面安定工指針	(平成21年6月)	土木研究センター 建設発生土利用技術マニュアル	(平成25年12月)	国土交通省 建設副産物適正処理推進要綱	(平成14年5月)	建設省 堤防余盛基準について	(昭和44年1月)	土木研究センター ジオテキスタイルを用いた補強土の設計施工マニュアル	(平成25年12月)	土木研究センター 多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル	(平成26年8月)	土木研究センター 補強土(テルアルメ)壁工法 設計・施工マニュアル	(平成26年8月)	国土技術研究センター 河川土工マニュアル	(平成21年4月)	<p>1-1-1-43 不正軽油の使用の禁止</p> <p><b>1-1-1-44 石綿使用の有無</b></p> <p>受注者は、建築物・工作物等の解体・改修工事を行う際、石綿(アスベスト)の使用の有無の「事前調査」を行わなければならない。石綿障害予防規則に基づく一定規模以上の工事にあつては「事前調査結果の報告」を所轄労働基準監督局に届出を行わなければならない。また、大気汚染防止法に基づき、特定粉じん発生施設を設置しようとするときは、知事に届出を行わなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第2章 土 工</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。</p> <p><b>また</b>、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <table border="0"> <tr> <td>日本道路協会 道路土工要綱</td> <td>(平成21年6月)</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路土工－軟弱地盤対策工指針</td> <td>(平成24年8月)</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路土工－盛土工指針</td> <td>(平成22年4月)</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路土工－切土工・斜面安定工指針</td> <td>(平成21年6月)</td> </tr> <tr> <td>土木研究センター 建設発生土利用技術マニュアル</td> <td>(平成25年12月)</td> </tr> <tr> <td>国土交通省 建設副産物適正処理推進要綱</td> <td>(平成14年5月)</td> </tr> <tr> <td>建設省 堤防余盛基準について</td> <td>(昭和44年1月)</td> </tr> <tr> <td>土木研究センター ジオテキスタイルを用いた補強土の設計施工マニュアル</td> <td>(平成25年12月)</td> </tr> <tr> <td>土木研究センター 多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル</td> <td>(平成26年8月)</td> </tr> <tr> <td>土木研究センター 補強土(テルアルメ)壁工法 設計・施工マニュアル</td> <td>(平成26年8月)</td> </tr> <tr> <td>国土技術研究センター 河川土工マニュアル</td> <td>(平成21年4月)</td> </tr> </table> <p><b>第3節 河川土工・砂防土工</b></p> <p>1-2-3-2 掘削工</p> <p>6. 残土運搬時の注意</p> <p>受注者は、掘削工により発生する残土を受入れ地へ運搬する場合には、沿道住民<b>及び道路利用者</b>に迷惑がかからないように<b>努</b>めなければならない。</p> <p>1-2-3-3 盛土工</p> <p>11. 採取土及び購入土運搬時の注意</p>	日本道路協会 道路土工要綱	(平成21年6月)	日本道路協会 道路土工－軟弱地盤対策工指針	(平成24年8月)	日本道路協会 道路土工－盛土工指針	(平成22年4月)	日本道路協会 道路土工－切土工・斜面安定工指針	(平成21年6月)	土木研究センター 建設発生土利用技術マニュアル	(平成25年12月)	国土交通省 建設副産物適正処理推進要綱	(平成14年5月)	建設省 堤防余盛基準について	(昭和44年1月)	土木研究センター ジオテキスタイルを用いた補強土の設計施工マニュアル	(平成25年12月)	土木研究センター 多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル	(平成26年8月)	土木研究センター 補強土(テルアルメ)壁工法 設計・施工マニュアル	(平成26年8月)	国土技術研究センター 河川土工マニュアル	(平成21年4月)	
日本道路協会 道路土工要綱	(平成21年6月)																																													
日本道路協会 道路土工－軟弱地盤対策工指針	(平成24年8月)																																													
日本道路協会 道路土工－盛土工指針	(平成22年4月)																																													
日本道路協会 道路土工－切土工・斜面安定工指針	(平成21年6月)																																													
土木研究センター 建設発生土利用技術マニュアル	(平成25年12月)																																													
国土交通省 建設副産物適正処理推進要綱	(平成14年5月)																																													
建設省 堤防余盛基準について	(昭和44年1月)																																													
土木研究センター ジオテキスタイルを用いた補強土の設計施工マニュアル	(平成25年12月)																																													
土木研究センター 多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル	(平成26年8月)																																													
土木研究センター 補強土(テルアルメ)壁工法 設計・施工マニュアル	(平成26年8月)																																													
国土技術研究センター 河川土工マニュアル	(平成21年4月)																																													
日本道路協会 道路土工要綱	(平成21年6月)																																													
日本道路協会 道路土工－軟弱地盤対策工指針	(平成24年8月)																																													
日本道路協会 道路土工－盛土工指針	(平成22年4月)																																													
日本道路協会 道路土工－切土工・斜面安定工指針	(平成21年6月)																																													
土木研究センター 建設発生土利用技術マニュアル	(平成25年12月)																																													
国土交通省 建設副産物適正処理推進要綱	(平成14年5月)																																													
建設省 堤防余盛基準について	(昭和44年1月)																																													
土木研究センター ジオテキスタイルを用いた補強土の設計施工マニュアル	(平成25年12月)																																													
土木研究センター 多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル	(平成26年8月)																																													
土木研究センター 補強土(テルアルメ)壁工法 設計・施工マニュアル	(平成26年8月)																																													
国土技術研究センター 河川土工マニュアル	(平成21年4月)																																													

現 行	改 定	摘 要
<p>受注者は、採取土盛土及び購入土盛土の施工にあたって、採取土及び購入土を運搬する場合には沿道住民に迷惑がかからないように<b>つと</b>めなければならない。流用土盛土及び発生土盛土の施工にあたって、一般道を運搬に利用する場合も同様とするものとする。</p> <p><b>1-2-3-4 盛土補強工</b></p> <p><b>2. 盛土材の確認</b></p> <p>盛土材については<b>設計図書</b>によるものとする。受注者は、盛土材の<b>まき</b>出しに先立ち、予定している盛土材料の<b>確認</b>を行い、<b>設計図書</b>に関して監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p><b>8. 盛土材のまき出し及び締固め</b></p> <p>受注者は、盛土材の<b>まき</b>出し及び締固めについては、第1編1-2-3-3盛土工の規定により一層ごとに適切に施工しなければならない。<b>まき</b>出し及び締固めは、壁面工側から順次奥へ行なうとともに、重機械の急停止や急旋回等を避け、補強材にずれや損傷を与えないように注意しなければならない。</p> <p><b>1-2-3-7 残土処理工</b></p> <p><b>2. 残土運搬時の注意</b></p> <p>残土を受入れ地へ運搬する場合には、沿道住民に迷惑がかからないよう<b>つと</b>めなければならない。</p> <p><b>第4節 道路土工</b></p> <p><b>1-2-4-2 掘削工</b></p> <p><b>6. 硬岩掘削時の注意</b></p> <p>受注者は、硬岩掘削における法の仕上り面近くでは過度な発破を<b>さ</b>けるものとし、浮石等が残らないようにしなければならない。</p> <p>万一誤って仕上げ面を超えて発破を行った場合には、受注者は監督員の<b>承諾</b>を得た工法で修復しなければならない。</p> <p><b>1-2-4-3 路体盛土工</b></p> <p><b>14. 採取土及び購入土運搬時の注意</b></p> <p>受注者は採取土盛土及び購入土盛土の施工にあたって、採取土及び購入土を運搬する場合には沿道住民に迷惑がかからないように<b>つと</b>めなければならない。流用土盛土及び発生土盛土の施工にあたって、一般道路を運搬に利用する場合も同様とするものとする。</p> <p><b>1-2-4-4 路床盛土工</b></p> <p><b>11. 接続部の緩和区間</b></p> <p>受注者は、特に<b>指示</b>する場合を除き、片切り、片盛りの接続部には1：4程度の勾配をもつ</p>	<p>受注者は、採取土盛土及び購入土盛土の施工にあたって、採取土及び購入土を運搬する場合には沿道住民<b>及び道路利用者</b>に迷惑がかからないように<b>努</b>めなければならない。流用土盛土及び発生土盛土の施工にあたって、一般道を運搬に利用する場合も同様とするものとする。</p> <p><b>1-2-3-4 盛土補強工</b></p> <p><b>2. 盛土材の確認</b></p> <p>盛土材については<b>設計図書</b>によるものとする。受注者は、盛土材の<b>巻</b>出しに先立ち、予定している盛土材料の<b>確認</b>を行い、<b>設計図書</b>に関して監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p><b>8. 盛土材の巻出し及び締固め</b></p> <p>受注者は、盛土材の<b>巻</b>出し及び締固めについては、第1編1-2-3-3盛土工の規定により一層ごとに適切に施工しなければならない。<b>巻</b>出し及び締固めは、壁面工側から順次奥へ行なうとともに、重機械の急停止や急旋回等を避け、補強材にずれや損傷を与えないように注意しなければならない。</p> <p><b>1-2-3-7 残土処理工</b></p> <p><b>2. 残土運搬時の注意</b></p> <p>残土を受入れ地へ運搬する場合には、沿道住民<b>及び道路利用者</b>に迷惑がかからないよう<b>努</b>めなければならない。</p> <p><b>第4節 道路土工</b></p> <p><b>1-2-4-2 掘削工</b></p> <p><b>6. 硬岩掘削時の注意</b></p> <p>受注者は、硬岩掘削における法の仕上り面近くでは過度な発破を<b>避</b>けるものとし、浮石等が残らないようにしなければならない。</p> <p>万一誤って仕上げ面を超えて発破を行った場合には、受注者は監督員の<b>承諾</b>を得た工法で修復しなければならない。</p> <p><b>1-2-4-3 路体盛土工</b></p> <p><b>14. 採取土及び購入土運搬時の注意</b></p> <p>受注者は採取土盛土及び購入土盛土の施工にあたって、採取土及び購入土を運搬する場合には沿道住民<b>及び道路利用者</b>に迷惑がかからないように<b>努</b>めなければならない。流用土盛土及び発生土盛土の施工にあたって、一般道路を運搬に利用する場合も同様とするものとする。</p> <p><b>1-2-4-4 路床盛土工</b></p> <p><b>11. 接続部の緩和区間</b></p> <p>受注者は、特に<b>指示</b>する場合を除き、片切り、片盛りの接続部には1：4程度の勾配をもつ</p>	

現 行	改 定	摘 要
<p>て緩和区間を設けなければならない。また、掘削（切土）部、盛土部の縦断方向の接続部にはすり付け区間を設けて路床支持力の不連続を<b>さ</b>げなければならない。</p>  <p>(a) 掘削部路床に置き換えないとき (c) 現地盤がすり付け区間を長くすることが不経済となる場合</p> <p>(b) 掘削部路床に置き換えのあるとき</p> <p><b>図1-2-3 掘削（切土）部、盛土部接続部のすり付け</b></p> <p>16. 採取土及び購入土を運搬の注意</p> <p>受注者は、採取土盛土及び購入土盛土の施工にあたって、採取土及び購入土を運搬する場合には沿道住民に迷惑がかからないように<b>つと</b>めなければならない。流用土盛土及び発生土盛土の施工にあたって、一般道路を運搬に利用する場合も同様とするものとする。</p> <p><b>第3章 無筋・鉄筋コンクリート</b></p> <p><b>第1節 適 用</b></p> <p>3. 適用規定（2）</p> <p>受注者は、コンクリートの施工にあたり、<b>設計図書</b>に定めのない事項については、「<b>コンクリート標準示方書（施工編）</b>」（土木学会、<b>平成30</b>年3月）のコンクリートの品質の規定による。これ以外による場合は、施工前に、<b>設計図書</b>に関して監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>1. 適用規定</p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <p>土木学会 コンクリート標準示方書（施工編） <b>（平成30年3月）</b></p>	<p>て緩和区間を設けなければならない。また、掘削（切土）部、盛土部の縦断方向の接続部にはすり付け区間を設けて路床支持力の不連続を<b>避</b>けなければならない。</p>  <p>(a) 掘削部路床に置き換えないとき (c) 現地盤がすり付け区間を長くすることが不経済となる場合</p> <p>(b) 掘削部路床に置き換えのあるとき</p> <p><b>図1-2-3 掘削（切土）部、盛土部接続部のすり付け</b></p> <p>16. 採取土及び購入土を運搬の注意</p> <p>受注者は、採取土盛土及び購入土盛土の施工にあたって、採取土及び購入土を運搬する場合には沿道住民<b>及び道路利用者</b>に迷惑がかからないように<b>努</b>めなければならない。流用土盛土及び発生土盛土の施工にあたって、一般道路を運搬に利用する場合も同様とするものとする。</p> <p><b>第3章 無筋・鉄筋コンクリート</b></p> <p><b>第1節 適 用</b></p> <p>3. 適用規定（2）</p> <p>受注者は、コンクリートの施工にあたり、<b>設計図書</b>に定めのない事項については、「<b>コンクリート標準示方書（施工編）</b>」<b>【2017年制定】</b>」（土木学会、<b>2018</b>年3月）のコンクリートの品質の規定による。これ以外による場合は、施工前に、<b>設計図書</b>に関して監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>1. 適用規定</p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <p>土木学会 コンクリート標準示方書（施工編） <b>【2017年制定】</b> <b>（2018年3月）</b></p> <p>土木学会 コンクリート標準示方書（設計編） <b>【2017年制定】</b> <b>（2018年3月）</b></p>	

現 行	改 定	摘 要
<p>土木学会 コンクリート標準示方書（設計編）（平成30年3月）</p> <p>土木学会 コンクリートのポンプ施工指針（平成24年6月）</p> <p>国土交通省 アルカリ骨材反応抑制対策について（平成14年7月31日）</p> <p>国土交通省 「アルカリ骨材反応抑制対策について」の運用について（平成14年7月31日）</p> <p>土木学会 鉄筋定着・継手指針（令和2年3月）</p> <p>公益社団法人日本鉄筋継手協会 鉄筋継手工事標準仕様書ガス圧接継手工事（平成29年9月）</p> <p>機械式鉄筋定着工法技術検討委員会 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン（案）（平成28年7月）</p> <p>流動性を高めたコンクリートの活用検討委員会 流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン（平成29年3月）</p> <p>機械式鉄筋継手工法技術検討委員会 現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン（平成29年3月）</p> <p>橋梁等のプレキャスト化及び標準化による生産性向上検討委員会 コンクリート構造物における埋設型枠・プレハブ鉄筋に関するガイドライン（平成30年6月）</p> <p>橋梁等のプレキャスト化及び標準化による生産性向上検討委員会 コンクリート橋のプレキャスト化ガイドライン（平成30年6月）</p> <p>道路プレキャストコンクリート工技術委員会ガイドライン検討小委員会 プレキャストコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン（平成31年1月）</p>	<p>土木学会 コンクリートのポンプ施工指針 [2012年版]（平成24年6月）</p> <p>国土交通省 アルカリ骨材反応抑制対策について（平成14年7月31日）</p> <p>国土交通省 「アルカリ骨材反応抑制対策について」の運用について（平成14年7月31日）</p> <p>土木学会 鉄筋定着・継手指針 [2020年制定]（令和2年3月）</p> <p>日本鉄筋継手協会 鉄筋継手工事標準仕様書ガス圧接継手工事（平成29年8月）</p> <p>機械式鉄筋定着工法技術検討委員会 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン（案）（平成28年7月）</p> <p>流動性を高めたコンクリートの活用検討委員会 流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン（平成29年3月）</p> <p>機械式鉄筋継手工法技術検討委員会 現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン（平成29年3月）</p> <p>橋梁等のプレキャスト化及び標準化による生産性向上検討委員会 コンクリート構造物における埋設型枠・プレハブ鉄筋に関するガイドライン（平成30年6月）</p> <p>橋梁等のプレキャスト化及び標準化による生産性向上検討委員会 コンクリート橋のプレキャスト化ガイドライン（平成30年6月）</p> <p>道路プレキャストコンクリート工技術委員会ガイドライン検討小委員会 プレキャストコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン（平成31年1月）</p>	
<p><b>第3節 レディーミクストコンクリート</b></p> <p><b>1-3-3-2 工場の選定</b></p> <p>1. 一般事項</p> <p>受注者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合の工場選定は以下による。</p> <p>(1) JISマーク表示認証製品を製造している工場（産業標準化法の一部を改正する法律（平成30年5月30日公布 法律第33号）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により製品にJISマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場）で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場（全国生コンクリート品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定しなければならない。</p> <p>(2) JISマーク表示認証製品を製造している工場（産業標準化法の一部を改正する法律（平成30年5月30日公布 法律第33号）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により製品にJISマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場）が工事現場近くに見あたらない場合は、使用する工場について、<b>設計図書</b>に指定したコンクリートの</p>	<p><b>第3節 レディーミクストコンクリート</b></p> <p><b>1-3-3-2 工場の選定</b></p> <p>1. 一般事項</p> <p>受注者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合の工場選定は以下による。</p> <p>(1) JISマーク表示認証製品を製造している工場（産業標準化法（令和4年6月改正 法律第68号）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により製品にJISマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場）で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場（全国生コンクリート品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定しなければならない。</p> <p>(2) JISマーク表示認証製品を製造している工場（産業標準化法（平成30年5月改正 法律第33号）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により製品にJISマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場）が工事現場近くに見あたらない場合は、使用する工場について、<b>設計図書</b>に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめ</p>	

現 行	改 定	摘 要
<p>品質が得られることを確かめたうえ、その資料により監督員の<b>確認</b>を得なければならない。</p> <p>なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場から選定しなければならない。</p> <p><b>第4節 現場練りコンクリート</b>  <b>1-3-4-4 材料の計量及び練混ぜ</b>  <b>3. 練混ぜ</b>  (2) 受注者は、ミキサーの練混ぜ試験を、JIS A 8603-2（コンクリートミキサー第2部：練混ぜ性能試験方法）及び<b>土木学会規程</b>「連続ミキサーの練混ぜ性能試験方法」により行わなければならない。</p> <p><b>第5節 運搬・打設</b>  <b>1-3-5-4 打設</b>  <b>5. コンクリートポンプ使用時の注意</b>  受注者はコンクリートポンプを用いる場合は、「<b>コンクリートのポンプ施工指針（案）5章 圧送</b>」（土木学会、平成24年6月）の規定による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。また、受注者はコンクリートプレーサ、ベルトコンベヤ、その他を用いる場合も、材料の分離を防ぐようこれらを配置しなければならない。</p> <p><b>第6節 鉄筋工</b>  <b>1-3-6-3 加工</b>  <b>3. 鉄筋の曲げ半径</b>  受注者は、鉄筋の曲げ形状の施工にあたり、<b>設計図書</b>に鉄筋の曲げ半径が示されていない場合は、「<b>コンクリート標準示方書（設計編）本編第13章鉄筋コンクリートの前提、標準7編第2章鉄筋コンクリートの前提</b>」（土木学会、平成30年3月）の規定による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p><b>1-3-6-5 継手</b>  <b>8. 機械式鉄筋継手</b>  ② 機械式鉄筋継手工法の品質管理は、使用する工法に応じた確認項目や頻度、方法、可否判定基準等を施工計画書に明示した上で、施工管理や検査時においては、これに従って<b>確認</b>を行わなければならない。また、機械式鉄筋継手工法の信頼度は、土木学会鉄筋定着・継手指針（令和2年3月土木学会）の信頼度Ⅱ種を基本とするが、設計時にⅠ種を適用している場合は、設計時の信頼度に従って施工管理を行わなければならない。</p>	<p>たうえ、その資料により監督員の<b>確認</b>を得なければならない。</p> <p>なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者（コンクリート主任技士等）が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場から選定しなければならない。</p> <p><b>第4節 現場練りコンクリート</b>  <b>1-3-4-4 材料の計量及び練混ぜ</b>  <b>3. 練混ぜ</b>  (2) 受注者は、ミキサーの練混ぜ試験を、JIS A 8603-2（コンクリートミキサー第2部：練混ぜ性能試験方法）及び<b>JSCE-I 502-2013</b>「連続ミキサーの練混ぜ性能試験方法」により行わなければならない。</p> <p><b>第5節 運搬・打設</b>  <b>1-3-5-4 打設</b>  <b>5. コンクリートポンプ使用時の注意</b>  受注者はコンクリートポンプを用いる場合は、「<b>コンクリートのポンプ施工指針 [2012年版] 5章 圧送</b>」（土木学会、平成24年6月）の規定による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。また、受注者はコンクリートプレーサ、ベルトコンベヤ、その他を用いる場合も、材料の分離を防ぐようこれらを配置しなければならない。</p> <p><b>第6節 鉄筋工</b>  <b>1-3-6-3 加工</b>  <b>3. 鉄筋の曲げ半径</b>  受注者は、鉄筋の曲げ形状の施工にあたり、<b>設計図書</b>に鉄筋の曲げ半径が示されていない場合は、「<b>コンクリート標準示方書（設計編） [2017年制定] 本編第13章鉄筋コンクリートの前提、標準7編第2章鉄筋コンクリートの前提</b>」（土木学会、2018年3月）の規定による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p><b>1-3-6-5 継手</b>  <b>8. 機械式鉄筋継手</b>  ② 機械式鉄筋継手工法の品質管理は、使用する工法に応じた確認項目や頻度、方法、可否判定基準等を施工計画書に明示した上で、施工管理や検査時においては、これに従って<b>確認</b>を行わなければならない。また、機械式鉄筋継手工法の信頼度は、土木学会鉄筋定着・継手指針 <b>[2020年制定]</b>（令和2年3月土木学会）の信頼度Ⅱ種を基本とするが、設計時にⅠ種を適用している場合は、設計時の信頼度に従って施工管理を行わなければならない。</p>	

現 行	改 定	摘 要
<p style="text-align: center;"><b>第2編 材 料 編</b></p> <p style="text-align: center;"><b>第2章 土木工事材料</b></p> <p><b>第3節 骨 材</b></p> <p><b>2-2-3-1 一般事項</b></p> <p>1. 適合規格</p> <p>道路用砕石、コンクリート用砕石等は、以下の規格に適合するものとする。</p> <p>JIS A 5001 (道路用砕石)</p> <p>JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート) 附属書A (レディーミクストコンクリート用骨材)</p> <p>JIS A 5005 (コンクリート用砕石及び砕砂)</p> <p>JIS A 5011-1 (コンクリート用スラグ骨材-第1部: 高炉スラグ骨材)</p> <p>JIS A 5011-2 (コンクリート用スラグ骨材-第2部: フェロニッケルスラグ骨材)</p> <p>JIS A 5011-3 (コンクリート用スラグ骨材-第3部: 銅スラグ骨材)</p> <p>JIS A 5011-4 (コンクリート用スラグ骨材-第4部: 電気炉酸化スラグ骨材)</p> <p>JIS A 5015 (道路用鉄鋼スラグ)</p> <p>JIS A 5021 (コンクリート用再生骨材H)</p> <p><b>2-2-3-2 セメントコンクリート用骨材</b></p> <p>3. 使用規定の例外</p> <p>気象作用を<u>う</u>けない構造物に用いる細骨材は、本条2項を適用しなくてもよいものとする。</p> <p><b>第6節 セメント及び混和材料</b></p> <p><b>2-2-6-1 一般事項</b></p> <p>4. 異常なセメント使用時の注意</p> <p>受注者は、貯蔵中に塊状になったセメントを、用いてはならない。また、湿気を<u>う</u>けた疑いのあるセメント、その他異常を認めたセメントの使用にあたっては、これを用いる前に試験を行い、その品質を確かめなければならない。ただし、保管期間が長期にわたると品質が変動する可能性があるため、長期間貯蔵したセメントは使用してはならない。</p> <p><b>2-2-6-3 混和材料</b></p> <p>5. 急結剤</p> <p>急結剤は、「コンクリート標準示方書(規準編) JSCE-D 102-2018 吹付けコンクリート(モルタル)用急結剤品質規格(案)」(土木学会、平成30年10月)の規格に適合するものとする。</p> <p><b>第8節 瀝青材料</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>第2編 材 料 編</b></p> <p style="text-align: center;"><b>第2章 土木工事材料</b></p> <p><b>第3節 骨 材</b></p> <p><b>2-2-3-1 一般事項</b></p> <p>1. 適合規格</p> <p>道路用砕石、コンクリート用砕石等は、以下の規格に適合するものとする。</p> <p>JIS A 5001 (道路用砕石)</p> <p>JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート) 附属書A (レディーミクストコンクリート用骨材)</p> <p>JIS A 5005 (コンクリート用砕石及び砕砂)</p> <p>JIS A 5011-1 (コンクリート用スラグ骨材-第1部: 高炉スラグ骨材)</p> <p>JIS A 5011-2 (コンクリート用スラグ骨材-第2部: フェロニッケルスラグ骨材)</p> <p>JIS A 5011-3 (コンクリート用スラグ骨材-第3部: 銅スラグ骨材)</p> <p>JIS A 5011-4 (コンクリート用スラグ骨材-第4部: 電気炉酸化スラグ骨材)</p> <p><b>JIS A 5011-5 (コンクリート用スラグ骨材-第5部: 石炭ガス化スラグ骨材)</b></p> <p>JIS A 5015 (道路用鉄鋼スラグ)</p> <p>JIS A 5021 (コンクリート用再生骨材H)</p> <p><b>2-2-3-2 セメントコンクリート用骨材</b></p> <p>3. 使用規定の例外</p> <p>気象作用を<u>受</u>けない構造物に用いる細骨材は、本条2項を適用しなくてもよいものとする。</p> <p><b>第6節 セメント及び混和材料</b></p> <p><b>2-2-6-1 一般事項</b></p> <p>4. 異常なセメント使用時の注意</p> <p>受注者は、貯蔵中に塊状になったセメントを、用いてはならない。また、湿気を<u>受</u>けた疑いのあるセメント、その他異常を認めたセメントの使用にあたっては、これを用いる前に試験を行い、その品質を確かめなければならない。ただし、保管期間が長期にわたると品質が変動する可能性があるため、長期間貯蔵したセメントは使用してはならない。</p> <p><b>2-2-6-3 混和材料</b></p> <p>5. 急結剤</p> <p>急結剤は、「コンクリート標準示方書(規準編) <b>[2018年制定]</b> JSCE-D 102-2018 吹付けコンクリート(モルタル)用急結剤品質規格(案)」(土木学会、<b>2018</b>年10月)の規格に適合するものとする。</p> <p><b>第8節 瀝青材料</b></p>	

現 行	改 定	摘 要																																												
<p><b>2-2-8-3 再生用添加剤</b></p> <p>再生用添加剤の品質は、労働安全衛生法施行令（令和2年12月改正 政令第34号）に規定されている特定化学物質を含まないものとし、表2-2-24、表2-2-25、表2-2-26の規格に適合するものとする。</p> <p style="text-align: center;"><b>第3編 土木工事共通編</b></p> <p style="text-align: center;"><b>第1章 総 則</b></p> <p><b>第1節 総 則</b></p> <p><b>3-1-1-8 工事完成図書納品の納品</b></p> <p><b>4. 電子成果品及び紙の成果品</b></p> <p>受注者は、「山梨県県土整備部電子納品運用マニュアル」に基づいて電子成果品を作成及び納品しなければならない。</p> <p>なお、工事管理ファイル、写真管理ファイル、図面管理ファイル、打合わせ簿管理ファイル、その他管理ファイル、台帳管理ファイル、地質情報管理ファイル及びそれらのDTDファイルは、「国土交通省 CALS/EC 電子納品に関する要領・基準サイト」（<a href="http://www.cals-ed.go.jp/index.html">http://www.cals-ed.go.jp/index.html</a>）において公開している「工事完成図書等に係わるDTD、XML出力例」及び「地質・土質調査成果に係わるDTD、XML出力例」を利用することとし、関係する記載は読み替えるものとする。</p> <p style="text-align: center;"><b>第2章 一般施工</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、設計図書において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と協議しなければならない。</p> <table border="0"> <tr> <td>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 鋼道路橋施工便覧</td> <td>（令和2年9月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 鋼道路橋防食便覧</td> <td>（平成26年3月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 舗装調査・試験法便覧</td> <td>（平成31年3月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 アスファルト舗装工事共通仕様書解説</td> <td>（平成4年12月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 転圧コンクリート舗装技術指針（案）</td> <td>（平成2年11月）</td> </tr> <tr> <td>建設省 薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針</td> <td>（昭和49年7月）</td> </tr> <tr> <td>建設省 薬液注入工事に係る施工管理等について</td> <td>（平成2年9月）</td> </tr> <tr> <td>日本薬液注入協会 薬液注入工法の設計・施工指針</td> <td>（平成元年6月）</td> </tr> </table>	日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）	（平成29年11月）	日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）	（平成29年11月）	日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）	（平成29年11月）	日本道路協会 鋼道路橋施工便覧	（令和2年9月）	日本道路協会 鋼道路橋防食便覧	（平成26年3月）	日本道路協会 舗装調査・試験法便覧	（平成31年3月）	日本道路協会 アスファルト舗装工事共通仕様書解説	（平成4年12月）	日本道路協会 転圧コンクリート舗装技術指針（案）	（平成2年11月）	建設省 薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針	（昭和49年7月）	建設省 薬液注入工事に係る施工管理等について	（平成2年9月）	日本薬液注入協会 薬液注入工法の設計・施工指針	（平成元年6月）	<p><b>2-2-8-3 再生用添加剤</b></p> <p>再生用添加剤の品質は、労働安全衛生法施行令（令和4年2月改正 政令第51号）に規定されている特定化学物質を含まないものとし、表2-2-24、表2-2-25、表2-2-26の規格に適合するものとする。</p> <p style="text-align: center;"><b>第3編 土木工事共通編</b></p> <p style="text-align: center;"><b>第1章 総 則</b></p> <p><b>第1節 総 則</b></p> <p><b>3-1-1-8 工事完成図書納品の納品</b></p> <p><b>4. 電子成果品及び紙の成果品</b></p> <p>受注者は、「山梨県県土整備部電子納品運用マニュアル」に基づいて電子成果品を作成及び納品しなければならない。</p> <p>なお、工事管理ファイル、写真管理ファイル、図面管理ファイル、打合わせ簿管理ファイル、その他管理ファイル、台帳管理ファイル、地質情報管理ファイル及びそれらのDTDファイルは、国土交通省「電子納品に関する要領・基準/DTD・XML記入例」サイト（<a href="https://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/">https://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/</a>）において公開している「工事完成図書等に係わるDTD、XML記入例」及び「地質・土質調査成果に係わるDTD、XML記入例」を利用することとし、関係する記載は読み替えるものとする。</p> <p style="text-align: center;"><b>第2章 一般施工</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、設計図書において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。</p> <p>また、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と協議しなければならない。</p> <table border="0"> <tr> <td>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 鋼道路橋施工便覧</td> <td>（令和2年9月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 鋼道路橋防食便覧</td> <td>（平成26年3月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 舗装調査・試験法便覧</td> <td>（平成31年3月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 アスファルト舗装工事共通仕様書解説</td> <td>（平成4年12月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 転圧コンクリート舗装技術指針（案）</td> <td>（平成2年11月）</td> </tr> <tr> <td>建設省 薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針</td> <td>（昭和49年7月）</td> </tr> <tr> <td>建設省 薬液注入工事に係る施工管理等について</td> <td>（平成2年9月）</td> </tr> <tr> <td>日本グライウト協会 薬液注入工法の設計・施工指針</td> <td>（平成元年6月）</td> </tr> </table>	日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）	（平成29年11月）	日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）	（平成29年11月）	日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）	（平成29年11月）	日本道路協会 鋼道路橋施工便覧	（令和2年9月）	日本道路協会 鋼道路橋防食便覧	（平成26年3月）	日本道路協会 舗装調査・試験法便覧	（平成31年3月）	日本道路協会 アスファルト舗装工事共通仕様書解説	（平成4年12月）	日本道路協会 転圧コンクリート舗装技術指針（案）	（平成2年11月）	建設省 薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針	（昭和49年7月）	建設省 薬液注入工事に係る施工管理等について	（平成2年9月）	日本グライウト協会 薬液注入工法の設計・施工指針	（平成元年6月）	
日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）	（平成29年11月）																																													
日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）	（平成29年11月）																																													
日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）	（平成29年11月）																																													
日本道路協会 鋼道路橋施工便覧	（令和2年9月）																																													
日本道路協会 鋼道路橋防食便覧	（平成26年3月）																																													
日本道路協会 舗装調査・試験法便覧	（平成31年3月）																																													
日本道路協会 アスファルト舗装工事共通仕様書解説	（平成4年12月）																																													
日本道路協会 転圧コンクリート舗装技術指針（案）	（平成2年11月）																																													
建設省 薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針	（昭和49年7月）																																													
建設省 薬液注入工事に係る施工管理等について	（平成2年9月）																																													
日本薬液注入協会 薬液注入工法の設計・施工指針	（平成元年6月）																																													
日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）	（平成29年11月）																																													
日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）	（平成29年11月）																																													
日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）	（平成29年11月）																																													
日本道路協会 鋼道路橋施工便覧	（令和2年9月）																																													
日本道路協会 鋼道路橋防食便覧	（平成26年3月）																																													
日本道路協会 舗装調査・試験法便覧	（平成31年3月）																																													
日本道路協会 アスファルト舗装工事共通仕様書解説	（平成4年12月）																																													
日本道路協会 転圧コンクリート舗装技術指針（案）	（平成2年11月）																																													
建設省 薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針	（昭和49年7月）																																													
建設省 薬液注入工事に係る施工管理等について	（平成2年9月）																																													
日本グライウト協会 薬液注入工法の設計・施工指針	（平成元年6月）																																													

現 行	改 定	摘 要
<p>国土交通省 仮締切堤設置基準（案）（平成26年12月一部改正）</p> <p>環境省 水質汚濁に係わる環境基準について（平成31年3月）</p> <p>日本道路協会 防護柵の設置基準・同解説／ボラードの設置便覧（令和3年3月）</p> <p>日本道路協会 杭基礎施工便覧（令和2年9月）</p> <p>全国特定法面保護協会 のり枠工の設計施工指針（平成25年10月）</p> <p>地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準・同解説（平成24年5月）</p> <p>日本道路協会 道路土工－軟弱地盤対策工指針（平成24年8月）</p> <p>日本道路協会 道路土工要綱（平成21年6月）</p> <p>日本道路協会 道路土工－盛土工指針（平成22年4月）</p> <p>日本道路協会 道路土工－切土工・斜面安定工指針（平成21年6月）</p> <p>日本道路協会 道路土工－擁壁工指針（平成24年7月）</p> <p>日本道路協会 道路土工－カルバート工指針（平成22年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工－仮設構造物工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 斜面上の深礎基礎設計施工便覧（令和3年4月）</p> <p>日本道路協会 舗装再生便覧（平成22年11月）</p> <p>日本道路協会 舗装施工便覧（平成18年2月）</p> <p>日本道路協会 鋼管矢板基礎設計施工便覧（平成9年12月）</p> <p>建設省 トンネル工事における可燃性ガス対策について（昭和53年7月）</p> <p>建設業労働災害防止協会 ずい道等建設工事における換気技術指針（換気技術の設計及び粉じん等の測定）（令和3年4月）</p> <p>建設省 道路付属物の基礎について（昭和50年7月）</p> <p>日本道路協会 道路標識設置基準・同解説（令和2年6月）</p> <p>日本道路協会 視線誘導標設置基準・同解説（昭和59年10月）</p> <p>建設省 土木構造物設計マニュアル（案）[土工構造物・橋梁編]（平成11年11月）</p> <p>建設省 土木構造物設計マニュアル（案）に係わる設計・施工の手引き（案）[ボックスカルバート・擁壁編]（平成11年11月）</p> <p>国土交通省 建設副産物適正処理推進要綱（平成14年5月）</p> <p>厚生労働省 ずい道等建設工事における粉じん対策に関するガイドライン（令和2年7月）</p> <p>国土交通省 土木構造物設計マニュアル（案）[樋門編]（平成13年12月）</p> <p>国土交通省 土木構造物設計マニュアル（案）に係わる設計・施工の手引き（案）[樋門編]（平成13年12月）</p> <p>国土交通省 道路土工構造物技術基準（平成27年3月）</p> <p>労働省 騒音障害防止のためのガイドライン（平成4年10月）</p> <p>厚生労働省 手すり先行工法等に関するガイドライン（平成21年4月）</p> <p>土木学会 コンクリート標準示方書（規準編）（平成30年10月）</p> <p>山梨県県土整備部 土木工事設計マニュアル 道路編Ⅰ（道路編）</p> <p>山梨県県土整備部 土木工事設計マニュアル 道路編Ⅱ（橋梁編）</p> <p>山梨県県土整備部 土木工事設計マニュアル 河川・砂防編</p>	<p>国土交通省 仮締切堤設置基準（案）（平成26年12月一部改正）</p> <p>環境省 水質汚濁に係わる環境基準（環境省告示第62号）（令和3年10月）</p> <p>日本道路協会 防護柵の設置基準・同解説／ボラードの設置便覧（令和3年3月）</p> <p>日本道路協会 杭基礎施工便覧（令和2年9月）</p> <p>全国特定法面保護協会 のり枠工の設計・施工指針（平成25年10月）</p> <p>地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準・同解説（平成24年5月）</p> <p>日本道路協会 道路土工－軟弱地盤対策工指針（平成24年8月）</p> <p>日本道路協会 道路土工要綱（平成21年6月）</p> <p>日本道路協会 道路土工－盛土工指針（平成22年4月）</p> <p>日本道路協会 道路土工－切土工・斜面安定工指針（平成21年6月）</p> <p>日本道路協会 道路土工－擁壁工指針（平成24年7月）</p> <p>日本道路協会 道路土工－カルバート工指針（平成22年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工－仮設構造物工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 斜面上の深礎基礎設計施工便覧（令和3年4月）</p> <p>日本道路協会 舗装再生便覧（平成22年11月）</p> <p>日本道路協会 舗装施工便覧（平成18年2月）</p> <p>日本道路協会 鋼管矢板基礎設計施工便覧（平成9年12月）</p> <p>建設省 トンネル工事における可燃性ガス対策について（昭和53年7月）</p> <p>建設業労働災害防止協会 ずい道等建設工事における換気技術指針（換気技術の設計及び粉じん等の測定）（令和3年4月）</p> <p>建設省 道路付属物の基礎について（昭和50年7月）</p> <p>日本道路協会 道路標識設置基準・同解説（令和2年6月）</p> <p>日本道路協会 視線誘導標設置基準・同解説（昭和59年10月）</p> <p>建設省 土木構造物設計マニュアル（案）[土工構造物・橋梁編]（平成11年11月）</p> <p>建設省 土木構造物設計マニュアル（案）に係わる設計・施工の手引き（案）[ボックスカルバート・擁壁編]（平成11年11月）</p> <p>国土交通省 建設副産物適正処理推進要綱（平成14年5月）</p> <p>厚生労働省 ずい道等建設工事における粉じん対策に関するガイドライン（令和2年7月）</p> <p>国土交通省 土木構造物設計マニュアル（案）[樋門編]（平成13年12月）</p> <p>国土交通省 土木構造物設計マニュアル（案）に係わる設計・施工の手引き（案）[樋門編]（平成13年12月）</p> <p>国土交通省 道路土工構造物技術基準（平成27年3月）</p> <p>労働省 騒音障害防止のためのガイドライン（平成4年10月）</p> <p>厚生労働省 手すり先行工法等に関するガイドライン（平成21年4月）</p> <p>土木学会 コンクリート標準示方書（規準編）[2018年制定]（2018年10月）</p> <p>地盤工学会 地山補強土工法設計・施工マニュアル（平成23年8月）</p> <p>山梨県県土整備部 土木工事設計マニュアル 道路編Ⅰ（道路編）</p> <p>山梨県県土整備部 土木工事設計マニュアル 道路編Ⅱ（橋梁編）</p>	



現 行	改 定	摘 要
<p><b>第3節 共通的工種</b></p> <p><b>3-2-3-10 道路付属物工</b></p> <p>1. 視線誘導標</p> <p>受注者は、視線誘導標の施工にあたって、設置場所、建込角度が安全かつ、十分な誘導効果が得られるように設置しなければならない。</p> <p><b>3-2-3-14 プレキャストセグメント主桁組立て工</b></p> <p>2. ブロック組立て施工</p> <p>ブロックの組立ての施工については、以下の規定によるものとする。</p> <p>(1) プレキャストブロックの接合に用いる接着剤の使用にあたり材質がエポキシ樹脂系接着剤で強度、耐久性及び水密性がブロック同等以上のものを使用しなければならない。エポキシ樹脂系接着剤を使用する場合は、室内で密封して保管し、原則として製造後6ヶ月以上経過したものは使用してはならない。また、水分を含むと品質が劣化するので、雨天の時の作業は中止しなければならない。これ以外の場合は、<b>設計図書</b>によるものとする。</p> <p>未硬化の接着剤の外観、粘度、可使時間、だれ最小厚さ、硬化した接着剤の比重、引張強さ、圧縮強さ、引張せん断接着強さ、接着強さ、硬さ、特殊な条件下で使用する場合は、高温時の引張強さ、水中硬化時の引張強さ、衝撃強さ、圧縮ヤング係数、熱膨張係数、硬化収縮率、吸水率等について、必要に応じて試験を行い性能を確認しなければならない。</p> <p>なお、接着剤の試験方法は「コンクリート標準示方書・(規準編)」(土木学会、平成30年10月)における、JSCE-H 101-2013プレキャストコンクリート用樹脂系接着剤(橋げた用)品質規格(案)による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p><b>第4節 基礎工</b></p> <p><b>3-2-4-4 既製杭工</b></p> <p>21. 鋼管杭・H鋼杭の現場継手</p> <p>(9) 受注者は、斜杭の場合の鋼杭及びH鋼杭の溶接にあたり、自重により継手が引張りを<u>う</u>ける側から開始しなければならない。</p> <p><b>3-2-4-5 場所打杭工</b></p> <p>13. 杭頭の処理</p> <p>受注者は、場所打杭工の杭頭処理に際して、杭の本体を損傷させないように行わなければならない。また、受注者は、場所打杭工の施工にあたり、連続してコンクリートを打込み、レイタンス部分を除いて品質不良のコンクリート部分を見込んで<b>設計図書</b>に示す打上り面より孔内水を使用しない場合で50cm以上、孔内水を使用する場合で80cm以上高く打込み、硬化後、<b>設計図書</b>に示す高さまで取り壊さなければならない。オールケーシング工法による場所打杭の施工にあたっては、鉄筋天端高さまでコンクリートを打ち込み、硬化後、設計図書に</p>	<p>山梨県県土整備部 土木工事設計マニュアル 河川・砂防編</p> <p><b>第3節 共通的工種</b></p> <p><b>3-2-3-10 道路付属物工</b></p> <p>1. 視線誘導標</p> <p>受注者は、視線誘導標の施工にあたって、設置場所、建込角度が安全かつ十分な誘導効果が得られるように設置しなければならない。</p> <p><b>3-2-3-14 プレキャストセグメント主桁組立て工</b></p> <p>2. ブロック組立て施工</p> <p>ブロックの組立ての施工については、以下の規定によるものとする。</p> <p>(1) プレキャストブロックの接合に用いる接着剤の使用にあたり材質がエポキシ樹脂系接着剤で強度、耐久性及び水密性がブロック同等以上のものを使用しなければならない。エポキシ樹脂系接着剤を使用する場合は、室内で密封して保管し、原則として製造後6ヶ月以上経過したものは使用してはならない。また、水分を含むと品質が劣化するので、雨天の時の作業は中止しなければならない。これ以外の場合は、<b>設計図書</b>によるものとする。</p> <p>未硬化の接着剤の外観、粘度、可使時間、だれ最小厚さ、硬化した接着剤の比重、引張強さ、圧縮強さ、引張せん断接着強さ、接着強さ、硬さ、特殊な条件下で使用する場合は、高温時の引張強さ、水中硬化時の引張強さ、衝撃強さ、圧縮ヤング係数、熱膨張係数、硬化収縮率、吸水率等について、必要に応じて試験を行い性能を確認しなければならない。</p> <p>なお、接着剤の試験方法は「コンクリート標準示方書・(規準編) <b>[2018年制定]</b>」(土木学会、<b>2018</b>年10月)における、JSCE-H 101-2013プレキャストコンクリート用樹脂系接着剤(橋げた用)品質規格(案)による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p><b>第4節 基礎工</b></p> <p><b>3-2-4-4 既製杭工</b></p> <p>21. 鋼管杭・H鋼杭の現場継手</p> <p>(9) 受注者は、斜杭の場合の鋼杭及びH鋼杭の溶接にあたり、自重により継手が引張りを<u>受</u>ける側から開始しなければならない。</p> <p><b>3-2-4-5 場所打杭工</b></p> <p>13. 杭頭の処理</p> <p>受注者は、場所打杭工の杭頭処理に際して、杭の本体を損傷させないように行わなければならない。また、受注者は、場所打杭工の施工にあたり、連続してコンクリートを打込み、レイタンス部分を除いて品質不良のコンクリート部分を見込んで<b>設計図書</b>に示す打上り面より孔内水を使用しない場合で50cm以上、孔内水を使用する場合で80cm以上高く打込み、硬化後、<b>設計図書</b>に示す高さまで取り壊さなければならない。オールケーシング工法による場所打杭の施工にあたっては、鉄筋天端高さまでコンクリートを打ち込み、硬化後、設計図書に</p>	

現 行	改 定	摘 要
<p>に示す高さまで取り壊すものとする。</p> <p><b>19. 泥水処理</b> 受注者は、泥水処理を行うにあたり、水質汚濁に係る環境基準について（環境省告示）、都道府県公害防止条例等に従い、適切に処理を行わなければならない。</p> <p><b>3-2-4-7 オープンケーソン基礎工</b> <b>7. 過堀の禁止</b> 受注者は、オープンケーソンの沈下促進にあたり、刃先下部に過度の掘り起こしをしてはならない。著しく沈下が困難な場合には、原因を調査するとともに、その処理方法について、<b>設計図書</b>に関して監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <p><b>第5節 石・ブロック積（張）工</b> <b>3-2-5-3 コンクリートブロック工</b> <b>2. コンクリートブロック積</b> コンクリートブロック積とは、プレキャストコンクリートブロックによって練積されたもので、法勾配が1：1より急なものをいうものとする。 コンクリートブロック張りとは、プレキャストブロックを法面に張りつけた、法勾配が1：1若しくは1：1よりゆるやかなものをいうものとする。</p> <p><b>3-2-6-7 アスファルト舗装工</b> <b>4. 加熱アスファルト安定処理の規定</b> (12) 受注者は、<b>設計図書</b>に示す場合を除き、加熱アスファルト安定処理混合物を敷均したときの混合物の温度は110℃以上、また、一層の仕上がり厚さは10cm以下としなければならない。ただし、混合物の種類によって敷均しが困難な場合は、<b>設計図書</b>に関して監督員と<b>協議</b>の上、混合物の温度を決定するものとする。</p> <p><b>3-2-7-6 サンドマット工</b> <b>1. 一般事項</b> 受注者は、サンドマットの施工にあたり、砂の<b>まき</b>出しは均一に行い、均等に荷重をかけるようにしなければならない。</p> <p><b>第10節 仮設工</b> <b>3-2-10-1 一般事項</b> <b>1. 適用工種</b> 本節は、仮設工として工事用道路工、仮橋・仮栈橋工、路面覆工、土留・仮締切工、砂防仮締切工、水替工、地下水位低下工、地中連続壁工（壁式）、地中連続壁工（柱列式）、仮水</p>	<p>示す高さまで取り壊すものとする。</p> <p><b>19. 泥水処理</b> 受注者は、泥水処理を行うにあたり、水質汚濁に係る環境基準（環境省告示）、都道府県公害防止条例等に従い、適切に処理を行わなければならない。</p> <p><b>3-2-4-7 オープンケーソン基礎工</b> <b>7. 過堀りの禁止</b> 受注者は、オープンケーソンの沈下促進にあたり、刃先下部に過度の掘り起こしをしてはならない。著しく沈下が困難な場合には、原因を調査するとともに、その処理方法について、<b>設計図書</b>に関して監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <p><b>第5節 石・ブロック積（張）工</b> <b>3-2-5-3 コンクリートブロック工</b> <b>2. コンクリートブロック積（張）</b> コンクリートブロック積とは、プレキャストコンクリートブロックによって練積されたもので、法勾配が1：1より急なものをいうものとする。 コンクリートブロック張りとは、プレキャストブロックを法面に張りつけた、法勾配が1：1若しくは1：1よりゆるやかなものをいうものとする。</p> <p><b>3-2-6-7 アスファルト舗装工</b> <b>4. 加熱アスファルト安定処理の規定</b> (12) 受注者は、<b>設計図書</b>に示す場合を除き、加熱アスファルト安定処理混合物を敷均したときの混合物の温度は110℃以上、また、一層の仕上がり厚さは10cm以下としなければならない。ただし、混合物の種類によって敷均しが困難な場合<b>や、中温化技術により施工性を改善した混合物を使用する場合、締固め効果の高いローラを使用する場合などは、設計図書</b>に関して監督員と<b>協議</b>の上、<b>所定の締固めが得られる範囲で、混合物の適切な</b>温度を決定するものとする。</p> <p><b>3-2-7-6 サンドマット工</b> <b>1. 一般事項</b> 受注者は、サンドマットの施工にあたり、砂の<b>巻</b>出しは均一に行い、均等に荷重をかけるようにしなければならない。</p> <p><b>第10節 仮設工</b> <b>3-2-10-1 一般事項</b> <b>1. 適用工種</b> 本節は、仮設工として工事用道路工、仮橋・仮栈橋工、路面覆工、土留・仮締切工、砂防仮締切工、水替工、地下水位低下工、地中連続壁工（壁式）、地中連続壁工（柱列式）、仮水</p>	

現 行	改 定	摘 要
<p>路工、残土受入れ施設工、作業ヤード整備工、電力設備工、コンクリート製造設備工、トンネル仮設備工、<b>共同溝仮設備工</b>、防塵対策工、汚濁防止工、防護施設工、除雪工、雪寒施設工、法面吹付工その他これらに類する工種について定める。</p> <p><b>3-2-10-8 地下水位低下工</b>  <b>2. 周辺被害の防止</b>  受注者は、周辺に井戸がある場合には、状況の<b>確認</b>に<b>つと</b>め被害を与えないようにしなければならない。</p> <p><b>第15節 擁壁工（共通）</b>  <b>3-2-15-3 補強土壁工</b>  <b>9. 盛土材の敷均し及び締固め</b>  受注者は、盛土材の敷均し及び締固めについては、第1編1-2-4-3路体盛土工の規定により一層ごとに適切に施工しなければならない。<b>まき</b>出し及び締固めは、壁面工側から順次奥へ行うとともに、重機械の急停止や急旋回等を避け、補強材にずれや損傷を与えないように注意しなければならない。</p> <p><b>第17節 植栽維持工</b>  <b>3-2-17-3 樹木・芝生管理工</b>  <b>1. 樹木・芝生管理工の施工</b>  受注者は、樹木・芝生管理工の施工については、時期、箇所について監督員より<b>指示</b>を<b>う</b>けるものとし、完了後は速やかに監督員に<b>連絡</b>しなければならない。また、芝生類の施工については第3編3-2-14-2植生工の規定による。  <b>2. 剪定の施工</b>  受注者は、剪定の施工にあたり、「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」の<b>策定</b>について（厚生労働省令和2年1月）によるものとし、各樹種の特性及び施工箇所にあった剪定形式により行わなければならない。  なお、剪定形式について監督員より<b>指示</b>があった場合は、その<b>指示</b>によらなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第4編 河 川 編</b> <b>第1章 築堤・護岸</b></p> <p><b>第1節 適 用</b>  <b>6. 河積阻害等の防止</b>  受注者は、河川工事の仮締切、瀬<b>が</b>え等において、河積阻害や河川管理施設、許可工作物等に対する局所的な洗掘等を避けるように施工をしなければならない。</p>	<p>路工、残土受入れ施設工、作業ヤード整備工、電力設備工、コンクリート製造設備工、トンネル仮設備工、防塵対策工、汚濁防止工、防護施設工、除雪工、雪寒施設工、法面吹付工、<b>足場工</b>、その他これらに類する工種について定める。</p> <p><b>3-2-10-8 地下水位低下工</b>  <b>2. 周辺被害の防止</b>  受注者は、周辺に井戸がある場合には、状況の<b>確認</b>に<b>努</b>め被害を与えないようにしなければならない。</p> <p><b>第15節 擁壁工（共通）</b>  <b>3-2-15-3 補強土壁工</b>  <b>9. 盛土材の敷均し及び締固め</b>  受注者は、盛土材の敷均し及び締固めについては、第1編1-2-4-3路体盛土工の規定により一層ごとに適切に施工しなければならない。<b>巻</b>出し及び締固めは、壁面工側から順次奥へ行うとともに、重機械の急停止や急旋回等を避け、補強材にずれや損傷を与えないように注意しなければならない。</p> <p><b>第17節 植栽維持工</b>  <b>3-2-17-3 樹木・芝生管理工</b>  <b>1. 樹木・芝生管理工の施工</b>  受注者は、樹木・芝生管理工の施工については、時期、箇所について監督員より<b>指示</b>を<b>受</b>けるものとし、完了後は速やかに監督員に<b>連絡</b>しなければならない。また、芝生類の施工については第3編3-2-14-2植生工の規定による。  <b>2. 剪定の施工</b>  受注者は、剪定の施工にあたり、「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」の<b>改正</b>について（厚生労働省令和2年1月）によるものとし、各樹種の特性及び施工箇所にあった剪定形式により行わなければならない。  なお、剪定形式について監督員より<b>指示</b>があった場合は、その<b>指示</b>によらなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第4編 河 川 編</b> <b>第1章 築堤・護岸</b></p> <p><b>第1節 適 用</b>  <b>6. 河積阻害等の防止</b>  受注者は、河川工事の仮締切、瀬<b>替</b>え等において、河積阻害や河川管理施設、許可工作物等に対する局所的な洗掘等を避けるように施工をしなければならない。</p>	

現 行	改 定	摘 要																																								
<p style="text-align: center;"><b>第3章 樋門・樋管</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <table border="0"> <tr> <td>国土交通省 仮締切堤設置基準（案）</td> <td>（平成26年12月一部改正）</td> </tr> <tr> <td>国土交通省 河川砂防技術基準</td> <td>（令和3年4月）</td> </tr> <tr> <td>国土開発技術研究センター 柔構造樋門設計の手引き</td> <td>（平成10年11月）</td> </tr> <tr> <td>国土交通省 機械工事共通仕様書（案）</td> <td>（令和3年3月）</td> </tr> <tr> <td>国土交通省 機械工事施工管理基準（案）</td> <td>（令和3年3月）</td> </tr> </table> <p><b>第5節 樋門・樋管本体工</b></p> <p>6. コンクリート構造の樋門及び樋管</p> <p>(7) 受注者は、プレキャスト工法等で底版と均しコンクリートの間に空隙が残ることが<b>さ</b>げられない場合には、セメントミルク等でグラウトしなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第5章 堰</b></p> <p><b>第1節 適 用</b></p> <p>5. 適用規定（3）</p> <p>受注者は、扉体、戸当り及び開閉装置の製作、据付けは「<b>機械工事共通仕様書（案）</b>」（国土交通省、令和3年3月）の規定による。</p> <p style="text-align: center;"><b>第5編 砂 防 編</b></p> <p style="text-align: center;"><b>第1章 砂防堰堤</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <table border="0"> <tr> <td>土木学会 標準示方書（ダムコンクリート編）</td> <td>（平成25年10月）</td> </tr> <tr> <td>土木学会 コンクリート標準示方書（施工編）</td> <td>（平成30年3月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 鋼道路橋防食便覧</td> <td>（平成26年3月）</td> </tr> </table>	国土交通省 仮締切堤設置基準（案）	（平成26年12月一部改正）	国土交通省 河川砂防技術基準	（令和3年4月）	国土開発技術研究センター 柔構造樋門設計の手引き	（平成10年11月）	国土交通省 機械工事共通仕様書（案）	（令和3年3月）	国土交通省 機械工事施工管理基準（案）	（令和3年3月）	土木学会 標準示方書（ダムコンクリート編）	（平成25年10月）	土木学会 コンクリート標準示方書（施工編）	（平成30年3月）	日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）	（平成29年11月）	日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）	（平成29年11月）	日本道路協会 鋼道路橋防食便覧	（平成26年3月）	<p style="text-align: center;"><b>第3章 樋門・樋管</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <table border="0"> <tr> <td>国土交通省 仮締切堤設置基準（案）</td> <td>（平成26年12月一部改正）</td> </tr> <tr> <td>国土交通省 河川砂防技術基準</td> <td>（令和4年6月）</td> </tr> <tr> <td>国土開発技術研究センター 柔構造樋門設計の手引き</td> <td>（平成10年11月）</td> </tr> <tr> <td>国土交通省 機械工事共通仕様書（案）</td> <td>（令和4年3月）</td> </tr> <tr> <td>国土交通省 機械工事施工管理基準（案）</td> <td>（令和3年3月）</td> </tr> </table> <p><b>第5節 樋門・樋管本体工</b></p> <p>6. コンクリート構造の樋門及び樋管</p> <p>(7) 受注者は、プレキャスト工法等で底版と均しコンクリートの間に空隙が残ることが<b>避</b>けられない場合には、セメントミルク等でグラウトしなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第5章 堰</b></p> <p><b>第1節 適 用</b></p> <p>5. 適用規定（3）</p> <p>受注者は、扉体、戸当り及び開閉装置の製作、据付けは「<b>機械工事共通仕様書（案）</b>」（国土交通省、令和4年3月）の規定による。</p> <p style="text-align: center;"><b>第5編 砂 防 編</b></p> <p style="text-align: center;"><b>第1章 砂防堰堤</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <table border="0"> <tr> <td>土木学会 <b>コンクリート</b>標準示方書（ダムコンクリート編）<b>[2013年制定]</b></td> <td>（<b>2013</b>年10月）</td> </tr> <tr> <td>土木学会 <b>コンクリート</b>標準示方書（施工編）<b>[2017年制定]</b></td> <td>（<b>2018</b>年3月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 鋼道路橋防食便覧</td> <td>（平成26年3月）</td> </tr> </table>	国土交通省 仮締切堤設置基準（案）	（平成26年12月一部改正）	国土交通省 河川砂防技術基準	（令和4年6月）	国土開発技術研究センター 柔構造樋門設計の手引き	（平成10年11月）	国土交通省 機械工事共通仕様書（案）	（令和4年3月）	国土交通省 機械工事施工管理基準（案）	（令和3年3月）	土木学会 <b>コンクリート</b> 標準示方書（ダムコンクリート編） <b>[2013年制定]</b>	（ <b>2013</b> 年10月）	土木学会 <b>コンクリート</b> 標準示方書（施工編） <b>[2017年制定]</b>	（ <b>2018</b> 年3月）	日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）	（平成29年11月）	日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）	（平成29年11月）	日本道路協会 鋼道路橋防食便覧	（平成26年3月）	
国土交通省 仮締切堤設置基準（案）	（平成26年12月一部改正）																																									
国土交通省 河川砂防技術基準	（令和3年4月）																																									
国土開発技術研究センター 柔構造樋門設計の手引き	（平成10年11月）																																									
国土交通省 機械工事共通仕様書（案）	（令和3年3月）																																									
国土交通省 機械工事施工管理基準（案）	（令和3年3月）																																									
土木学会 標準示方書（ダムコンクリート編）	（平成25年10月）																																									
土木学会 コンクリート標準示方書（施工編）	（平成30年3月）																																									
日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）	（平成29年11月）																																									
日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）	（平成29年11月）																																									
日本道路協会 鋼道路橋防食便覧	（平成26年3月）																																									
国土交通省 仮締切堤設置基準（案）	（平成26年12月一部改正）																																									
国土交通省 河川砂防技術基準	（令和4年6月）																																									
国土開発技術研究センター 柔構造樋門設計の手引き	（平成10年11月）																																									
国土交通省 機械工事共通仕様書（案）	（令和4年3月）																																									
国土交通省 機械工事施工管理基準（案）	（令和3年3月）																																									
土木学会 <b>コンクリート</b> 標準示方書（ダムコンクリート編） <b>[2013年制定]</b>	（ <b>2013</b> 年10月）																																									
土木学会 <b>コンクリート</b> 標準示方書（施工編） <b>[2017年制定]</b>	（ <b>2018</b> 年3月）																																									
日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）	（平成29年11月）																																									
日本道路協会 道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）	（平成29年11月）																																									
日本道路協会 鋼道路橋防食便覧	（平成26年3月）																																									

現 行	改 定	摘要																																								
<p style="text-align: center;">砂防・地すべり技術センター 砂防ソイルセメント施工便覧 (平成28年度版)</p> <p><b>第8節 コンクリート堰堤工</b>  <b>5-1-8-1 一般事項</b>  1. 適用工種  本節は、コンクリート堰堤工として作業土工（床掘り、埋戻し）、埋戻し工、コンクリート堰堤本体工、コンクリート側壁工、コンクリート副堰堤工、間詰工、水叩工その他これらに類する工種について定める。</p> <p style="text-align: center;"><b>第3章 斜面对策</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b>  受注者は、設計図書において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。  なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と協議しなければならない。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>全国治水砂防協会 新・斜面崩壊防止工事の設計と実例</td> <td style="text-align: right;">(令和元年6月)</td> </tr> <tr> <td>全国特定法面保護協会 のり枠工の設計施工指針</td> <td style="text-align: right;">(平成25年10月)</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路土工－擁壁工指針</td> <td style="text-align: right;">(平成24年7月)</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路土工－カルバート工指針</td> <td style="text-align: right;">(平成22年3月)</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路土工指針-仮設構造物工指針</td> <td style="text-align: right;">(平成11年3月)</td> </tr> <tr> <td>土木研究センター 補強土（テールアルメ）壁工法設計・施工マニュアル</td> <td style="text-align: right;">(平成26年8月)</td> </tr> <tr> <td>地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準・同解説</td> <td style="text-align: right;">(平成24年5月)</td> </tr> <tr> <td>PCフレーム協会 PCフレーム工法設計・施工の手引き</td> <td style="text-align: right;">(平成24年9月)</td> </tr> <tr> <td>斜面防災対策技術協会 新版地すべり鋼管杭設計要領</td> <td style="text-align: right;">(平成28年3月)</td> </tr> <tr> <td>斜面防災対策技術協会 地すべり対策技術設計実施要領</td> <td style="text-align: right;">(平成19年12月)</td> </tr> </table> <p><b>第5節 擁壁工</b>  <b>5-3-5-1 一般事項</b>  本節は、擁壁工として作業土工、既製杭工、場所打擁壁工、プレキャスト擁壁工、補強土壁工、井桁ブロック工、落石防護工、その他これらに類する工種について定める。</p> <p><b>第6節 山腹水路工</b>  <b>5-3-6-1 一般事項</b>  1. 適用工種  本節は、山腹水路工として作業土工、山腹集水路・排水路工、山腹明暗渠工、山腹暗渠工、集水樹工、現場打水路工その他これらに類する工種について定める。</p>	全国治水砂防協会 新・斜面崩壊防止工事の設計と実例	(令和元年6月)	全国特定法面保護協会 のり枠工の設計施工指針	(平成25年10月)	日本道路協会 道路土工－擁壁工指針	(平成24年7月)	日本道路協会 道路土工－カルバート工指針	(平成22年3月)	日本道路協会 道路土工指針-仮設構造物工指針	(平成11年3月)	土木研究センター 補強土（テールアルメ）壁工法設計・施工マニュアル	(平成26年8月)	地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準・同解説	(平成24年5月)	PCフレーム協会 PCフレーム工法設計・施工の手引き	(平成24年9月)	斜面防災対策技術協会 新版地すべり鋼管杭設計要領	(平成28年3月)	斜面防災対策技術協会 地すべり対策技術設計実施要領	(平成19年12月)	<p style="text-align: center;">砂防・地すべり技術センター 砂防ソイルセメント施工便覧 (平成28年度版)</p> <p><b>第8節 コンクリート堰堤工</b>  <b>5-1-8-1 一般事項</b>  1. 適用工種  本節は、コンクリート堰堤工として作業土工（床掘り、埋戻し）、埋戻し工、コンクリート堰堤本体工、コンクリート副堰堤工、コンクリート側壁工、間詰工、水叩工その他これらに類する工種について定める。</p> <p style="text-align: center;"><b>第3章 斜面对策</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b>  受注者は、設計図書において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。  なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と協議しなければならない。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>全国治水砂防協会 新・斜面崩壊防止工事の設計と実例</td> <td style="text-align: right;">(令和元年6月)</td> </tr> <tr> <td>全国特定法面保護協会 のり枠工の設計・施工指針</td> <td style="text-align: right;">(平成25年10月)</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路土工－擁壁工指針</td> <td style="text-align: right;">(平成24年7月)</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路土工－カルバート工指針</td> <td style="text-align: right;">(平成22年3月)</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路土工指針-仮設構造物工指針</td> <td style="text-align: right;">(平成11年3月)</td> </tr> <tr> <td>土木研究センター 補強土（テールアルメ）壁工法設計・施工マニュアル</td> <td style="text-align: right;">(平成26年8月)</td> </tr> <tr> <td>地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準・同解説</td> <td style="text-align: right;">(平成24年5月)</td> </tr> <tr> <td>PCフレーム協会 PCフレーム工法設計・施工の手引き</td> <td style="text-align: right;">(平成24年9月)</td> </tr> <tr> <td>斜面防災対策技術協会 新版 地すべり鋼管杭設計要領</td> <td style="text-align: right;">(平成28年3月)</td> </tr> <tr> <td>斜面防災対策技術協会 地すべり対策技術設計実施要領</td> <td style="text-align: right;">(平成19年12月)</td> </tr> </table> <p><b>第5節 擁壁工</b>  <b>5-3-5-1 一般事項</b>  本節は、擁壁工として作業土工（床掘り・埋戻し）、既製杭工、場所打擁壁工、プレキャスト擁壁工、補強土壁工、井桁ブロック工、落石防護工、その他これらに類する工種について定める。</p> <p><b>第6節 山腹水路工</b>  <b>5-3-6-1 一般事項</b>  1. 適用工種  本節は、山腹水路工として作業土工（床掘り・埋戻し）、山腹集水路・排水路工、山腹明暗渠工、山腹暗渠工、現場打水路工、集水樹工その他これらに類する工種について定める。</p>	全国治水砂防協会 新・斜面崩壊防止工事の設計と実例	(令和元年6月)	全国特定法面保護協会 のり枠工の設計・施工指針	(平成25年10月)	日本道路協会 道路土工－擁壁工指針	(平成24年7月)	日本道路協会 道路土工－カルバート工指針	(平成22年3月)	日本道路協会 道路土工指針-仮設構造物工指針	(平成11年3月)	土木研究センター 補強土（テールアルメ）壁工法設計・施工マニュアル	(平成26年8月)	地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準・同解説	(平成24年5月)	PCフレーム協会 PCフレーム工法設計・施工の手引き	(平成24年9月)	斜面防災対策技術協会 新版 地すべり鋼管杭設計要領	(平成28年3月)	斜面防災対策技術協会 地すべり対策技術設計実施要領	(平成19年12月)	
全国治水砂防協会 新・斜面崩壊防止工事の設計と実例	(令和元年6月)																																									
全国特定法面保護協会 のり枠工の設計施工指針	(平成25年10月)																																									
日本道路協会 道路土工－擁壁工指針	(平成24年7月)																																									
日本道路協会 道路土工－カルバート工指針	(平成22年3月)																																									
日本道路協会 道路土工指針-仮設構造物工指針	(平成11年3月)																																									
土木研究センター 補強土（テールアルメ）壁工法設計・施工マニュアル	(平成26年8月)																																									
地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準・同解説	(平成24年5月)																																									
PCフレーム協会 PCフレーム工法設計・施工の手引き	(平成24年9月)																																									
斜面防災対策技術協会 新版地すべり鋼管杭設計要領	(平成28年3月)																																									
斜面防災対策技術協会 地すべり対策技術設計実施要領	(平成19年12月)																																									
全国治水砂防協会 新・斜面崩壊防止工事の設計と実例	(令和元年6月)																																									
全国特定法面保護協会 のり枠工の設計・施工指針	(平成25年10月)																																									
日本道路協会 道路土工－擁壁工指針	(平成24年7月)																																									
日本道路協会 道路土工－カルバート工指針	(平成22年3月)																																									
日本道路協会 道路土工指針-仮設構造物工指針	(平成11年3月)																																									
土木研究センター 補強土（テールアルメ）壁工法設計・施工マニュアル	(平成26年8月)																																									
地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準・同解説	(平成24年5月)																																									
PCフレーム協会 PCフレーム工法設計・施工の手引き	(平成24年9月)																																									
斜面防災対策技術協会 新版 地すべり鋼管杭設計要領	(平成28年3月)																																									
斜面防災対策技術協会 地すべり対策技術設計実施要領	(平成19年12月)																																									

現 行	改 定	摘 要
<p><b>第9節 抑止杭工</b></p> <p><b>5-3-9-1 一般事項</b></p> <p>3. 杭建て込みのための削孔</p> <p>受注者は、杭建て込みのための削孔にあたっては、地形図、土質柱状図等を検討して、地山のかく乱、地すべり等の誘発を<b>さ</b>けるように施工しなければならない。</p> <p><b>5-3-9-3 既製杭工</b></p> <p>3. 人工泥水</p> <p>受注者は、削孔に人工泥水を用いる場合は、沈澱槽や排水路等からの水の溢流、地盤への浸透を<b>さ</b>けなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第6編 ダム編</b></p> <p style="text-align: center;"><b>第1章 コンクリートダム</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <p>土木学会 コンクリート標準示方書（ダムコンクリート編）（平成25年10月）</p> <p><b>第3節 掘削工</b></p> <p><b>6-1-3-5 岩盤面処理</b></p> <p>1. 一般事項</p> <p>基礎岩盤とは、<b>設計図書</b>に示す予定掘削線以下の岩盤で、コンクリートダムの基礎となる岩盤をいうものとする。</p> <p>なお、<b>設計図書</b>に示す予定掘削線は、岩質の状況により監督員が変更する場合があるものとする。</p> <p><b>第4節 ダムコンクリート工</b></p> <p><b>6-1-4-7 コンクリートの運搬</b></p> <p>4. バケットの構造</p> <p>バケットの構造は、コンクリートの投入及び排出の際に材料の分離を起こさないものであり、また、バケットからのコンクリートの排出が容易でかつ、<b>速</b>やかなものとする。</p> <p><b>6-1-4-9 コンクリートの打込み</b></p> <p>8. 異コンクリートの打継ぎ</p> <p>受注者は、異なったコンクリートを打継ぐ場合には、その移り目で、配合の急変を<b>さ</b>ける</p>	<p><b>第9節 抑止杭工</b></p> <p><b>5-3-9-1 一般事項</b></p> <p>3. 杭建て込みのための削孔</p> <p>受注者は、杭建て込みのための削孔にあたっては、地形図、土質柱状図等を検討して、地山のかく乱、地すべり等の誘発を<b>避</b>けるように施工しなければならない。</p> <p><b>5-3-9-3 既製杭工</b></p> <p>3. 人工泥水</p> <p>受注者は、削孔に人工泥水を用いる場合は、沈澱槽や排水路等からの水の溢流、地盤への浸透を<b>避</b>けなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第6編 ダム編</b></p> <p style="text-align: center;"><b>第1章 コンクリートダム</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <p>土木学会 コンクリート標準示方書（ダムコンクリート編）<b>[2013年制定]</b>（<b>2013</b>年10月）</p> <p><b>第3節 掘削工</b></p> <p><b>6-1-3-5 岩盤面処理</b></p> <p>1. 一般事項</p> <p>基礎岩盤とは、<b>設計図書</b>に示す予定掘削線以下の岩盤で、コンクリートダムの基礎となる岩盤をいうものとする。</p> <p>なお、<b>設計図書</b>に示す予定掘削線は、岩質の状況により監督員が変更<b>を指示</b>する場合があるものとする。</p> <p><b>第4節 ダムコンクリート工</b></p> <p><b>6-1-4-7 コンクリートの運搬</b></p> <p>4. バケットの構造</p> <p>バケットの構造は、コンクリートの投入及び排出の際に材料の分離を起こさないものであり、また、バケットからのコンクリートの排出が容易でかつ<b>速</b>やかなものとする。</p> <p><b>6-1-4-9 コンクリートの打込み</b></p> <p>8. 異コンクリートの打継ぎ</p>	

現 行	改 定	摘 要
<p>ようコンクリートを打込まなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第2章 フィルダム</b></p> <p><b>第4節 盛立工</b></p> <p><b>6-2-4-1 一般事項</b></p> <p>6. オーバーサイズの除去 受注者は、まき出し時のコア材及びフィルター材のオーバーサイズ等は、除去しなければならない。</p> <p><b>6-2-4-5 コアの盛立</b></p> <p>2. まき出し 受注者は、まき出しにあたっては、ダム軸と平行に、平らな面となるように施工しなければならない。</p> <p>3. まき出し厚と転圧 受注者は、まき出し厚、転圧機械及び転圧回数については、設計図書によらなければならない。</p> <p>4. まき出し材料の含水比 受注者は、まき出された材料が、設計図書に示す含水比を確保できない場合には、設計図書に関して、監督員の指示に従い処置しなければならない。</p> <p>5. 層間の密着性の確保 受注者は、既に締固めた層の表面が過度に乾燥、湿潤または平滑となっており上層との密着が確保できない場合には、監督員の指示に従い、散水あるいはスカリファイヤー等の方法で処置し、この部分の締固め完了後にまき出しを行わなければならない。</p> <p><b>6-2-4-6 フィルターの盛立</b></p> <p>2. まき出し 受注者は、まき出しにあたっては、ダム軸と平行に、平らな面となるように施工しなければならない。</p> <p>3. まき出し厚と転圧 受注者は、まき出し厚、転圧機械及び転圧回数については、設計図書によらなければならない。</p> <p>4. まき出し材料の粒度 受注者は、まき出された材料が、設計図書に示す粒度と合致していない場合には、監督員の指示に従い処置しなければならない。</p> <p><b>6-2-4-7 ロックの盛立</b></p> <p>2. まき出し 受注者は、まき出しにあたっては、ダム軸と平行に、平らな面となるように施工しなければ</p>	<p>受注者は、異なったコンクリートを打継ぐ場合には、その移り目で、配合の急変を避けるようコンクリートを打込まなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第2章 フィルダム</b></p> <p><b>第4節 盛立工</b></p> <p><b>6-2-4-1 一般事項</b></p> <p>6. オーバーサイズの除去 受注者は、巻出し時のコア材及びフィルター材のオーバーサイズ等は、除去しなければならない。</p> <p><b>6-2-4-5 コアの盛立</b></p> <p>2. 巻出し 受注者は、巻出しにあたっては、ダム軸と平行に、平らな面となるように施工しなければならない。</p> <p>3. 巻出し厚と転圧 受注者は、巻出し厚、転圧機械及び転圧回数については、設計図書によらなければならない。</p> <p>4. 巻出し材料の含水比 受注者は、巻出された材料が、設計図書に示す含水比を確保できない場合には、設計図書に関して、監督員の指示に従い処置しなければならない。</p> <p>5. 層間の密着性の確保 受注者は、既に締固めた層の表面が過度に乾燥、湿潤または平滑となっており上層との密着が確保できない場合には、監督員の指示に従い、散水あるいはスカリファイヤー等の方法で処置し、この部分の締固め完了後に巻出しを行わなければならない。</p> <p><b>6-2-4-6 フィルターの盛立</b></p> <p>2. 巻出し 受注者は、巻出しにあたっては、ダム軸と平行に、平らな面となるように施工しなければならない。</p> <p>3. 巻出し厚と転圧 受注者は、巻出し厚、転圧機械及び転圧回数については、設計図書によらなければならない。</p> <p>4. 巻出し材料の粒度 受注者は、巻出された材料が、設計図書に示す粒度と合致していない場合には、監督員の指示に従い処置しなければならない。</p> <p><b>6-2-4-7 ロックの盛立</b></p> <p>2. 巻出し</p>	

現 行	改 定	摘 要																																																																																																												
<p>ばならない。</p> <p>3. まき出し厚と転圧 受注者は、まき出し厚、転圧機械及び転圧回数については、設計図書によらなければならない。</p> <p>4. 大塊・小塊のまきだし 受注者は、小塊を基礎地盤または基礎岩盤及びフィルター側にまき出さなければならない。また、大塊は、堤体外周側になるようにまき出さなければならない。</p>	<p>受注者は、巻出しにあたっては、ダム軸と平行に、平らな面となるように施工しなければならない。</p> <p>3. 巻出し厚と転圧 受注者は、巻出し厚、転圧機械及び転圧回数については、設計図書によらなければならない。</p> <p>4. 大塊・小塊の巻だし 受注者は、小塊を基礎地盤または基礎岩盤及びフィルター側に巻出さなければならない。また、大塊は、堤体外周側になるように巻出さなければならない。</p>																																																																																																													
<p style="text-align: center;"><b>第7編 道 路 編</b></p> <p style="text-align: center;"><b>第1章 道路改良</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、設計図書において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と協議しなければならない。</p> <table border="0"> <tr><td>地盤工学会</td><td>グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説</td><td>(平成24年5月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工要綱</td><td>(平成21年6月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工一切土工・斜面安定工指針</td><td>(平成21年6月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工盛土工指針</td><td>(平成22年4月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工擁壁工指針</td><td>(平成24年7月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工カルバート工指針</td><td>(平成22年3月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工仮設構造物工指針</td><td>(平成11年3月)</td></tr> <tr><td>全日本建設技術協会</td><td>土木構造物標準設計 第2巻</td><td>(平成12年9月)</td></tr> <tr><td>全国特定法面保護協会</td><td>のり枠工の設計施工指針</td><td>(平成25年10月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>落石対策便覧</td><td>(平成29年12月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>鋼道路橋防食便覧</td><td>(平成26年3月)</td></tr> <tr><td>土木研究センター</td><td>ジオテキスタイルを用いた補強土の設計施工マニュアル</td><td>(平成25年12月)</td></tr> <tr><td>土木研究センター</td><td>補強土(テールアルメ)壁工法 設計・施工マニュアル</td><td>(平成26年8月)</td></tr> <tr><td>土木研究センター</td><td>多数アンカー式補強土壁工法設計・施工マニュアル</td><td>(平成26年8月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路防雪便覧</td><td>(平成2年5月)</td></tr> <tr><td>日本建設機械化協会</td><td>除雪・防雪ハンドブック(除雪編)</td><td>(平成16年12月)</td></tr> <tr><td>日本建設機械化協会</td><td>除雪・防雪ハンドブック(防雪編)</td><td>(平成16年12月)</td></tr> <tr><td>日本みち研究所</td><td>補訂版道路のデザイナー道路デザイン指針(案)とその解説</td><td>(平成29年11月)</td></tr> </table>	地盤工学会	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説	(平成24年5月)	日本道路協会	道路土工要綱	(平成21年6月)	日本道路協会	道路土工一切土工・斜面安定工指針	(平成21年6月)	日本道路協会	道路土工盛土工指針	(平成22年4月)	日本道路協会	道路土工擁壁工指針	(平成24年7月)	日本道路協会	道路土工カルバート工指針	(平成22年3月)	日本道路協会	道路土工仮設構造物工指針	(平成11年3月)	全日本建設技術協会	土木構造物標準設計 第2巻	(平成12年9月)	全国特定法面保護協会	のり枠工の設計施工指針	(平成25年10月)	日本道路協会	落石対策便覧	(平成29年12月)	日本道路協会	鋼道路橋防食便覧	(平成26年3月)	土木研究センター	ジオテキスタイルを用いた補強土の設計施工マニュアル	(平成25年12月)	土木研究センター	補強土(テールアルメ)壁工法 設計・施工マニュアル	(平成26年8月)	土木研究センター	多数アンカー式補強土壁工法設計・施工マニュアル	(平成26年8月)	日本道路協会	道路防雪便覧	(平成2年5月)	日本建設機械化協会	除雪・防雪ハンドブック(除雪編)	(平成16年12月)	日本建設機械化協会	除雪・防雪ハンドブック(防雪編)	(平成16年12月)	日本みち研究所	補訂版道路のデザイナー道路デザイン指針(案)とその解説	(平成29年11月)	<p style="text-align: center;"><b>第7編 道 路 編</b></p> <p style="text-align: center;"><b>第1章 道路改良</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、設計図書において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。</p> <p>また、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と協議しなければならない。</p> <table border="0"> <tr><td>地盤工学会</td><td>グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説</td><td>(平成24年5月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工要綱</td><td>(平成21年6月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工一切土工・斜面安定工指針</td><td>(平成21年6月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工盛土工指針</td><td>(平成22年4月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工擁壁工指針</td><td>(平成24年7月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工カルバート工指針</td><td>(平成22年3月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工仮設構造物工指針</td><td>(平成11年3月)</td></tr> <tr><td>全日本建設技術協会</td><td>土木構造物標準設計 第2巻</td><td>(平成12年9月)</td></tr> <tr><td>全国特定法面保護協会</td><td>のり枠工の設計・施工指針</td><td>(平成25年10月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>落石対策便覧</td><td>(平成29年12月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>鋼道路橋防食便覧</td><td>(平成26年3月)</td></tr> <tr><td>土木研究センター</td><td>ジオテキスタイルを用いた補強土の設計施工マニュアル</td><td>(平成25年12月)</td></tr> <tr><td>土木研究センター</td><td>補強土(テールアルメ)壁工法 設計・施工マニュアル</td><td>(平成26年8月)</td></tr> <tr><td>土木研究センター</td><td>多数アンカー式補強土壁工法設計・施工マニュアル</td><td>(平成26年8月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路防雪便覧</td><td>(平成2年5月)</td></tr> <tr><td>日本建設機械化協会</td><td>除雪・防雪ハンドブック(除雪編)</td><td>(平成16年12月)</td></tr> <tr><td>日本建設機械化協会</td><td>除雪・防雪ハンドブック(防雪編)</td><td>(平成16年12月)</td></tr> <tr><td>日本みち研究所</td><td>補訂版道路のデザイナー道路デザイン指針(案)とその解説</td><td>(平成29年11月)</td></tr> </table>	地盤工学会	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説	(平成24年5月)	日本道路協会	道路土工要綱	(平成21年6月)	日本道路協会	道路土工一切土工・斜面安定工指針	(平成21年6月)	日本道路協会	道路土工盛土工指針	(平成22年4月)	日本道路協会	道路土工擁壁工指針	(平成24年7月)	日本道路協会	道路土工カルバート工指針	(平成22年3月)	日本道路協会	道路土工仮設構造物工指針	(平成11年3月)	全日本建設技術協会	土木構造物標準設計 第2巻	(平成12年9月)	全国特定法面保護協会	のり枠工の設計・施工指針	(平成25年10月)	日本道路協会	落石対策便覧	(平成29年12月)	日本道路協会	鋼道路橋防食便覧	(平成26年3月)	土木研究センター	ジオテキスタイルを用いた補強土の設計施工マニュアル	(平成25年12月)	土木研究センター	補強土(テールアルメ)壁工法 設計・施工マニュアル	(平成26年8月)	土木研究センター	多数アンカー式補強土壁工法設計・施工マニュアル	(平成26年8月)	日本道路協会	道路防雪便覧	(平成2年5月)	日本建設機械化協会	除雪・防雪ハンドブック(除雪編)	(平成16年12月)	日本建設機械化協会	除雪・防雪ハンドブック(防雪編)	(平成16年12月)	日本みち研究所	補訂版道路のデザイナー道路デザイン指針(案)とその解説	(平成29年11月)	
地盤工学会	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説	(平成24年5月)																																																																																																												
日本道路協会	道路土工要綱	(平成21年6月)																																																																																																												
日本道路協会	道路土工一切土工・斜面安定工指針	(平成21年6月)																																																																																																												
日本道路協会	道路土工盛土工指針	(平成22年4月)																																																																																																												
日本道路協会	道路土工擁壁工指針	(平成24年7月)																																																																																																												
日本道路協会	道路土工カルバート工指針	(平成22年3月)																																																																																																												
日本道路協会	道路土工仮設構造物工指針	(平成11年3月)																																																																																																												
全日本建設技術協会	土木構造物標準設計 第2巻	(平成12年9月)																																																																																																												
全国特定法面保護協会	のり枠工の設計施工指針	(平成25年10月)																																																																																																												
日本道路協会	落石対策便覧	(平成29年12月)																																																																																																												
日本道路協会	鋼道路橋防食便覧	(平成26年3月)																																																																																																												
土木研究センター	ジオテキスタイルを用いた補強土の設計施工マニュアル	(平成25年12月)																																																																																																												
土木研究センター	補強土(テールアルメ)壁工法 設計・施工マニュアル	(平成26年8月)																																																																																																												
土木研究センター	多数アンカー式補強土壁工法設計・施工マニュアル	(平成26年8月)																																																																																																												
日本道路協会	道路防雪便覧	(平成2年5月)																																																																																																												
日本建設機械化協会	除雪・防雪ハンドブック(除雪編)	(平成16年12月)																																																																																																												
日本建設機械化協会	除雪・防雪ハンドブック(防雪編)	(平成16年12月)																																																																																																												
日本みち研究所	補訂版道路のデザイナー道路デザイン指針(案)とその解説	(平成29年11月)																																																																																																												
地盤工学会	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説	(平成24年5月)																																																																																																												
日本道路協会	道路土工要綱	(平成21年6月)																																																																																																												
日本道路協会	道路土工一切土工・斜面安定工指針	(平成21年6月)																																																																																																												
日本道路協会	道路土工盛土工指針	(平成22年4月)																																																																																																												
日本道路協会	道路土工擁壁工指針	(平成24年7月)																																																																																																												
日本道路協会	道路土工カルバート工指針	(平成22年3月)																																																																																																												
日本道路協会	道路土工仮設構造物工指針	(平成11年3月)																																																																																																												
全日本建設技術協会	土木構造物標準設計 第2巻	(平成12年9月)																																																																																																												
全国特定法面保護協会	のり枠工の設計・施工指針	(平成25年10月)																																																																																																												
日本道路協会	落石対策便覧	(平成29年12月)																																																																																																												
日本道路協会	鋼道路橋防食便覧	(平成26年3月)																																																																																																												
土木研究センター	ジオテキスタイルを用いた補強土の設計施工マニュアル	(平成25年12月)																																																																																																												
土木研究センター	補強土(テールアルメ)壁工法 設計・施工マニュアル	(平成26年8月)																																																																																																												
土木研究センター	多数アンカー式補強土壁工法設計・施工マニュアル	(平成26年8月)																																																																																																												
日本道路協会	道路防雪便覧	(平成2年5月)																																																																																																												
日本建設機械化協会	除雪・防雪ハンドブック(除雪編)	(平成16年12月)																																																																																																												
日本建設機械化協会	除雪・防雪ハンドブック(防雪編)	(平成16年12月)																																																																																																												
日本みち研究所	補訂版道路のデザイナー道路デザイン指針(案)とその解説	(平成29年11月)																																																																																																												



現 行	改 定	摘 要
<p style="text-align: right;">日本みち研究所 景観に配慮した道路付属物等ガイドライン (平成29年11月)</p> <p><b>第5節 排水構造物工（路面排水工）</b>  <b>7-2-5-1 一般事項</b>  2. 適用規定  排水構造物工（路面排水工）の施工については、道路土工要領の排水施設の施工の規定及び本編 7-2-5-3側溝工、7-2-5-5集水柵（街渠柵）・マンホール工の規定による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p><b>第8節 防護柵工</b>  <b>7-2-8-1 一般事項</b>  3. 適用規定  受注者は、防護柵工の施工にあたって、「防護柵の設置基準・同解説／ポラードの設置便覧 4-1. 施工」（日本道路協会、令和3年3月）の規定、「道路土工要綱 第5章施工計画」（日本道路協会、平成21年6月）の規定及び第3編3-2-3-8路側防護柵工、3-2-3-7防止柵工の規定による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p><b>第9節 標識工</b>  <b>7-2-9-1 一般事項</b>  3. 適用規定  受注者は、標識工の施工にあたって、「道路標識設置基準・同解説 第4章道路標識の設計、施工」（日本道路協会、令和2年6月）の規定、「道路土工要綱 第5章施工計画」（日本道路協会、平成21年6月）の規定、第3編3-2-3-6小型標識工、第3編3-2-3-3作業土工（床掘り・埋戻し）、3-2-10-5土留・仮締切工の規定、及び「道路標識ハンドブック」（全国道路標識・標示業協会、令和元年8月）による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p><b>第10節 区画線工</b>  <b>7-2-10-1 一般事項</b>  3. 適用規定  受注者は、区画線工の施工にあたって、「道路標識・区画線及び道路表示に関する命令」、及び第3編3-2-3-9区画線工の規定による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p><b>7-2-10-2 区画線工</b>  2. 区画線の指示方法  区画線の指示方法について<b>設計図書</b>に示されていない事項は「道路標識・区画線及び道路標示に関する命令」により施工する。</p>	<p style="text-align: right;">日本みち研究所 景観に配慮した道路付属物等ガイドライン (平成29年11月)</p> <p><b>第5節 排水構造物工（路面排水工）</b>  <b>7-2-5-1 一般事項</b>  2. 適用規定  排水構造物工（路面排水工）の施工については、道路土工要領の排水施設の施工の規定及び本編 <b>7編</b>7-2-5-3側溝工、<b>7編</b>7-2-5-5集水柵（街渠柵）・マンホール工の規定による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p><b>第8節 防護柵工</b>  <b>7-2-8-1 一般事項</b>  3. 適用規定  受注者は、防護柵工の施工にあたって、「防護柵の設置基準・同解説／ポラードの設置便覧 4-1. 施工」（日本道路協会、令和3年3月）の規定、「道路土工要綱 第5章施工計画」（日本道路協会、平成21年6月）の規定及び第3編3-2-3-8路側防護柵工、<b>第3編</b>3-2-3-7防止柵工の規定による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p><b>第9節 標識工</b>  <b>7-2-9-1 一般事項</b>  3. 適用規定  受注者は、標識工の施工にあたって、「道路標識設置基準・同解説 第4章道路標識の設計、施工」（日本道路協会、令和2年6月）の規定、「道路土工要綱 第5章施工計画」（日本道路協会、平成21年6月）の規定、<b>第3編</b>3-2-3-6小型標識工、<b>第3編</b>3-2-3-3作業土工（床掘り・埋戻し）、<b>第3編</b>3-2-10-5土留・仮締切工の規定、及び「道路標識ハンドブック」（全国道路標識・標示業協会、令和4年1月）による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p><b>第10節 区画線工</b>  <b>7-2-10-1 一般事項</b>  3. 適用規定  受注者は、区画線工の施工にあたって、「道路標識、<b>区画線</b>及び道路表示に関する命令」、及び第3編3-2-3-9区画線工の規定による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p><b>7-2-10-2 区画線工</b>  2. 区画線の指示方法  区画線の指示方法について<b>設計図書</b>に示されていない事項は「道路標識、<b>区画線</b>及び道路標示に関する命令」により施工する。</p>	

現 行	改 定	摘 要																																																																																																						
<p style="text-align: center;"><b>第3章 橋梁下部</b></p> <p><b>第1節 適 用</b></p> <p>5. 強度測定</p> <p>(2) 微破壊・非破壊試験は「微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領」(以下、「要領」という。)に従い行わなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第4章 鋼橋上部</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <table border="0"> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋示方書・同解説 (I 共通編)</td><td>(平成29年11月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋示方書・同解説 (I 鋼橋・鋼部材編)</td><td>(平成29年11月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋示方書・同解説 (V 耐震設計編)</td><td>(平成29年11月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>鋼道路橋施工便覧</td><td>(令和2年9月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>鋼道路橋設計便覧</td><td>(令和2年9月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋支承便覧</td><td>(平成31年2月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>鋼道路橋防食便覧</td><td>(平成26年3月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路照明施設設置基準・同解説</td><td>(平成19年10月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>防護柵の設置基準・同解説/ボラードの設置便覧</td><td>(令和3年3月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>立体横断施設技術基準・同解説</td><td>(昭和54年1月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋床版防水便覧</td><td>(平成19年3月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>鋼道路橋の疲労設計便覧</td><td>(令和2年9月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋伸縮装置便覧</td><td>(昭和45年4月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>小規模吊橋指針・同解説</td><td>(昭和59年4月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋ケーブル構造便覧</td><td>(令和3年10月)</td></tr> <tr><td>日本みち研究所</td><td>補訂版 道路のデザインー道路デザイン指針(案)とその解説ー</td><td>(平成29年11月)</td></tr> <tr><td>日本みち研究所</td><td>景観に配慮した道路付属物等ガイドライン</td><td>(平成29年11月)</td></tr> </table> <p style="text-align: center;"><b>第6章 トンネル (N A T M)</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、</p>	日本道路協会	道路橋示方書・同解説 (I 共通編)	(平成29年11月)	日本道路協会	道路橋示方書・同解説 (I 鋼橋・鋼部材編)	(平成29年11月)	日本道路協会	道路橋示方書・同解説 (V 耐震設計編)	(平成29年11月)	日本道路協会	鋼道路橋施工便覧	(令和2年9月)	日本道路協会	鋼道路橋設計便覧	(令和2年9月)	日本道路協会	道路橋支承便覧	(平成31年2月)	日本道路協会	鋼道路橋防食便覧	(平成26年3月)	日本道路協会	道路照明施設設置基準・同解説	(平成19年10月)	日本道路協会	防護柵の設置基準・同解説/ボラードの設置便覧	(令和3年3月)	日本道路協会	立体横断施設技術基準・同解説	(昭和54年1月)	日本道路協会	道路橋床版防水便覧	(平成19年3月)	日本道路協会	鋼道路橋の疲労設計便覧	(令和2年9月)	日本道路協会	道路橋伸縮装置便覧	(昭和45年4月)	日本道路協会	小規模吊橋指針・同解説	(昭和59年4月)	日本道路協会	道路橋ケーブル構造便覧	(令和3年10月)	日本みち研究所	補訂版 道路のデザインー道路デザイン指針(案)とその解説ー	(平成29年11月)	日本みち研究所	景観に配慮した道路付属物等ガイドライン	(平成29年11月)	<p style="text-align: center;"><b>第3章 橋梁下部</b></p> <p><b>第1節 適 用</b></p> <p>5. 強度測定</p> <p>(2) 微破壊・非破壊試験は「微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領」(以下、「要領」という。)(国土交通省、平成30年10月)に従い行わなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第4章 鋼橋上部</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <table border="0"> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋示方書・同解説 (I 共通編)</td><td>(平成29年11月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋示方書・同解説 (I 鋼橋・鋼部材編)</td><td>(平成29年11月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋示方書・同解説 (V 耐震設計編)</td><td>(平成29年11月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>鋼道路橋施工便覧</td><td>(令和2年9月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>鋼道路橋設計便覧</td><td>(令和2年9月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋支承便覧</td><td>(平成31年2月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>鋼道路橋防食便覧</td><td>(平成26年3月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路照明施設設置基準・同解説</td><td>(平成19年10月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>防護柵の設置基準・同解説/ボラードの設置便覧</td><td>(令和3年3月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>立体横断施設技術基準・同解説</td><td>(昭和54年1月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋床版防水便覧</td><td>(平成19年3月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>鋼道路橋疲労設計便覧</td><td>(令和2年9月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋伸縮装置便覧</td><td>(昭和45年4月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>小規模吊橋指針・同解説</td><td>(昭和59年4月)</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋ケーブル構造便覧</td><td>(令和3年10月)</td></tr> <tr><td>日本みち研究所</td><td>補訂版 道路のデザインー道路デザイン指針(案)とその解説ー</td><td>(平成29年11月)</td></tr> <tr><td>日本みち研究所</td><td>景観に配慮した道路付属物等ガイドライン</td><td>(平成29年11月)</td></tr> </table> <p style="text-align: center;"><b>第6章 トンネル (N A T M)</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p>	日本道路協会	道路橋示方書・同解説 (I 共通編)	(平成29年11月)	日本道路協会	道路橋示方書・同解説 (I 鋼橋・鋼部材編)	(平成29年11月)	日本道路協会	道路橋示方書・同解説 (V 耐震設計編)	(平成29年11月)	日本道路協会	鋼道路橋施工便覧	(令和2年9月)	日本道路協会	鋼道路橋設計便覧	(令和2年9月)	日本道路協会	道路橋支承便覧	(平成31年2月)	日本道路協会	鋼道路橋防食便覧	(平成26年3月)	日本道路協会	道路照明施設設置基準・同解説	(平成19年10月)	日本道路協会	防護柵の設置基準・同解説/ボラードの設置便覧	(令和3年3月)	日本道路協会	立体横断施設技術基準・同解説	(昭和54年1月)	日本道路協会	道路橋床版防水便覧	(平成19年3月)	日本道路協会	鋼道路橋疲労設計便覧	(令和2年9月)	日本道路協会	道路橋伸縮装置便覧	(昭和45年4月)	日本道路協会	小規模吊橋指針・同解説	(昭和59年4月)	日本道路協会	道路橋ケーブル構造便覧	(令和3年10月)	日本みち研究所	補訂版 道路のデザインー道路デザイン指針(案)とその解説ー	(平成29年11月)	日本みち研究所	景観に配慮した道路付属物等ガイドライン	(平成29年11月)	
日本道路協会	道路橋示方書・同解説 (I 共通編)	(平成29年11月)																																																																																																						
日本道路協会	道路橋示方書・同解説 (I 鋼橋・鋼部材編)	(平成29年11月)																																																																																																						
日本道路協会	道路橋示方書・同解説 (V 耐震設計編)	(平成29年11月)																																																																																																						
日本道路協会	鋼道路橋施工便覧	(令和2年9月)																																																																																																						
日本道路協会	鋼道路橋設計便覧	(令和2年9月)																																																																																																						
日本道路協会	道路橋支承便覧	(平成31年2月)																																																																																																						
日本道路協会	鋼道路橋防食便覧	(平成26年3月)																																																																																																						
日本道路協会	道路照明施設設置基準・同解説	(平成19年10月)																																																																																																						
日本道路協会	防護柵の設置基準・同解説/ボラードの設置便覧	(令和3年3月)																																																																																																						
日本道路協会	立体横断施設技術基準・同解説	(昭和54年1月)																																																																																																						
日本道路協会	道路橋床版防水便覧	(平成19年3月)																																																																																																						
日本道路協会	鋼道路橋の疲労設計便覧	(令和2年9月)																																																																																																						
日本道路協会	道路橋伸縮装置便覧	(昭和45年4月)																																																																																																						
日本道路協会	小規模吊橋指針・同解説	(昭和59年4月)																																																																																																						
日本道路協会	道路橋ケーブル構造便覧	(令和3年10月)																																																																																																						
日本みち研究所	補訂版 道路のデザインー道路デザイン指針(案)とその解説ー	(平成29年11月)																																																																																																						
日本みち研究所	景観に配慮した道路付属物等ガイドライン	(平成29年11月)																																																																																																						
日本道路協会	道路橋示方書・同解説 (I 共通編)	(平成29年11月)																																																																																																						
日本道路協会	道路橋示方書・同解説 (I 鋼橋・鋼部材編)	(平成29年11月)																																																																																																						
日本道路協会	道路橋示方書・同解説 (V 耐震設計編)	(平成29年11月)																																																																																																						
日本道路協会	鋼道路橋施工便覧	(令和2年9月)																																																																																																						
日本道路協会	鋼道路橋設計便覧	(令和2年9月)																																																																																																						
日本道路協会	道路橋支承便覧	(平成31年2月)																																																																																																						
日本道路協会	鋼道路橋防食便覧	(平成26年3月)																																																																																																						
日本道路協会	道路照明施設設置基準・同解説	(平成19年10月)																																																																																																						
日本道路協会	防護柵の設置基準・同解説/ボラードの設置便覧	(令和3年3月)																																																																																																						
日本道路協会	立体横断施設技術基準・同解説	(昭和54年1月)																																																																																																						
日本道路協会	道路橋床版防水便覧	(平成19年3月)																																																																																																						
日本道路協会	鋼道路橋疲労設計便覧	(令和2年9月)																																																																																																						
日本道路協会	道路橋伸縮装置便覧	(昭和45年4月)																																																																																																						
日本道路協会	小規模吊橋指針・同解説	(昭和59年4月)																																																																																																						
日本道路協会	道路橋ケーブル構造便覧	(令和3年10月)																																																																																																						
日本みち研究所	補訂版 道路のデザインー道路デザイン指針(案)とその解説ー	(平成29年11月)																																																																																																						
日本みち研究所	景観に配慮した道路付属物等ガイドライン	(平成29年11月)																																																																																																						

現 行	改 定	摘 要
<p>疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <p>建設省 道路トンネル技術基準 (平成元年5月)</p> <p>日本道路協会 道路トンネル技術基準 (構造編)・同解説 (平成15年11月)</p> <p>日本道路協会 道路トンネル非常用施設設置基準・同解説 (令和元年9月)</p> <p>土木学会 トンネル標準示方書 山岳工法編・同解説 [2016年制定] (平成28年8月)</p> <p>土木学会 トンネル標準示方書 開削工法編・同解説 [2016年制定] (平成28年8月)</p> <p>土木学会 トンネル標準示方書 シールド工法編・同解説 [2016年制定] (平成28年8月)</p> <p>日本道路協会 道路トンネル観察・計測指針 (平成21年2月)</p> <p>建設省 道路トンネルにおける非常用施設 (警報装置) の標準仕様 (昭和43年12月)</p> <p>国土交通省 道路トンネル非常用施設設置基準 (平成31年3月)</p> <p>日本道路協会 道路土工—擁壁工指針 (平成24年7月)</p> <p>日本道路協会 道路土工—カルバート工指針 (平成22年3月)</p> <p>日本道路協会 道路土工—仮設構造物工指針 (平成11年3月)</p> <p>建設業労働災害防止協会 ずい道等建設工事における換気技術指針 (換気技術の設計及び粉じん等の測定) (令和3年4月)</p> <p>日本道路協会 道路トンネル安全施工技術指針 (平成8年10月)</p> <p>厚生労働省 ずい道等建設工事における粉じん対策に関するガイドライン (令和2年7月)</p> <p>日本みち研究所 補訂版 道路のデザイン—道路デザイン指針 (案) とその解説— (平成29年11月)</p> <p>日本みち研究所 景観に配慮した道路付属物等ガイドライン (平成29年11月)</p> <p>厚生労働省 山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン (平成30年1月)</p>	<p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <p>建設省 道路トンネル技術基準 (平成元年5月)</p> <p>日本道路協会 道路トンネル技術基準 (構造編)・同解説 (平成15年11月)</p> <p>日本道路協会 道路トンネル非常用施設設置基準・同解説 (令和元年9月)</p> <p>土木学会 トンネル標準示方書 山岳工法編・同解説 [2016年制定] (平成28年8月)</p> <p>土木学会 トンネル標準示方書 開削工法編・同解説 [2016年制定] (平成28年8月)</p> <p>土木学会 トンネル標準示方書 シールド工法編・同解説 [2016年制定] (平成28年8月)</p> <p>日本道路協会 道路トンネル観察・計測指針 (平成21年2月)</p> <p>建設省 道路トンネルにおける非常用施設 (警報装置) の標準仕様 (昭和43年12月)</p> <p>国土交通省 道路トンネル非常用施設設置基準 (平成31年3月)</p> <p>日本道路協会 道路土工—擁壁工指針 (平成24年7月)</p> <p>日本道路協会 道路土工—カルバート工指針 (平成22年3月)</p> <p>日本道路協会 道路土工—仮設構造物工指針 (平成11年3月)</p> <p>建設業労働災害防止協会 ずい道等建設工事における換気技術指針 (換気技術の設計及び粉じん等の測定) (令和3年4月)</p> <p>日本道路協会 道路トンネル安全施工技術指針 (平成8年10月)</p> <p>厚生労働省 ずい道等建設工事における粉じん対策に関するガイドライン (令和2年7月)</p> <p>日本みち研究所 補訂版 道路のデザイン—道路デザイン指針 (案) とその解説— (平成29年11月)</p> <p>日本みち研究所 景観に配慮した道路付属物等ガイドライン (平成29年11月)</p> <p>厚生労働省 山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン (平成30年1月)</p>	
<p><b>第3節 トンネル掘削工</b></p> <p><b>7-6-3-2 掘削工</b></p> <p>1. 一般事項</p> <p>受注者は、トンネル掘削により地山をゆるめないように施工するとともに、過度の爆破を<b>さ</b>げ、余掘を少なくするよう施工しなければならない。</p> <p>また、余掘が生じた場合は、受注者はこれに対する適切な処理を行うものとする。</p> <p><b>第5節 覆工</b></p> <p>(新規)</p>	<p><b>第3節 トンネル掘削工</b></p> <p><b>7-6-3-2 掘削工</b></p> <p>1. 一般事項</p> <p>受注者は、トンネル掘削により地山をゆるめないように施工するとともに、過度の爆破を<b>避</b>け、余掘を少なくするよう施工しなければならない。</p> <p>また、余掘が生じた場合は、受注者はこれに対する適切な処理を行うものとする。</p> <p><b>第5節 覆工</b></p>	

現 行	改 定	摘 要																																																																																																																								
<p>11. 打設時期</p> <p>受注者は、覆工コンクリートの打設時期を計測（A）の結果に基づき、<b>設計図書</b>に関して監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第7章 コンクリートシェッド</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <table border="0"> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路橋示方書・同解説（Ⅲコンクリート橋・コンクリート部材編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路橋示方書・同解説（Ⅴ耐震設計編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路土工要綱</td> <td>（平成21年6月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路土工－擁壁工指針</td> <td>（平成24年7月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路土工－カルバート工指針</td> <td>（平成22年3月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路土工－仮設構造物工指針</td> <td>（平成11年3月）</td> </tr> <tr> <td>土木学会</td> <td>プレストレストコンクリート工法設計施工指針</td> <td>（平成3年4月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>杭基礎施工便覧</td> <td>（令和2年9月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>杭基礎設計便覧</td> <td>（令和2年9月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>コンクリート道路橋設計便覧</td> <td>（令和2年9月）</td> </tr> <tr> <td>土木学会</td> <td>コンクリート標準示方書（設計編）</td> <td>（平成30年3月）</td> </tr> <tr> <td>土木学会</td> <td>コンクリート標準示方書（施工編）</td> <td>（平成30年3月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>落石対策便覧</td> <td>（平成12年6月）</td> </tr> <tr> <td>日本建設機械化協会</td> <td>除雪・防雪ハンドブック（防雪編）</td> <td>（平成16年12月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路橋支承便覧</td> <td>（平成31年2月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路防雪便覧</td> <td>（平成2年5月）</td> </tr> <tr> <td>日本みち研究所</td> <td>補訂版 道路のデザイナー－道路デザイン指針（案）とその解説－</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本みち研究所</td> <td>景観に配慮した道路付属物等ガイドライン</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> </table>	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）	（平成29年11月）	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅲコンクリート橋・コンクリート部材編）	（平成29年11月）	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）	（平成29年11月）	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅴ耐震設計編）	（平成29年11月）	日本道路協会	道路土工要綱	（平成21年6月）	日本道路協会	道路土工－擁壁工指針	（平成24年7月）	日本道路協会	道路土工－カルバート工指針	（平成22年3月）	日本道路協会	道路土工－仮設構造物工指針	（平成11年3月）	土木学会	プレストレストコンクリート工法設計施工指針	（平成3年4月）	日本道路協会	杭基礎施工便覧	（令和2年9月）	日本道路協会	杭基礎設計便覧	（令和2年9月）	日本道路協会	コンクリート道路橋設計便覧	（令和2年9月）	土木学会	コンクリート標準示方書（設計編）	（平成30年3月）	土木学会	コンクリート標準示方書（施工編）	（平成30年3月）	日本道路協会	落石対策便覧	（平成12年6月）	日本建設機械化協会	除雪・防雪ハンドブック（防雪編）	（平成16年12月）	日本道路協会	道路橋支承便覧	（平成31年2月）	日本道路協会	道路防雪便覧	（平成2年5月）	日本みち研究所	補訂版 道路のデザイナー－道路デザイン指針（案）とその解説－	（平成29年11月）	日本みち研究所	景観に配慮した道路付属物等ガイドライン	（平成29年11月）	<p>11. 横断目地</p> <p>トンネル覆工コンクリートの目地の形状は「三角形形状」を標準とする。</p> <p>なお、これによりがたい場合は、監督職員と協議しなければならない。</p> <p>12. 打設時期</p> <p>受注者は、覆工コンクリートの打設時期を計測（A）の結果に基づき、<b>設計図書</b>に関して監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第7章 コンクリートシェッド</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <table border="0"> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路橋示方書・同解説（Ⅲコンクリート橋・コンクリート部材編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路橋示方書・同解説（Ⅴ耐震設計編）</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路土工要綱</td> <td>（平成21年6月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路土工－擁壁工指針</td> <td>（平成24年7月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路土工－カルバート工指針</td> <td>（平成22年3月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路土工－仮設構造物工指針</td> <td>（平成11年3月）</td> </tr> <tr> <td>土木学会</td> <td>プレストレストコンクリート工法設計施工指針</td> <td>（平成3年4月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>杭基礎施工便覧</td> <td>（令和2年9月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>杭基礎設計便覧</td> <td>（令和2年9月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>コンクリート道路橋設計便覧</td> <td>（令和2年9月）</td> </tr> <tr> <td>土木学会</td> <td>コンクリート標準示方書（設計編）</td> <td>〔2017年制定〕（2018年3月）</td> </tr> <tr> <td>土木学会</td> <td>コンクリート標準示方書（施工編）</td> <td>〔2017年制定〕（2018年3月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>落石対策便覧</td> <td>（平成29年6月）</td> </tr> <tr> <td>日本建設機械化協会</td> <td>除雪・防雪ハンドブック（防雪編）</td> <td>（平成16年12月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路橋支承便覧</td> <td>（平成31年2月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会</td> <td>道路防雪便覧</td> <td>（平成2年5月）</td> </tr> <tr> <td>日本みち研究所</td> <td>補訂版 道路のデザイナー－道路デザイン指針（案）とその解説－</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本みち研究所</td> <td>景観に配慮した道路付属物等ガイドライン</td> <td>（平成29年11月）</td> </tr> </table>	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）	（平成29年11月）	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅲコンクリート橋・コンクリート部材編）	（平成29年11月）	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）	（平成29年11月）	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅴ耐震設計編）	（平成29年11月）	日本道路協会	道路土工要綱	（平成21年6月）	日本道路協会	道路土工－擁壁工指針	（平成24年7月）	日本道路協会	道路土工－カルバート工指針	（平成22年3月）	日本道路協会	道路土工－仮設構造物工指針	（平成11年3月）	土木学会	プレストレストコンクリート工法設計施工指針	（平成3年4月）	日本道路協会	杭基礎施工便覧	（令和2年9月）	日本道路協会	杭基礎設計便覧	（令和2年9月）	日本道路協会	コンクリート道路橋設計便覧	（令和2年9月）	土木学会	コンクリート標準示方書（設計編）	〔2017年制定〕（2018年3月）	土木学会	コンクリート標準示方書（施工編）	〔2017年制定〕（2018年3月）	日本道路協会	落石対策便覧	（平成29年6月）	日本建設機械化協会	除雪・防雪ハンドブック（防雪編）	（平成16年12月）	日本道路協会	道路橋支承便覧	（平成31年2月）	日本道路協会	道路防雪便覧	（平成2年5月）	日本みち研究所	補訂版 道路のデザイナー－道路デザイン指針（案）とその解説－	（平成29年11月）	日本みち研究所	景観に配慮した道路付属物等ガイドライン	（平成29年11月）	
日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）	（平成29年11月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅲコンクリート橋・コンクリート部材編）	（平成29年11月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）	（平成29年11月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅴ耐震設計編）	（平成29年11月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路土工要綱	（平成21年6月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路土工－擁壁工指針	（平成24年7月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路土工－カルバート工指針	（平成22年3月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路土工－仮設構造物工指針	（平成11年3月）																																																																																																																								
土木学会	プレストレストコンクリート工法設計施工指針	（平成3年4月）																																																																																																																								
日本道路協会	杭基礎施工便覧	（令和2年9月）																																																																																																																								
日本道路協会	杭基礎設計便覧	（令和2年9月）																																																																																																																								
日本道路協会	コンクリート道路橋設計便覧	（令和2年9月）																																																																																																																								
土木学会	コンクリート標準示方書（設計編）	（平成30年3月）																																																																																																																								
土木学会	コンクリート標準示方書（施工編）	（平成30年3月）																																																																																																																								
日本道路協会	落石対策便覧	（平成12年6月）																																																																																																																								
日本建設機械化協会	除雪・防雪ハンドブック（防雪編）	（平成16年12月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路橋支承便覧	（平成31年2月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路防雪便覧	（平成2年5月）																																																																																																																								
日本みち研究所	補訂版 道路のデザイナー－道路デザイン指針（案）とその解説－	（平成29年11月）																																																																																																																								
日本みち研究所	景観に配慮した道路付属物等ガイドライン	（平成29年11月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）	（平成29年11月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅲコンクリート橋・コンクリート部材編）	（平成29年11月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）	（平成29年11月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅴ耐震設計編）	（平成29年11月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路土工要綱	（平成21年6月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路土工－擁壁工指針	（平成24年7月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路土工－カルバート工指針	（平成22年3月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路土工－仮設構造物工指針	（平成11年3月）																																																																																																																								
土木学会	プレストレストコンクリート工法設計施工指針	（平成3年4月）																																																																																																																								
日本道路協会	杭基礎施工便覧	（令和2年9月）																																																																																																																								
日本道路協会	杭基礎設計便覧	（令和2年9月）																																																																																																																								
日本道路協会	コンクリート道路橋設計便覧	（令和2年9月）																																																																																																																								
土木学会	コンクリート標準示方書（設計編）	〔2017年制定〕（2018年3月）																																																																																																																								
土木学会	コンクリート標準示方書（施工編）	〔2017年制定〕（2018年3月）																																																																																																																								
日本道路協会	落石対策便覧	（平成29年6月）																																																																																																																								
日本建設機械化協会	除雪・防雪ハンドブック（防雪編）	（平成16年12月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路橋支承便覧	（平成31年2月）																																																																																																																								
日本道路協会	道路防雪便覧	（平成2年5月）																																																																																																																								
日本みち研究所	補訂版 道路のデザイナー－道路デザイン指針（案）とその解説－	（平成29年11月）																																																																																																																								
日本みち研究所	景観に配慮した道路付属物等ガイドライン	（平成29年11月）																																																																																																																								

現 行	改 定	摘 要																																																																																																																														
<p style="text-align: center;"><b>第8章 鋼製シェッド</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <table border="0"> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）</td><td>（平成29年11月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）</td><td>（平成29年11月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）</td><td>（平成29年11月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋示方書・同解説（Ⅴ耐震設計編）</td><td>（平成29年11月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>鋼道路橋施工便覧</td><td>（令和2年9月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>鋼道路橋設計便覧</td><td>（令和2年9月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋支承便覧</td><td>（平成31年2月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>鋼道路橋防食便覧</td><td>（平成26年3月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>立体横断施設技術基準・同解説</td><td>（昭和54年1月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>杭基礎施工便覧</td><td>（令和2年9月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>杭基礎設計便覧</td><td>（令和2年9月）</td></tr> <tr><td>日本建設機械化協会</td><td>除雪・防雪ハンドブック（防雪編）</td><td>（平成16年12月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工要綱</td><td>（平成21年6月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工－擁壁工指針</td><td>（平成24年7月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工－カルバート工指針</td><td>（平成22年3月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工－仮設構造物工指針</td><td>（平成11年3月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>斜面上の深礎基礎設計施工便覧</td><td>（令和3年10月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>落石対策便覧</td><td>（平成12年6月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路防雪便覧</td><td>（平成2年5月）</td></tr> <tr><td>日本みち研究所</td><td>補訂版 道路のデザイナー－道路デザイン指針（案）とその解説－</td><td>（平成29年11月）</td></tr> <tr><td>日本みち研究所</td><td>景観に配慮した道路付属物等ガイドライン</td><td>（平成29年11月）</td></tr> </table>	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）	（平成29年11月）	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）	（平成29年11月）	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）	（平成29年11月）	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅴ耐震設計編）	（平成29年11月）	日本道路協会	鋼道路橋施工便覧	（令和2年9月）	日本道路協会	鋼道路橋設計便覧	（令和2年9月）	日本道路協会	道路橋支承便覧	（平成31年2月）	日本道路協会	鋼道路橋防食便覧	（平成26年3月）	日本道路協会	立体横断施設技術基準・同解説	（昭和54年1月）	日本道路協会	杭基礎施工便覧	（令和2年9月）	日本道路協会	杭基礎設計便覧	（令和2年9月）	日本建設機械化協会	除雪・防雪ハンドブック（防雪編）	（平成16年12月）	日本道路協会	道路土工要綱	（平成21年6月）	日本道路協会	道路土工－擁壁工指針	（平成24年7月）	日本道路協会	道路土工－カルバート工指針	（平成22年3月）	日本道路協会	道路土工－仮設構造物工指針	（平成11年3月）	日本道路協会	斜面上の深礎基礎設計施工便覧	（令和3年10月）	日本道路協会	落石対策便覧	（平成12年6月）	日本道路協会	道路防雪便覧	（平成2年5月）	日本みち研究所	補訂版 道路のデザイナー－道路デザイン指針（案）とその解説－	（平成29年11月）	日本みち研究所	景観に配慮した道路付属物等ガイドライン	（平成29年11月）	<p style="text-align: center;"><b>第8章 鋼製シェッド</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <table border="0"> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）</td><td>（平成29年11月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）</td><td>（平成29年11月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）</td><td>（平成29年11月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋示方書・同解説（Ⅴ耐震設計編）</td><td>（平成29年11月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>鋼道路橋施工便覧</td><td>（令和2年9月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>鋼道路橋設計便覧</td><td>（令和2年9月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路橋支承便覧</td><td>（平成31年2月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>鋼道路橋防食便覧</td><td>（平成26年3月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>立体横断施設技術基準・同解説</td><td>（昭和54年1月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>杭基礎施工便覧</td><td>（令和2年9月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>杭基礎設計便覧</td><td>（令和2年9月）</td></tr> <tr><td>日本建設機械化協会</td><td>除雪・防雪ハンドブック（防雪編）</td><td>（平成16年12月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工要綱</td><td>（平成21年6月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工－擁壁工指針</td><td>（平成24年7月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工－カルバート工指針</td><td>（平成22年3月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路土工－仮設構造物工指針</td><td>（平成11年3月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>斜面上の深礎基礎設計施工便覧</td><td>（令和3年10月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>落石対策便覧</td><td>（平成29年6月）</td></tr> <tr><td>日本道路協会</td><td>道路防雪便覧</td><td>（平成2年5月）</td></tr> <tr><td>日本みち研究所</td><td>補訂版 道路のデザイナー－道路デザイン指針（案）とその解説－</td><td>（平成29年11月）</td></tr> <tr><td>日本みち研究所</td><td>景観に配慮した道路付属物等ガイドライン</td><td>（平成29年11月）</td></tr> </table>	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）	（平成29年11月）	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）	（平成29年11月）	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）	（平成29年11月）	日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅴ耐震設計編）	（平成29年11月）	日本道路協会	鋼道路橋施工便覧	（令和2年9月）	日本道路協会	鋼道路橋設計便覧	（令和2年9月）	日本道路協会	道路橋支承便覧	（平成31年2月）	日本道路協会	鋼道路橋防食便覧	（平成26年3月）	日本道路協会	立体横断施設技術基準・同解説	（昭和54年1月）	日本道路協会	杭基礎施工便覧	（令和2年9月）	日本道路協会	杭基礎設計便覧	（令和2年9月）	日本建設機械化協会	除雪・防雪ハンドブック（防雪編）	（平成16年12月）	日本道路協会	道路土工要綱	（平成21年6月）	日本道路協会	道路土工－擁壁工指針	（平成24年7月）	日本道路協会	道路土工－カルバート工指針	（平成22年3月）	日本道路協会	道路土工－仮設構造物工指針	（平成11年3月）	日本道路協会	斜面上の深礎基礎設計施工便覧	（令和3年10月）	日本道路協会	落石対策便覧	（平成29年6月）	日本道路協会	道路防雪便覧	（平成2年5月）	日本みち研究所	補訂版 道路のデザイナー－道路デザイン指針（案）とその解説－	（平成29年11月）	日本みち研究所	景観に配慮した道路付属物等ガイドライン	（平成29年11月）	
日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）	（平成29年11月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）	（平成29年11月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）	（平成29年11月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅴ耐震設計編）	（平成29年11月）																																																																																																																														
日本道路協会	鋼道路橋施工便覧	（令和2年9月）																																																																																																																														
日本道路協会	鋼道路橋設計便覧	（令和2年9月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路橋支承便覧	（平成31年2月）																																																																																																																														
日本道路協会	鋼道路橋防食便覧	（平成26年3月）																																																																																																																														
日本道路協会	立体横断施設技術基準・同解説	（昭和54年1月）																																																																																																																														
日本道路協会	杭基礎施工便覧	（令和2年9月）																																																																																																																														
日本道路協会	杭基礎設計便覧	（令和2年9月）																																																																																																																														
日本建設機械化協会	除雪・防雪ハンドブック（防雪編）	（平成16年12月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路土工要綱	（平成21年6月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路土工－擁壁工指針	（平成24年7月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路土工－カルバート工指針	（平成22年3月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路土工－仮設構造物工指針	（平成11年3月）																																																																																																																														
日本道路協会	斜面上の深礎基礎設計施工便覧	（令和3年10月）																																																																																																																														
日本道路協会	落石対策便覧	（平成12年6月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路防雪便覧	（平成2年5月）																																																																																																																														
日本みち研究所	補訂版 道路のデザイナー－道路デザイン指針（案）とその解説－	（平成29年11月）																																																																																																																														
日本みち研究所	景観に配慮した道路付属物等ガイドライン	（平成29年11月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅰ共通編）	（平成29年11月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）	（平成29年11月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅳ下部構造編）	（平成29年11月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路橋示方書・同解説（Ⅴ耐震設計編）	（平成29年11月）																																																																																																																														
日本道路協会	鋼道路橋施工便覧	（令和2年9月）																																																																																																																														
日本道路協会	鋼道路橋設計便覧	（令和2年9月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路橋支承便覧	（平成31年2月）																																																																																																																														
日本道路協会	鋼道路橋防食便覧	（平成26年3月）																																																																																																																														
日本道路協会	立体横断施設技術基準・同解説	（昭和54年1月）																																																																																																																														
日本道路協会	杭基礎施工便覧	（令和2年9月）																																																																																																																														
日本道路協会	杭基礎設計便覧	（令和2年9月）																																																																																																																														
日本建設機械化協会	除雪・防雪ハンドブック（防雪編）	（平成16年12月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路土工要綱	（平成21年6月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路土工－擁壁工指針	（平成24年7月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路土工－カルバート工指針	（平成22年3月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路土工－仮設構造物工指針	（平成11年3月）																																																																																																																														
日本道路協会	斜面上の深礎基礎設計施工便覧	（令和3年10月）																																																																																																																														
日本道路協会	落石対策便覧	（平成29年6月）																																																																																																																														
日本道路協会	道路防雪便覧	（平成2年5月）																																																																																																																														
日本みち研究所	補訂版 道路のデザイナー－道路デザイン指針（案）とその解説－	（平成29年11月）																																																																																																																														
日本みち研究所	景観に配慮した道路付属物等ガイドライン	（平成29年11月）																																																																																																																														
<p style="text-align: center;"><b>第11章 共同溝</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <table border="0"> <tr><td>日本道路協会</td><td>共同溝設計指針</td><td>（昭和61年3月）</td></tr> <tr><td>土木学会</td><td>トンネル標準示方書 シールド工法編・同解説</td><td>（平成28年8月）</td></tr> </table>	日本道路協会	共同溝設計指針	（昭和61年3月）	土木学会	トンネル標準示方書 シールド工法編・同解説	（平成28年8月）	<p style="text-align: center;"><b>第11章 共同溝</b></p> <p><b>第2節 適用すべき諸基準</b></p> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <table border="0"> <tr><td>日本道路協会</td><td>共同溝設計指針</td><td>（昭和61年3月）</td></tr> <tr><td>土木学会</td><td>トンネル標準示方書 シールド工法編・同解説</td><td>〔2016年制定〕（平成28年8月）</td></tr> </table>	日本道路協会	共同溝設計指針	（昭和61年3月）	土木学会	トンネル標準示方書 シールド工法編・同解説	〔2016年制定〕（平成28年8月）																																																																																																																			
日本道路協会	共同溝設計指針	（昭和61年3月）																																																																																																																														
土木学会	トンネル標準示方書 シールド工法編・同解説	（平成28年8月）																																																																																																																														
日本道路協会	共同溝設計指針	（昭和61年3月）																																																																																																																														
土木学会	トンネル標準示方書 シールド工法編・同解説	〔2016年制定〕（平成28年8月）																																																																																																																														

現 行	改 定	摘 要																																				
<p>日本みち研究所 補訂版 道路のデザインー道路デザイン指針（案）とその解説ー （平成29年11月）</p> <p>日本みち研究所 景観に配慮した道路付属物等ガイドライン （平成29年11月）</p> <h2 style="text-align: center;">第14章 道路維持</h2> <h3>第14節 橋梁床版工</h3> <h4>7-14-14-7 旧橋撤去工</h4> <h5>5. 落下物防止対策</h5> <p>受注者は、河川及び供用道路上等で、旧橋撤去工を行う場合は、撤去に伴い発生するアスファルト殻、コンクリート殻及び撤去に使用する資材の落下を防止する対策を講じ、河道及び交通の確保に<b>つと</b>めなければならない。</p> <h3>第20節 道路清掃工</h3> <h4>7-14-20-4 路肩整正工</h4> <p>受注者は、路肩<b>正整</b>の施工については、路面排水を良好にするため路肩の堆積土砂を削り取り、または土砂を補給して整正し、締固めを行い、<b>設計図書</b>に示す形状に仕上げなければならない。</p> <h2 style="text-align: center;">第15章 雪 寒</h2> <h3>第2節 適用すべき諸基準</h3> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>日本建設機械<b>化</b>協会 除雪・防雪ハンドブック（除雪編）</td> <td style="text-align: right;">（平成16年12月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路維持修繕要綱</td> <td style="text-align: right;">（昭和53年7月）</td> </tr> <tr> <td>日本建設機械化協会 除雪・防雪ハンドブック（防雪編）</td> <td style="text-align: right;">（平成16年12月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路防雪便覧</td> <td style="text-align: right;">（平成2年5月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 舗装設計施工指針</td> <td style="text-align: right;">（平成18年2月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 舗装の構造に関する技術基準・同解説</td> <td style="text-align: right;">（平成13年9月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 舗装施工便覧</td> <td style="text-align: right;">（平成18年2月）</td> </tr> <tr> <td>日本みち研究所 補訂版 道路のデザインー道路デザイン指針（案）とその解説ー</td> <td style="text-align: right;">（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本みち研究所 景観に配慮した道路付属物等ガイドライン</td> <td style="text-align: right;">（平成29年11月）</td> </tr> </table> <h3>第3節 除雪工</h3> <h4>7-15-3-1 一般事項</h4>	日本建設機械 <b>化</b> 協会 除雪・防雪ハンドブック（除雪編）	（平成16年12月）	日本道路協会 道路維持修繕要綱	（昭和53年7月）	日本建設機械化協会 除雪・防雪ハンドブック（防雪編）	（平成16年12月）	日本道路協会 道路防雪便覧	（平成2年5月）	日本道路協会 舗装設計施工指針	（平成18年2月）	日本道路協会 舗装の構造に関する技術基準・同解説	（平成13年9月）	日本道路協会 舗装施工便覧	（平成18年2月）	日本みち研究所 補訂版 道路のデザインー道路デザイン指針（案）とその解説ー	（平成29年11月）	日本みち研究所 景観に配慮した道路付属物等ガイドライン	（平成29年11月）	<p>日本みち研究所 補訂版 道路のデザインー道路デザイン指針（案）とその解説ー （平成29年11月）</p> <p>日本みち研究所 景観に配慮した道路付属物等ガイドライン （平成29年11月）</p> <h2 style="text-align: center;">第14章 道路維持</h2> <h3>第14節 橋梁床版工</h3> <h4>7-14-14-7 旧橋撤去工</h4> <h5>5. 落下物防止対策</h5> <p>受注者は、河川及び供用道路上等で、旧橋撤去工を行う場合は、撤去に伴い発生するアスファルト殻、コンクリート殻及び撤去に使用する資材の落下を防止する対策を講じ、河道及び交通の確保に<b>努</b>めなければならない。</p> <h3>第20節 道路清掃工</h3> <h4>7-14-20-4 路肩整正工</h4> <p>受注者は、路肩<b>整正</b>の施工については、路面排水を良好にするため路肩の堆積土砂を削り取り、または土砂を補給して整正し、締固めを行い、<b>設計図書</b>に示す形状に仕上げなければならない。</p> <h2 style="text-align: center;">第15章 雪 寒</h2> <h3>第2節 適用すべき諸基準</h3> <p>受注者は、<b>設計図書</b>において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p>なお、基準類と<b>設計図書</b>に相違がある場合は、原則として<b>設計図書</b>の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と<b>協議</b>しなければならない。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>日本建設機械<b>施工</b>協会 除雪・防雪ハンドブック（除雪編）</td> <td style="text-align: right;">（平成16年12月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路維持修繕要綱</td> <td style="text-align: right;">（昭和53年7月）</td> </tr> <tr> <td>日本建設機械化協会 除雪・防雪ハンドブック（防雪編）</td> <td style="text-align: right;">（平成16年12月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 道路防雪便覧</td> <td style="text-align: right;">（平成2年5月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 舗装設計施工指針</td> <td style="text-align: right;">（平成18年2月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 舗装の構造に関する技術基準・同解説</td> <td style="text-align: right;">（平成13年9月）</td> </tr> <tr> <td>日本道路協会 舗装施工便覧</td> <td style="text-align: right;">（平成18年2月）</td> </tr> <tr> <td>日本みち研究所 補訂版 道路のデザインー道路デザイン指針（案）とその解説ー</td> <td style="text-align: right;">（平成29年11月）</td> </tr> <tr> <td>日本みち研究所 景観に配慮した道路付属物等ガイドライン</td> <td style="text-align: right;">（平成29年11月）</td> </tr> </table> <h3>第3節 除雪工</h3> <h4>7-15-3-1 一般事項</h4>	日本建設機械 <b>施工</b> 協会 除雪・防雪ハンドブック（除雪編）	（平成16年12月）	日本道路協会 道路維持修繕要綱	（昭和53年7月）	日本建設機械化協会 除雪・防雪ハンドブック（防雪編）	（平成16年12月）	日本道路協会 道路防雪便覧	（平成2年5月）	日本道路協会 舗装設計施工指針	（平成18年2月）	日本道路協会 舗装の構造に関する技術基準・同解説	（平成13年9月）	日本道路協会 舗装施工便覧	（平成18年2月）	日本みち研究所 補訂版 道路のデザインー道路デザイン指針（案）とその解説ー	（平成29年11月）	日本みち研究所 景観に配慮した道路付属物等ガイドライン	（平成29年11月）	
日本建設機械 <b>化</b> 協会 除雪・防雪ハンドブック（除雪編）	（平成16年12月）																																					
日本道路協会 道路維持修繕要綱	（昭和53年7月）																																					
日本建設機械化協会 除雪・防雪ハンドブック（防雪編）	（平成16年12月）																																					
日本道路協会 道路防雪便覧	（平成2年5月）																																					
日本道路協会 舗装設計施工指針	（平成18年2月）																																					
日本道路協会 舗装の構造に関する技術基準・同解説	（平成13年9月）																																					
日本道路協会 舗装施工便覧	（平成18年2月）																																					
日本みち研究所 補訂版 道路のデザインー道路デザイン指針（案）とその解説ー	（平成29年11月）																																					
日本みち研究所 景観に配慮した道路付属物等ガイドライン	（平成29年11月）																																					
日本建設機械 <b>施工</b> 協会 除雪・防雪ハンドブック（除雪編）	（平成16年12月）																																					
日本道路協会 道路維持修繕要綱	（昭和53年7月）																																					
日本建設機械化協会 除雪・防雪ハンドブック（防雪編）	（平成16年12月）																																					
日本道路協会 道路防雪便覧	（平成2年5月）																																					
日本道路協会 舗装設計施工指針	（平成18年2月）																																					
日本道路協会 舗装の構造に関する技術基準・同解説	（平成13年9月）																																					
日本道路協会 舗装施工便覧	（平成18年2月）																																					
日本みち研究所 補訂版 道路のデザインー道路デザイン指針（案）とその解説ー	（平成29年11月）																																					
日本みち研究所 景観に配慮した道路付属物等ガイドライン	（平成29年11月）																																					

現 行	改 定	摘 要
<p>9. 作業上支障となる箇所 受注者は、施工区間の道路及び道路付属物等について、工事着手前に作業上支障となる箇所の把握を行い、事故の防止に<b>つと</b>めなければならない。</p> <p>7-15-3-5 凍結防止工</p> <p>4. 凍結防止剤の保管等 受注者は、凍結防止剤の保管等については、「除雪・防雪ハンドブック（除雪編）8.5.8貯蔵及び積み込み」（日本建設機械<b>化</b>協会、平成16年12月）の規定による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第16章 道路修繕</b></p> <p>第24節 橋脚巻立て工 7-16-24-4 RC橋脚鋼板巻立て工</p> <p>29. 超音波探傷試験の検査技術者 超音波探傷試験の検査技術者は、（一社）日本非破壊検査協会「NDIS0601非破壊検査技術者認定規定」により認定された2種以上の有資格者とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>第8編 公園 緑地編</b> <b>第4章 施設整備</b></p> <p>第2節 適用すべき諸基準 土木学会 コンクリート標準示方書（施工編）（平成30年3月） 土木学会 コンクリート標準示方書（設計編）（平成30年3月） 土木学会コンクリートのポンプ施工指針（平成24年6月）</p> <p style="text-align: center;"><b>第5章 グラウンド・コート整備</b></p> <p>第2節 適用すべき諸基準 土木学会 コンクリート標準示方書（施工編）（平成30年3月） 土木学会 コンクリート標準示方書（設計編）（平成30年3月） 土木学会コンクリートのポンプ施工指針（平成24年6月）</p> <p style="text-align: center;"><b>第9編 下水道編</b> <b>第1章 下水道工</b></p> <p>第5節 シールド工 9-1-5-9 二次覆工（流動化コンクリート）</p>	<p>9. 作業上支障となる箇所 受注者は、施工区間の道路及び道路付属物等について、工事着手前に作業上支障となる箇所の把握を行い、事故の防止に<b>努</b>めなければならない。</p> <p>7-15-3-5 凍結防止工</p> <p>4. 凍結防止剤の保管等 受注者は、凍結防止剤の保管等については、「除雪・防雪ハンドブック（除雪編）8.5.8貯蔵及び積み込み」（日本建設機械<b>施工</b>協会、平成16年12月）の規定による。これにより難しい場合は、監督員の<b>承諾</b>を得なければならない。</p> <p style="text-align: center;"><b>第16章 道路修繕</b></p> <p>第24節 橋脚巻立て工 7-16-24-4 RC橋脚鋼板巻立て工</p> <p>29. 超音波探傷試験の検査技術者 超音波探傷試験の検査技術者は、JIS Z 2305（非破壊試験技術者の資格及び認証）に基づく2種以上の有資格者とする。</p> <p style="text-align: center;"><b>第8編 公園 緑地編</b> <b>第4章 施設整備</b></p> <p>第2節 適用すべき諸基準 土木学会 コンクリート標準示方書（施工編）[2017年制定]（2018年3月） 土木学会 コンクリート標準示方書（設計編）[2017年制定]（2018年3月） 土木学会 コンクリートのポンプ施工指針 [2012年版]（平成24年6月）</p> <p style="text-align: center;"><b>第5章 グラウンド・コート整備</b></p> <p>第2節 適用すべき諸基準 土木学会 コンクリート標準示方書（施工編）[2017年制定]（2018年3月） 土木学会 コンクリート標準示方書（設計編）[2017年制定]（2018年3月） 土木学会 コンクリートのポンプ施工指針 [2012年版]（平成24年6月）</p> <p style="text-align: center;"><b>第9編 下水道編</b> <b>第1章 下水道工</b></p> <p>第5節 シールド工 9-1-5-9 二次覆工（流動化コンクリート）</p>	

現 行	改 定	摘 要
<p>2. 施工については、本仕様書によるほか、土木学会「コンクリート標準示方書・施工編」、同「流動化コンクリートの配合設計・施工指針(案)」、同「コンクリートのポンプ施工指針(案)」によるものとする。</p> <p>5. 流動化剤は、土木学会「コンクリート用流動化剤品質基準(案)」に適合するものでなくてはならない。</p>	<p>2. 施工については、本仕様書によるほか、土木学会「コンクリート標準示方書・施工編」2017、同「高流動コンクリートの配合設計・施工指針 2012」、同「コンクリートのポンプ施工指針 2012」によるものとする。</p> <p>5. 流動化剤は、土木学会「コンクリート用流動化剤品質基準」に適合するものでなくてはならない。</p>	